

中原調整池1号池塗装工事 図面目録

図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称
1	建築改修工事特記仕様書 (1)	21	損傷図 (6) [1号池外壁] PCタンク B-C間	41	積算根拠図 (1号池: 外壁塗装面・シーリング打替部)
2	建築改修工事特記仕様書 (2)	22	損傷図 (7) [1号池外壁] PCタンク C-D間	42	積算根拠図 (1号池: 外壁PC版形状)
3	建築改修工事特記仕様書 (3)	23	損傷図 (8) [1号池外壁] PCタンク C-D間	43	積算根拠図 (渡り廊下: 外部足場・外部塗装面・床防水面)
4	建築改修工事特記仕様書 (4)	24	損傷図 (9) [1号池外壁] PCタンク C-D間	44	積算根拠図 (門扉廻り塀: 塗装面)
5	建築改修工事特記仕様書 (5)	25	損傷図 (10) [1号池外壁] PCタンク D-E間		
6	建築改修工事特記仕様書 (6)	26	損傷図 (11) [1号池外壁] PCタンク D-E間		
7	建築改修工事特記仕様書 (7)	27	損傷図 (12) [1号池外壁] PCタンク D-E間		
8	配置図・付近見取図	28	損傷図 (13) [1号池外壁] PCタンク E-F間		
9	平面図・立面図・断面図	29	損傷図 (14) [1号池外壁] PCタンク E-F間		
10	屋根伏図	30	損傷図 (15) [1号池外壁] PCタンク E-F間		
11	矩計図	31	損傷図 (16) [1号池外壁] PCタンク F-A間		
12	飾り壁 (PC版) 詳細図	32	損傷図 (17) [1号池外壁] PCタンク F-A間		
13	雑詳細図	33	損傷図 (18) [1号池外壁] PCタンク F-A間		
14	渡り廊下詳細図	34	損傷図 (19) [1号池屋上]		
15	外構詳細図	35	損傷図 (20) [1号池屋上]		
16	損傷図 (1) [1号池外壁] PCタンク A-B間	36	損傷図 (21) [渡り廊下]		
17	損傷図 (2) [1号池外壁] PCタンク A-B間	37	損傷図 (22) [渡り廊下]		
18	損傷図 (3) [1号池外壁] PCタンク A-B間	38	積算根拠図 (1号池: 外部足場)		
19	損傷図 (4) [1号池外壁] PCタンク B-C間	39	積算根拠図 (1号池: 屋上防水面)		
20	損傷図 (5) [1号池外壁] PCタンク B-C間	40	積算根拠図 (1号池: 屋上シーリング打替部)		

5 建具 改修 工事	1 改修工法	[5.1.3]	<table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※建具表による ・図示</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>・</td> <td>※建具表による ・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・内部</td> <td>・</td> <td>※建具表による ・図示</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※建具表による ・図示</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※建具表による ・図示</td> </tr> </table>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	※建具表による ・図示	・鋼製建具	・外部	・	※建具表による ・図示		・内部	・	※建具表による ・図示	・鋼製軽量建具	・	・	※建具表による ・図示	・ステンレス製建具	・	・	※建具表による ・図示
	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																							
	・アルミニウム製建具	・	・	※建具表による ・図示																							
	・鋼製建具	・外部	・	※建具表による ・図示																							
		・内部	・	※建具表による ・図示																							
	・鋼製軽量建具	・	・	※建具表による ・図示																							
	・ステンレス製建具	・	・	※建具表による ・図示																							
	2 見本の製作等	[5.1.5]	・特殊な建具の仮組 (建具符号:)																								
	3 防犯建物部品	[5.1.7]	・適用する (適用箇所は建具表による)																								
	4 アルミニウム製建具	[5.2.1] [5.2.2]	性能等級等 外部に面する建具 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>特異点 (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・種</td> <td>F-4</td> <td>※1-</td> <td>※1-</td> <td>※1</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・種</td> <td>F-1</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・種</td> <td>F-1</td> <td>F-1</td> <td>F-1</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> </table> 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () 表面処理 外部に面する建具 ※B-1種 ・B-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 屋内建具 ※C-1種 ・C-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	特異点 (mm)	施工箇所	・種	F-4	※1-	※1-	※1	※図示	・種	F-1	・	・	・	・	・種	F-1	F-1	F-1	※	・
	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	特異点 (mm)	施工箇所																					
	・種	F-4	※1-	※1-	※1	※図示																					
	・種	F-1	・	・	・	・																					
	・種	F-1	F-1	F-1	※	・																					
5 鋼製建具	[5.3.2] [5.3.1] [5.3.2] [5.3.1]	網戸 防虫網の材質 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316) 形式 ※外部可動式 ・固定式 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による 外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による																									
6 鋼製軽量建具	[5.4.2]	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による																									
7 ステンレス製建具	[5.3.1] [5.3.2] [5.3.1] [5.3.2]	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による 外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による 表面仕上げ ※H ・表面 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (補強あり)																									
8 木製建具	[5.6.2] [5.6.3] [5.6.2]	かまち戸の樹種 かまち () 鏡板 () ふすまの上張り (表) 5.6.3 ※新鳥の子又はビニル紙程度 (挿入等の裏面は除く) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材 (合板) 及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・第三種																									
9 建具用金物	[5.6.4] [5.6.4]	鍵 マスターキー ※製作する ・製作しない 鍵箱 市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用																									
10 自動ドア開閉装置	[5.7.2.1] [5.7.1~3]	ドアの種類 センサーの種類 ※スライディングドア 種 (※1) (※2) ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ 種 (※1) (※2) ・多機能使用スイッチ																									
11 自閉式上吊り引戸装置	[5.7.3] [5.8.2] [5.8.3] [5.8.4]	・凍結防止措置 (適用箇所は建具表による) 材料 ※ SUS304 アルミニウム製等防錆性能を有するもの ・製造所標準仕様による 性能 ※改修仕様の仕様による ・製造所標準仕様による																									
12 重量シャッター	[5.9.2]	シャッターの種類 性 能 ・一般重量シャッター 耐風圧性能 () N/m ・外壁用防火シャッター 耐風圧性能 () N/m ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター																									
13 軽量シャッター	[5.10.1] [5.10.2] [5.10.3] [5.10.4]	開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 危害防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) スラット 材質 ※JIS G 3012 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) 又はJIS G 3018 (塗装溶融亜鉛めっきアルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯) ・鋼板 形状 ※インナーロッキング形 ・オーバーラッピング形 ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm) 耐風圧性能 () N/m																									
14 オーバーヘッドドア	[5.11.2.1]	セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質 ※スチールタイプ ※バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板 ・ファイバークラスタイプ ・電動式 ・ハイリフト形 (※3) ・バーチカル形																									

15 ガラス	[5.12.1] [5.12.2]	板ガラスの種類、厚さ等は建具表による ・ガラスブロック <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色 調</th> <th>防火認定</th> </tr> <tr> <td>・正方形</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※クリア ・熱線反射</td> <td>※なし</td> </tr> <tr> <td>・長方形</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・乳白色 ・カラー ()</td> <td>・あり</td> </tr> </table> ガラス留め材 [5.12.1] [5.12.2] <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材 種</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材 ・ガスケット (F1) (F2) (F3) (F4) (F5) (F6) (F7) (F8) (F9) (F10) (F11) (F12) (F13) (F14) (F15) (F16) (F17) (F18) (F19) (F20) (F21) (F22) (F23) (F24) (F25) (F26) (F27) (F28) (F29) (F30) (F31) (F32) (F33) (F34) (F35) (F36) (F37) (F38) (F39) (F40) (F41) (F42) (F43) (F44) (F45) (F46) (F47) (F48) (F49) (F50) (F51) (F52) (F53) (F54) (F55) (F56) (F57) (F58) (F59) (F60) (F61) (F62) (F63) (F64) (F65) (F66) (F67) (F68) (F69) (F70) (F71) (F72) (F73) (F74) (F75) (F76) (F77) (F78) (F79) (F80) (F81) (F82) (F83) (F84) (F85) (F86) (F87) (F88) (F89) (F90) (F91) (F92) (F93) (F94) (F95) (F96) (F97) (F98) (F99) (F100)</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※シーリング材</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材</td> </tr> </table> 防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。 板ガラスをはめ込む溝の寸法 [5.12.3] ※改修仕様5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は (社) 日本建築学会 JASS17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員 に提出する。 ガラス用フィルム [5.12.4] <table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>種 類</th> <th>張り面</th> <th>性能値</th> </tr> <tr> <td>※ガラス飛散防止フィルム</td> <td>※2種</td> <td>※内張り ・外張り</td> <td>飛散防止率 DI</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 注記5.12.4.1による	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調	防火認定	・正方形	・	・	※クリア ・熱線反射	※なし	・長方形	・	・	・乳白色 ・カラー ()	・あり	建具の種類	材 種	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット (F1) (F2) (F3) (F4) (F5) (F6) (F7) (F8) (F9) (F10) (F11) (F12) (F13) (F14) (F15) (F16) (F17) (F18) (F19) (F20) (F21) (F22) (F23) (F24) (F25) (F26) (F27) (F28) (F29) (F30) (F31) (F32) (F33) (F34) (F35) (F36) (F37) (F38) (F39) (F40) (F41) (F42) (F43) (F44) (F45) (F46) (F47) (F48) (F49) (F50) (F51) (F52) (F53) (F54) (F55) (F56) (F57) (F58) (F59) (F60) (F61) (F62) (F63) (F64) (F65) (F66) (F67) (F68) (F69) (F70) (F71) (F72) (F73) (F74) (F75) (F76) (F77) (F78) (F79) (F80) (F81) (F82) (F83) (F84) (F85) (F86) (F87) (F88) (F89) (F90) (F91) (F92) (F93) (F94) (F95) (F96) (F97) (F98) (F99) (F100)	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	ステンレス製	※シーリング材	名 称	種 類	張り面	性能値	※ガラス飛散防止フィルム	※2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 DI	・	・	・	・
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調	防火認定																																	
・正方形	・	・	※クリア ・熱線反射	※なし																																	
・長方形	・	・	・乳白色 ・カラー ()	・あり																																	
建具の種類	材 種																																				
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット (F1) (F2) (F3) (F4) (F5) (F6) (F7) (F8) (F9) (F10) (F11) (F12) (F13) (F14) (F15) (F16) (F17) (F18) (F19) (F20) (F21) (F22) (F23) (F24) (F25) (F26) (F27) (F28) (F29) (F30) (F31) (F32) (F33) (F34) (F35) (F36) (F37) (F38) (F39) (F40) (F41) (F42) (F43) (F44) (F45) (F46) (F47) (F48) (F49) (F50) (F51) (F52) (F53) (F54) (F55) (F56) (F57) (F58) (F59) (F60) (F61) (F62) (F63) (F64) (F65) (F66) (F67) (F68) (F69) (F70) (F71) (F72) (F73) (F74) (F75) (F76) (F77) (F78) (F79) (F80) (F81) (F82) (F83) (F84) (F85) (F86) (F87) (F88) (F89) (F90) (F91) (F92) (F93) (F94) (F95) (F96) (F97) (F98) (F99) (F100)																																				
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材																																				
ステンレス製	※シーリング材																																				
名 称	種 類	張り面	性能値																																		
※ガラス飛散防止フィルム	※2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 DI																																		
・	・	・	・																																		

6 内装 改修 工事	1 改修範囲	[6.1.1] [6.1.2] [6.1.3]	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示の範囲																																																																																																																																												
	2 既存床の撤去並びに 下地補修	[6.2.1] [6.2.2]	ビニルシート等の除去 ※仕上材のみ (接着剤共) ・下地モルタル共 (※図示の範囲 ・除去範囲すべて) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内																																																																																																																																												
	3 既存壁の撤去並びに 下地補修	[6.2.1] [4.4.9]	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※モルタル塗り (塗厚20mmを超える場合の補修 ※行う ・行わない) ・図示																																																																																																																																												
	4 木材 [5]	[6.5.1] [6.5.2] [6.5.3] [6.5.4]	表面仕上げの程度 ・A種 ※B種 ・C種 現場搬入時の木材の含水率 ※A種 ・B種 保存処理木材 ・使用する (使用箇所:) 構造材及び下地材の品質の基準 ※改修仕様5.2.2(a) (2) (iv)による 造作材の材質の品質の基準 ※A種 ・B種 代用樹脂を使用しない箇所 ()																																																																																																																																												
	5 集材等 [5]	[6.5.2] [6.5.3]	集材材及び単板積層材のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・第三種 構造用集材材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品 名</th> <th>強度等級</th> <th>材面の品質</th> <th>接着性能</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1種</td> <td>・使用環境A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2種</td> <td>・使用環境B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・3種</td> <td>・使用環境C</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 構造用単板積層材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>接着性能</th> <th>曲げ性能</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・使用環境1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・使用環境2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 造作用集材材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> 化粧ばり造作用集材材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>心材の樹種名</th> <th>化粧薄板の樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>品質</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> 単板積層材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工しない (1等・2等・3等)</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </table> 合板のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・第三種 [6.5.2] 普通合板 [6.5.2] [6.12.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>その他の処理</th> </tr> <tr> <td>(床)</td> <td>55</td> <td></td> <td>広葉樹 ・1等 ※2等</td> <td>針葉樹 ※C-D</td> <td>・する ・しない</td> <td>・難燃処理 ・防炎処理</td> </tr> <tr> <td>(壁、天井)</td> <td></td> <td>・ラワン ・しな</td> <td>・1等 ・2等</td> <td></td> <td>・する ・しない</td> <td>・難燃処理 ・防炎処理</td> </tr> </table> 構造用合板 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td>(床)</td> <td>70</td> <td></td> <td>・特種 ※1種</td> <td>・1級 ※2級</td> <td>※C-D ・</td> <td>・する ・しない</td> </tr> </table> 天然木化粧合板 [6.12.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>化粧板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>その他の処理</th> </tr> <tr> <td>(壁、天井)</td> <td>5.2 84.2 6.0</td> <td>・なら ・しおじ</td> <td>・1級 ・2級</td> <td>・する ・しない</td> <td>・難燃処理 ・防炎処理</td> </tr> </table> 特殊加工化粧合板 [6.12.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>表面性能</th> <th>加工面</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>その他の処理</th> </tr> <tr> <td>(壁、天井)</td> <td>※40</td> <td>・オーバーレイ ・プリント ・塗装</td> <td>・F ・FI ・II ・SI</td> <td>・表面 ・両面</td> <td>・1級 ・2級</td> <td>・する ・しない</td> <td>・難燃処理 ・防炎処理</td> </tr> </table> 防蟻処理 ※行う (※改修仕様5.2.2(h) (3)による ・図示) [6.5.2] 防蟻処理 ・行う (※図示) [6.5.2] 防蟻、防蟻処理剤の種類及び品質 [6.5.2] 表面処理用木材保存剤 (防蟻・防蟻剤) は監督職員の承認するものとする。	施工箇所	品 名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種名	寸法 (mm)				・1種	・使用環境A						※2種	・使用環境B						・3種	・使用環境C			施工箇所	接着性能	曲げ性能	樹種名	寸法 (mm)		・使用環境1					・使用環境2				施工箇所	樹種名	見付け材面の品質	寸法 (mm)			※1等 ・2等		施工箇所	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	寸法 (mm)					品質						※1等 ・2等		施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法 (mm)		※天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工しない (1等・2等・3等)	・する ・しない		施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	その他の処理	(床)	55		広葉樹 ・1等 ※2等	針葉樹 ※C-D	・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理	(壁、天井)		・ラワン ・しな	・1等 ・2等		・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	(床)	70		・特種 ※1種	・1級 ※2級	※C-D ・	・する ・しない	施工箇所	厚さ (mm)	化粧板の樹種名	接着の程度	防虫処理	その他の処理	(壁、天井)	5.2 84.2 6.0	・なら ・しおじ	・1級 ・2級	・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理	施工箇所	厚さ (mm)	化粧加工の方法	表面性能	加工面	接着の程度	防虫処理	その他の処理	(壁、天井)	※40	・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・F ・FI ・II ・SI	・表面 ・両面	・1級 ・2級	・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理
	施工箇所	品 名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種名	寸法 (mm)																																																																																																																																								
				・1種	・使用環境A																																																																																																																																										
				※2種	・使用環境B																																																																																																																																										
				・3種	・使用環境C																																																																																																																																										
	施工箇所	接着性能	曲げ性能	樹種名	寸法 (mm)																																																																																																																																										
		・使用環境1																																																																																																																																													
		・使用環境2																																																																																																																																													
	施工箇所	樹種名	見付け材面の品質	寸法 (mm)																																																																																																																																											
			※1等 ・2等																																																																																																																																												
施工箇所	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	寸法 (mm)																																																																																																																																										
				品質																																																																																																																																											
				※1等 ・2等																																																																																																																																											
施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法 (mm)																																																																																																																																												
	※天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工しない (1等・2等・3等)	・する ・しない																																																																																																																																													
施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	その他の処理																																																																																																																																									
(床)	55		広葉樹 ・1等 ※2等	針葉樹 ※C-D	・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理																																																																																																																																									
(壁、天井)		・ラワン ・しな	・1等 ・2等		・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理																																																																																																																																									
施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理																																																																																																																																									
(床)	70		・特種 ※1種	・1級 ※2級	※C-D ・	・する ・しない																																																																																																																																									
施工箇所	厚さ (mm)	化粧板の樹種名	接着の程度	防虫処理	その他の処理																																																																																																																																										
(壁、天井)	5.2 84.2 6.0	・なら ・しおじ	・1級 ・2級	・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理																																																																																																																																										
施工箇所	厚さ (mm)	化粧加工の方法	表面性能	加工面	接着の程度	防虫処理	その他の処理																																																																																																																																								
(壁、天井)	※40	・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・F ・FI ・II ・SI	・表面 ・両面	・1級 ・2級	・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理																																																																																																																																								
7 防蟻、防蟻処理	[6.5.2] [6.5.2] [6.5.2]																																																																																																																																														

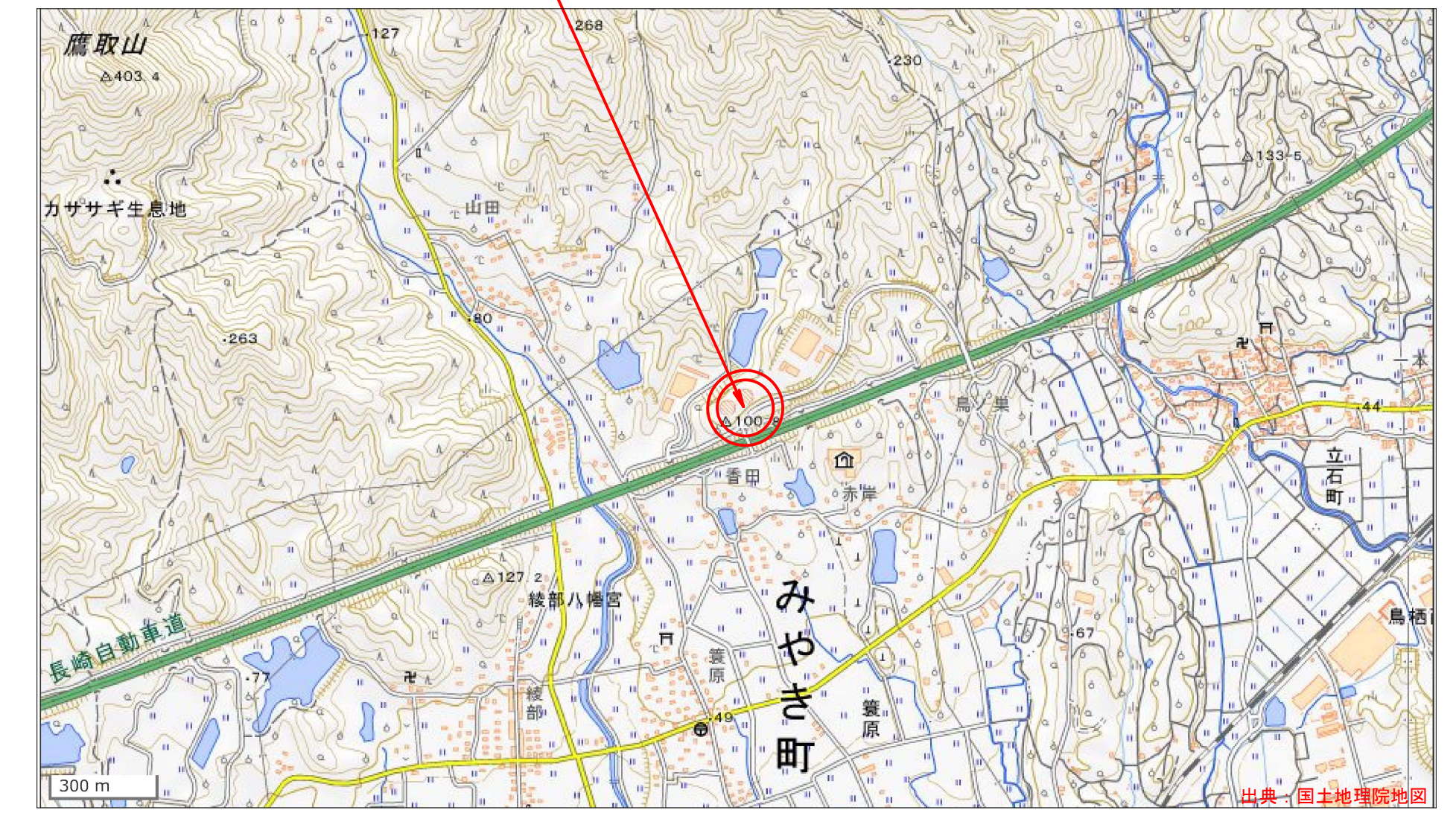
8 接着 剤 (内装改修工事全般)	8 接着剤	[6.5.2] [6.8.2] [6.8.3] [6.11.5.6] [6.12.2] [6.14.2] [6.16.3]	壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルノール樹脂 (以下「ユリア樹脂等」という) 又はホルムアルデヒド系防蟻剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・第三種 ※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。																									
	9 軽量鉄骨天井下地	[6.4.2] [6.6.1]	野縁等の種類 [6.4.2] [6.6.1] 屋外 (19形 ※25形) 屋内 (※19形 ・25形) 既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ・行わない 屋外の軒天井、ピロチ天井等 [6.4.3.4] 野縁の連続、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 ※図示 野縁の間隔 ※図示 耐風圧性を考慮した補強 ※図示 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ※図示 ・行う (補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示)																									
	10 軽量鉄骨壁下地	[6.7.2] [6.7.1] [6.7.1] [6.7.1]	スタッド、ランナーの種類 ※改修仕様表6.7.1による ・図示 [6.7.2] [6.7.1] スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 [6.7.1] [6.7.1]																									
	11 ビニル床シート、 ビニル床タイル及び ゴム床タイル張り	[6.8.2]	ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能 [6.8.2] 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹¹ Ω程度 耐動荷重 JIS A 1454による、へこみ試験、残留へこみ試験、清り性試験、摩耗試験、 層間剥離強度試験 (発泡層のあるビニル床シートのみ) 及びキャスター試験等の試験後、異常がないこと																									
	12 カーペット敷き	[6.9.2] [6.9.1]	タフテッドカーペット [6.9.2] [6.9.2] <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>※5~7</td> <td>※全面接着工法</td> <td>※人体帯電圧 3kV以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>※4~6</td> <td>・グリッパ工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・レトルバイル</td> <td>※4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> モードルパンチカーペット [6.9.3] 長さ (mm) ・ 帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 備考 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き	バイル形状	バイル長さ (mm)	工 法	帯電性	備 考	・カットバイル	※5~7	※全面接着工法	※人体帯電圧 3kV以下		・ループバイル	※4~6	・グリッパ工法			・レトルバイル	※4				・ガット、ループ併用				
	バイル形状	バイル長さ (mm)	工 法	帯電性	備 考																							
	・カットバイル	※5~7	※全面接着工法	※人体帯電圧 3kV以下																								
	・ループバイル	※4~6	・グリッパ工法																									
	・レトルバイル	※4																										
	・ガット、ループ併用																											
	13	[6.9.3] [6.9.3] [6.9.3]	タイルカーペット [6.9.3] [6.9.3] <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>組厚さ (mm)</th> <th>帯電性</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td>※500×500</td> <td>※5</td> <td>※人体帯電圧3kV以下 (※敷設範囲)</td> <td></td> </tr> </table> ・カットバイル ・カット、ループ併用 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き 見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ※図示) [6.9.3]	バイル形状	種 類	寸法 (mm)	組厚さ (mm)	帯電性	備 考	※ループバイル	※第一種 ・第二種	※500×500	※5	※人体帯電圧3kV以下 (※敷設範囲)														
	バイル形状	種 類	寸法 (mm)	組厚さ (mm)	帯電性	備 考																						
	※ループバイル	※第一種 ・第二種	※500×500	※5	※人体帯電圧3kV以下 (※敷設範囲)																							

事業名	水道用 水 供 給 事 業		
工事名	中原調整池1号池塗装工事		
図面名	建築改修工事特記仕様書(3)		
縮 尺	図示	図面番号	03 / 44
事業主	佐 賀 東 部 水 道 企 業 団		
施工年度	令和 8 年度	課長	課長補佐
		主管理係長	担当者

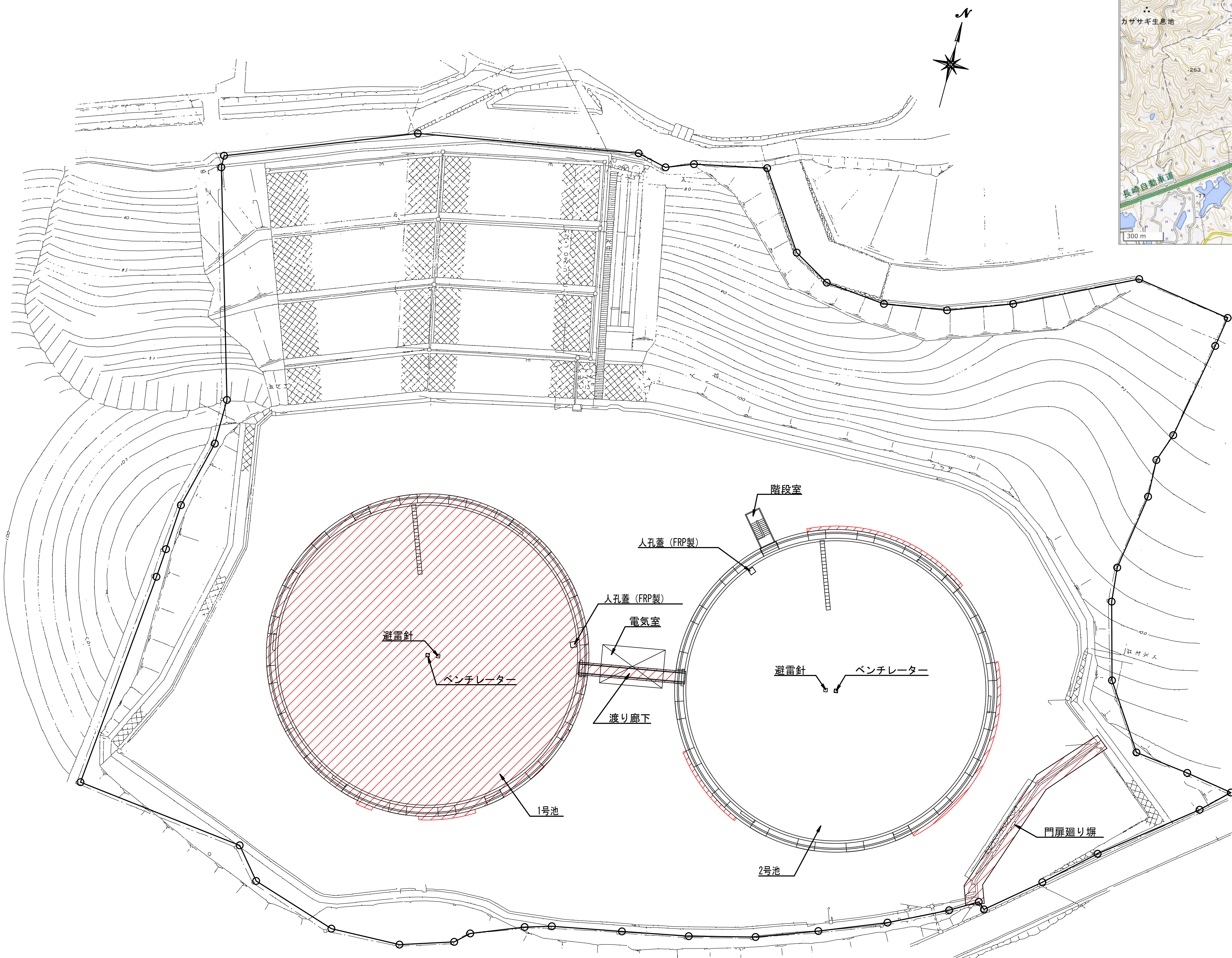
7 塗装改修工事	① 材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・第3種 建物内部に使用する塗料の材質 ・水性系 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(施工箇所:)	[7.1.3]	8 耐震改修工事 共通事項	1 適用範囲	工事内容 ・ 現場打ち鉄筋コンクリート製の増設工事 ・ 鉄骨プレースの設置工事 ・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き工法) ・ 柱補強工事 (連続繊維補強工法) ・ 耐震スリット新設工事 ・ 免震改修工事 ・ 制振改修工事	[8.1.1]	8-3 あと施工アンカー工事	1 あと施工アンカー	材料等 ・ 金属系アンカー ・ セット方式 ・ 引張耐力 ・ セン断耐力 ・ 接合部の種類、径、長さ ・ 性能確認試験 ・ 接着系アンカー ・ アンカーの種類 ・ 引張耐力 ・ セン断耐力 ・ 接着剤の品質 ・ アンカーの種類 ・ 性能確認試験	[8.2.4]	6 高い強度のコンクリート	設計基準強度	[8.8.1]	
	② 下地調整	既存塗膜の除去範囲 (塗替えてR種の場合) ※塗替え面積の30% ・ 図示 ・ 〇面	[7.2.1] [8.7.1~7]		2 既存部分の撤去等	工事種別 ・ 施工調査 (施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修) ・ 撤去工事 (設備機器配管及び仕上げの取壊し・撤去 (下地の一部又はすべてを含む)、構造体のはつり) ・ 鉄筋工事 ・ あと施工アンカー工事 ・ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修工事 ・ 制振改修工事 ・ その他工事	[8.1.1]		2 穿孔前の埋込み配管等の調査	探査範囲 ※あと施工アンカー施工部分すべて ・ 図示	[8.11.2]		7 断熱材兼用型枠	設計基準強度	[8.8.3]
③ 錆止め塗料塗り	④ 塗装	錆止め塗料塗りの種別等	[7.3.3.3] [8.3.1~4]	0-1 撤去工事	1 既存部分の撤去等	撤去範囲 ※図示 既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 ※図示 はつり出した鉄筋及び鉄骨の措置 ※露出部分は、錆止め塗料塗りを行う	[8.18.2] [8.20.2] [8.21.2] [8.22.2] [8.23.2]	0-4 コンクリート工事	3 施工確認試験	試験の適用 ※実施する (試験方法 ※引張試験) 確認強度 ※図示 ・ 実施しない	[8.11.5]	8-5 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (後)日本鉄骨評価センター又は(社)全国建築工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める () グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ 監督職員の承諾する工場	[8.15]
		下地調整の種別等	[7.2.2~7] [8.7.2.1~7]		2 既存部分の処理	既存コンクリート面の目荒し 適用範囲 ※既存コンクリートとの打継ぎ面 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 目荒しの範囲 ・ 柱、梁 打継ぎ面又は接合面全面の15~30%程度 ・ 壁 打継ぎ面又は接合面全面の10~15%程度 目荒しの程度 ※平均深さ2~5mm (最大7mm) 程度の凹面を、全体にわたってつける。	[8.18.3] [8.20.3] [8.21.3]		4 シアコネクタ	種類 ※金属系とあと施工アンカーの異形差筋アンカー (現場打ちコンクリート壁の打継ぎ面に用いるシアコネクタ)	[8.2.4] [8.3.7]		2 入熱、バス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※鉄骨溶接基準による 適用箇所 ※柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 ・ 図示 ()	[8.15] [8.14.2]
⑤ 錆止め塗料塗り	⑥ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別等	[7.3.3.3] [8.3.1~4]	0-2 鉄筋工事	1 鉄筋	鉄筋の種類 種類記号 呼び名 (mm)	[8.2.1] [8.2.1]	0-5 コンクリート工事	1 コンクリートの種類及び強度	レディーミックスコンクリートの類別 ※I類 ・ II類 普通コンクリートの設計基準強度 設計基準強度 f_c (N/mm ²) 種類 適用箇所	[8.1.3]	8-6 高力ボルト	2 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
		下地調整の種別等	[7.2.2~7] [8.7.2.1~7]		2 溶接金網	網目の形状、寸法等 網目の形状、寸法 (縦×横) (mm) 鉄線の径又は呼び名 (mm) 規格	[8.2.2]		2 コンクリートの品質	スランブ スランブ (mm) 適用箇所	[8.1.4]		3 溶融亜鉛めっき高力ボルト	ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による 摩擦面の処理 ※プラスト処理 (表面粗度50 μ m以上) ・ りん酸処理 すべり耐力等の確認方法 ※すべり耐力試験方法等 ・ 図示	[8.15]
⑦ 錆止め塗料塗り	⑧ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別等	[7.3.3.3] [8.3.1~4]	0-3 鉄筋工事	2 溶接金網	網目の形状、寸法等 網目の形状、寸法 (縦×横) (mm) 鉄線の径又は呼び名 (mm) 規格	[8.2.2]	0-6 コンクリート工事	3 コンクリートの材料	セメントの種類 種類 適用箇所	[8.1.3]	8-7 高力ボルト	3 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
		下地調整の種別等	[7.2.2~7] [8.7.2.1~7]		3 鉄筋の継手及び定着	継手方法等 部位 呼び名 (mm) 柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・ 機械式継手 その他の鉄筋 () ※重ね継手	[8.3.4] [8.4.2]		4 コンクリートの調査強度	コンクリートの仕上り 部材の位置及び断面寸法の許容差 ※容許比数1.2による (適用箇所:) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (適用箇所:)	[8.1.4] [8.1.2]		4 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
⑨ 錆止め塗料塗り	⑩ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別等	[7.3.3.3] [8.3.1~4]	0-4 鉄筋工事	3 鉄筋の継手及び定着	鉄筋の種類 種類記号 呼び名 (mm)	[8.2.1] [8.2.1]	0-7 コンクリート工事	4 コンクリートの調査強度	コンクリートの種類 種類 適用箇所	[8.1.3]	8-8 高力ボルト	4 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
		下地調整の種別等	[7.2.2~7] [8.7.2.1~7]		4 鉄筋のかぶり厚さ	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。 ・ 耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 適用箇所 ・ 柱、梁、壁及び底等の外気に接する打放し面 ※10	[8.3.4] [8.4.2]		5 高力ボルト	セメントの種類 種類 適用箇所	[8.2.5] [8.2.3]		5 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
⑪ 錆止め塗料塗り	⑫ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別等	[7.3.3.3] [8.3.1~4]	0-5 鉄筋工事	4 鉄筋のかぶり厚さ	鉄筋の種類 種類記号 呼び名 (mm)	[8.2.1] [8.2.1]	0-8 コンクリート工事	5 高力ボルト	セメントの種類 種類 適用箇所	[8.2.5] [8.2.3]	8-9 高力ボルト	5 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
		下地調整の種別等	[7.2.2~7] [8.7.2.1~7]		5 壁の配筋	壁配筋の重ね継手の長さ ※壁配筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示) 壁配筋の定着長さ ※図示	[8.2.4] [8.2.4]		6 高力ボルト	セメントの種類 種類 適用箇所	[8.2.5] [8.2.3]		6 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
⑬ 錆止め塗料塗り	⑭ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別等	[7.3.3.3] [8.3.1~4]	0-6 鉄筋工事	5 壁の配筋	壁配筋の重ね継手の長さ ※壁配筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示) 壁配筋の定着長さ ※図示	[8.2.4] [8.2.4]	0-9 コンクリート工事	7 高力ボルト	セメントの種類 種類 適用箇所	[8.2.5] [8.2.3]	8-10 高力ボルト	7 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
		下地調整の種別等	[7.2.2~7] [8.7.2.1~7]		6 壁開口部の補強	耐震壁の開口部補強 ※図示	[8.3.8] [8.3.8] [8.3.7]		8 高力ボルト	セメントの種類 種類 適用箇所	[8.2.5] [8.2.3]		8 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
⑮ 錆止め塗料塗り	⑯ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別等	[7.3.3.3] [8.3.1~4]	0-7 鉄筋工事	6 壁開口部の補強	耐震壁の開口部補強 ※図示	[8.3.8] [8.3.8] [8.3.7]	1 コンクリート工事	8 高力ボルト	セメントの種類 種類 適用箇所	[8.2.5] [8.2.3]	8-11 高力ボルト	8 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
		下地調整の種別等	[7.2.2~7] [8.7.2.1~7]		7 ガス圧接	圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験	[8.3.9]		9 高力ボルト	セメントの種類 種類 適用箇所	[8.2.5] [8.2.3]		9 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
⑰ 錆止め塗料塗り	⑱ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別等	[7.3.3.3] [8.3.1~4]	1 コンクリート工事	7 ガス圧接	圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験	[8.3.9]	2 コンクリート工事	10 高力ボルト	セメントの種類 種類 適用箇所	[8.2.5] [8.2.3]	8-12 高力ボルト	10 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]
		下地調整の種別等	[7.2.2~7] [8.7.2.1~7]		8 既存構造体との取合い	割製補強筋 種類 材料 材質 径 本数ピッチ等 適用箇所	[8.19.6] [8.20.7]		10 高力ボルト	セメントの種類 種類 適用箇所	[8.2.5] [8.2.3]		10 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの継ぎ距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ (図2-1-1.3) による すべり係数試験 ※行わない ・ 行う (試験方法等:)	[8.15]

事業名	水道用水供給事業		
工事名	中原調整池1号池塗装工事		
図面名	建築改修工事特記仕様書(5)		
縮尺	図示	図面番号	05 / 44
事業主	佐賀東部水道企業団		
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐
		主管係長	担当者

工事場所：佐賀県三養基郡みやき町養原 地内



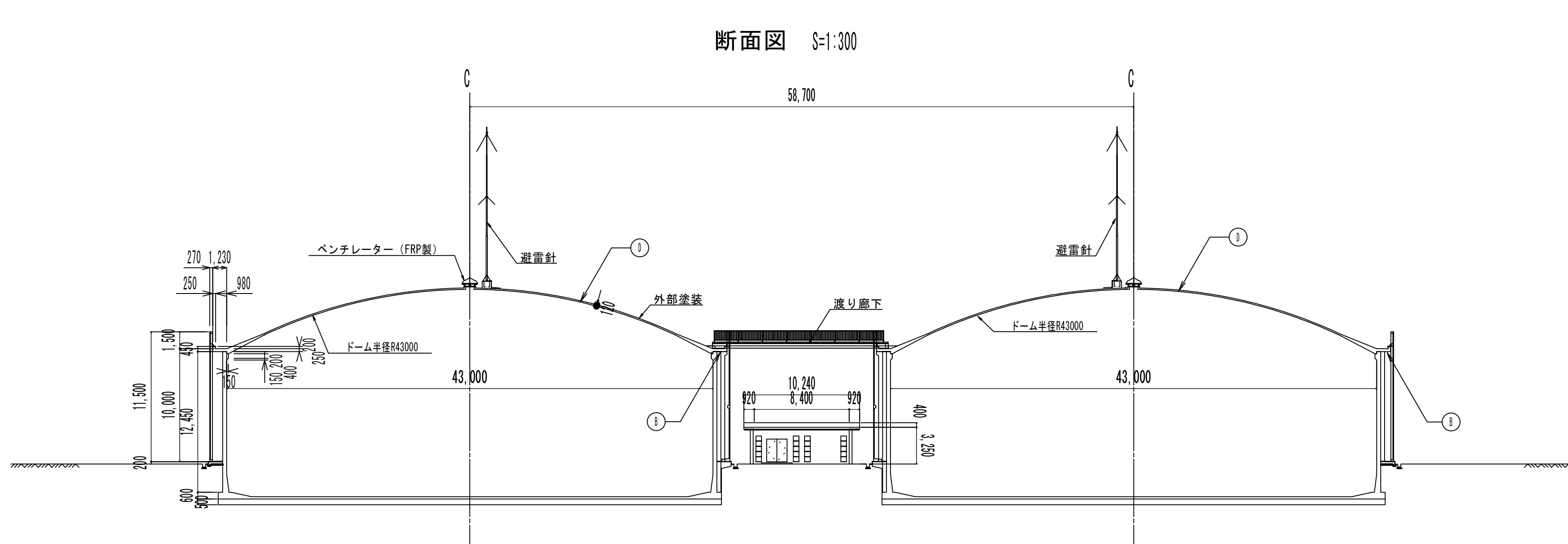
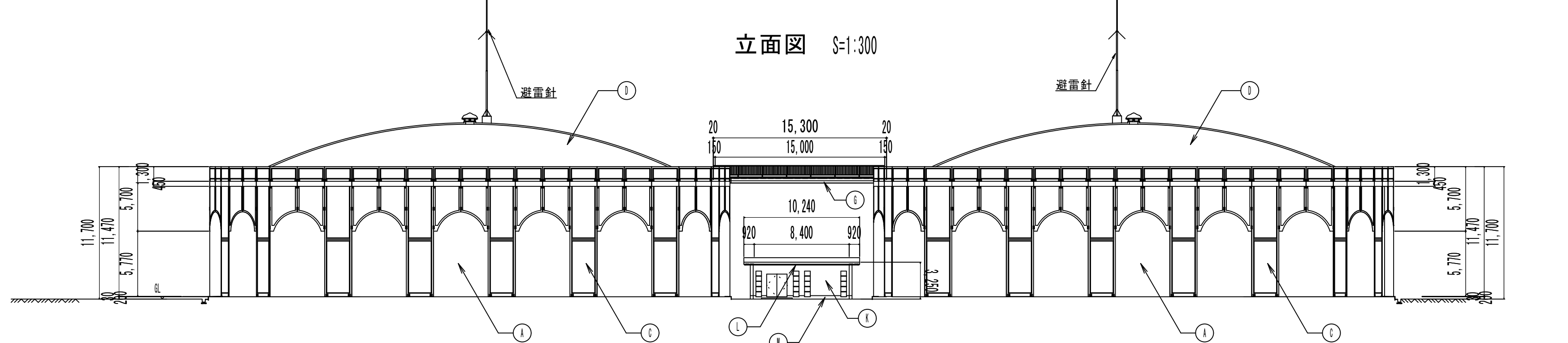
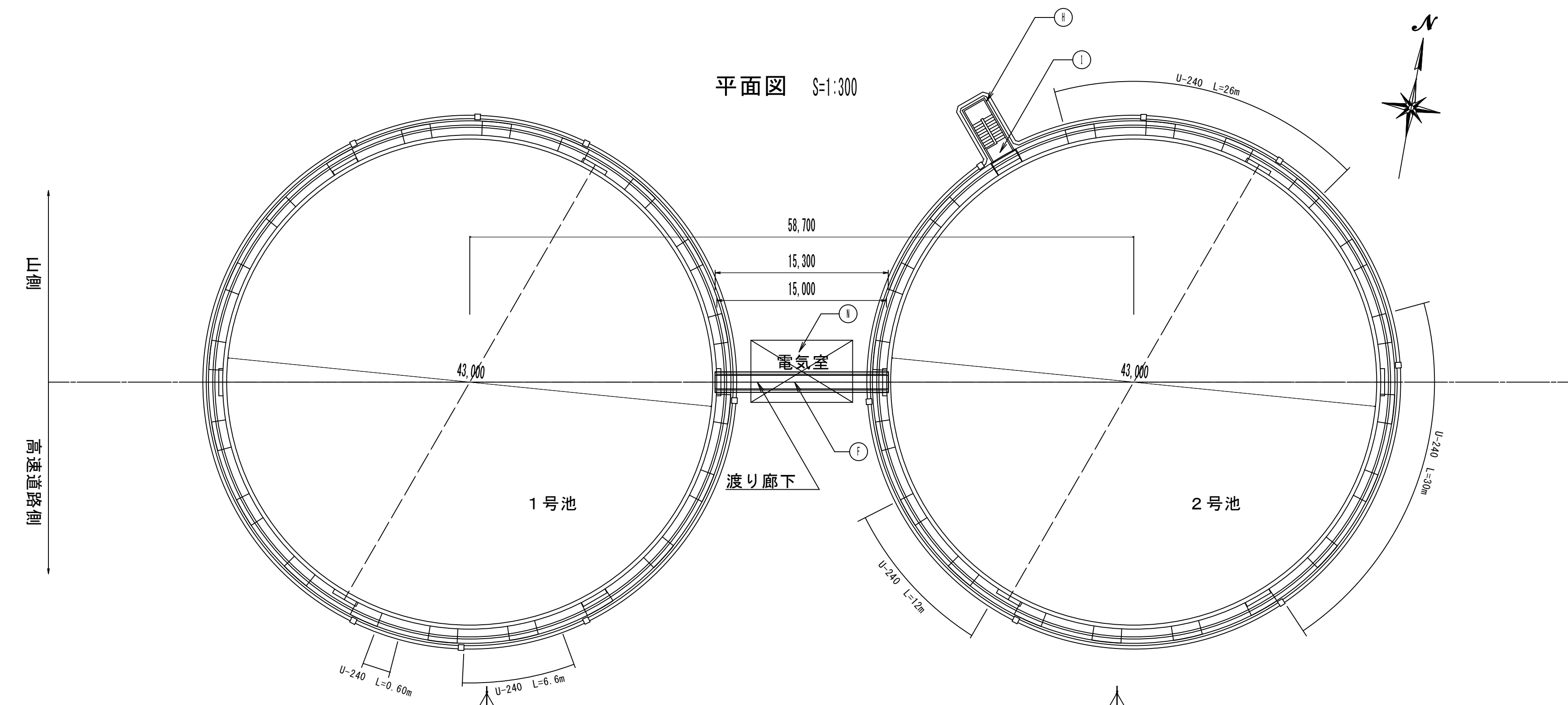
付近見取図



配置図 S=1/300

工事範囲を示す。

事業名	水道用水供給事業			
工事名	中原調整池1号池塗装工事			
図面名	配置図・付近見取図			
縮尺	図示	図面番号	08 / 44	
事業主	佐賀東部水道企業団			
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長 担当者



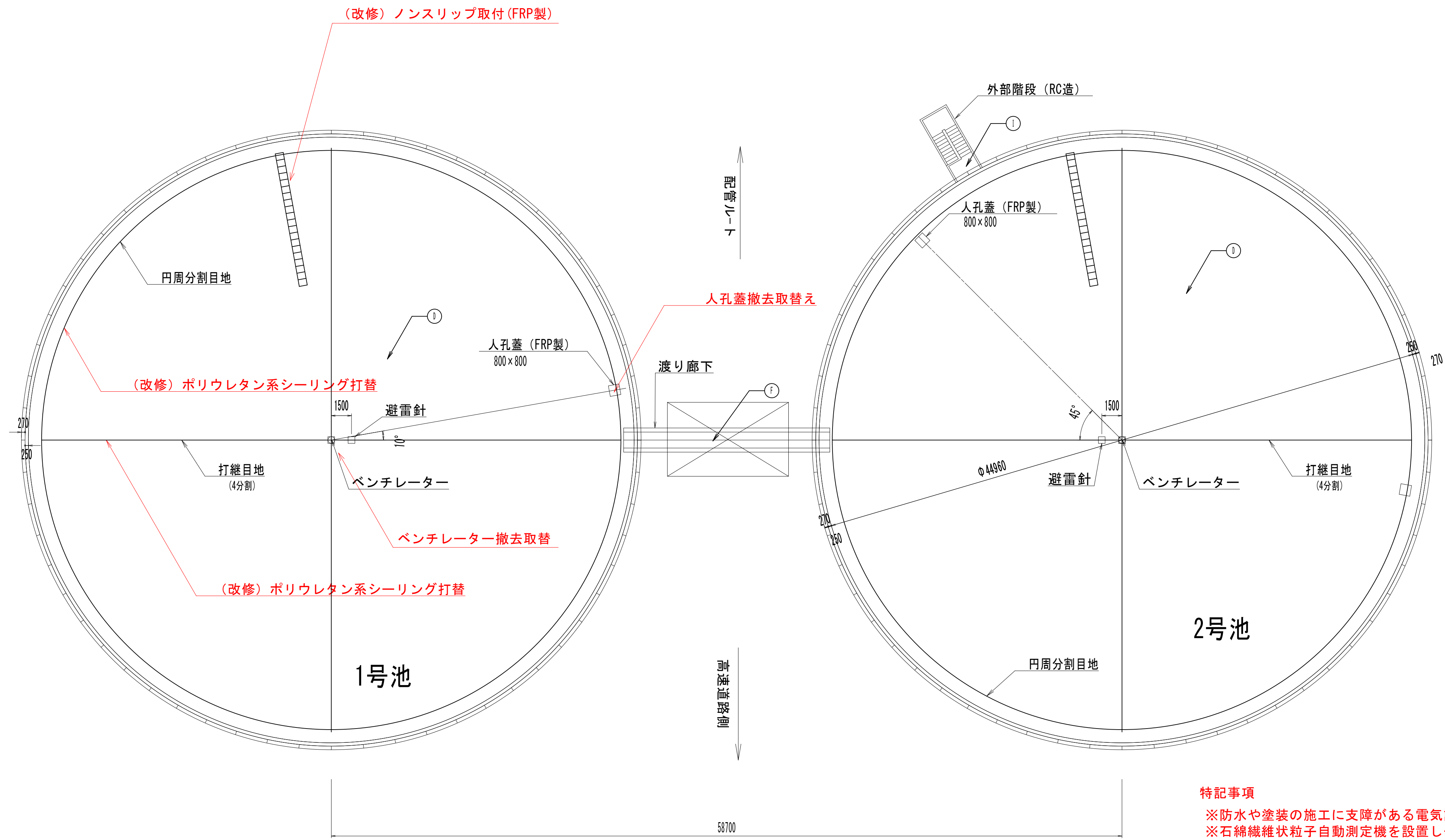
外部仕上表

記号	部位	仕上がり	工法
A	PCタンク外壁	改修前	合成樹脂エマルジョン系防水形複層仕上塗材
		改修後	エポキシ樹脂サーフェーサーW無機塗材仕上
B	PCタンク軒天	改修前	合成樹脂エマルジョン系防水形複層仕上塗材
		改修後	外装薄塗材E
C	PC版飾り壁	改修前	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材
		改修後	特殊弾性形改修塗材E 溶剤形有機無機複合フッ素仕上
D	PCタンク屋上	改修前	合成樹脂エマルジョン系防水形複層仕上塗材 ※アスベスト含有建材
		改修後	アクリルゴム系塗膜防水防汚工法
E	PCタンク壁礎	改修前	VPφ100 OP塗り
		改修後	か-VPφ100
F	渡り廊下床	改修前	コンクリート素地
		改修後	アクリルゴム系塗膜防水防汚工法
G	渡り廊下上裏	改修前	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材
		改修後	外装薄塗材E
H	階段室外壁	改修前	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材
		改修後	特殊弾性形改修塗材E 溶剤形有機無機複合フッ素仕上
I	階段室床	改修前	モルタル金コテ仕上
		改修後	アクリルゴム系塗膜防水防汚工法、ノンスリップ金物取付(SUS製)
J	階段室上裏	改修前	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材
		改修後	外装薄塗材E
K	電気室外壁	改修前	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材
		改修後	断熱セラミック塗材
L	電気室軒天	改修前	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材
		改修後	外装薄塗材E
M	電気室巾木	改修前	防水モルタル金コテ
		改修後	ポリマーセメント系基礎巾木用塗材
N	電気室屋根	改修前	アスファルト露出防水 D-1工法 ※アスベスト含有建材
		改修後	ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)密着工法
O	電気室壁礎	改修前	VPφ75 OP塗り
		改修後	2液溶剤形オールマイティシリコン樹脂塗料
P	門扉廻り塀	改修前	合成樹脂エマルジョン系防水形複層仕上塗材 ※アスベスト含有建材
		改修後	エポキシ樹脂サーフェーサーW無機塗材仕上
Q	門扉廻り塀巾木	改修前	防水モルタル金コテ
		改修後	ポリマーセメント系基礎巾木用塗材

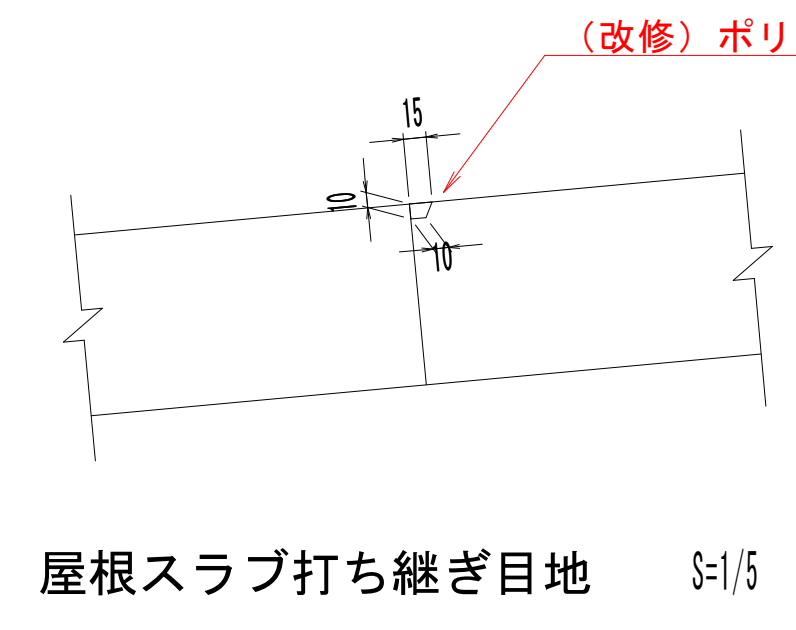
劣化補修工法

劣化種類	部位					合計	単位	補修工法
	1号池	2号池	電気室	階段室	渡り廊下			
ひび割れ (厚0.2mm未満)	—	2.1500	—	—	—	2.1500	m	未処理 (下地調整を要すため)
ひび割れ (厚1.2mm~1.9mm未満)	15.25	2063.30	5.00	20.05	3.20	2106.80	m	ひび割れ注入工 (樹脂注入工法)
ひび割れ (厚1.9mm以上)	—	146.25	—	—	—	146.25	m	ひび割れ注入工 (樹脂注入工法)
鉄筋露出	0.5000	0.1536	1.9900	0.010	—	2.7436	m ²	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
浮き	0.2200	—	—	—	0.6000	0.8200	m ²	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
モルタル浮き	—	—	3.1200	15.7200	—	18.8400	m ²	アンカーピンニング部分エポキシ注入工法
欠損	0.2950	0.3325	—	0.5506	0.0500	12.2810	m ²	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
塗膜の浮き	133.3550	131.7800	12.9800	2.5700	2.5400	283.2250	m ²	(石粉含有建材)110集塵工法 レベル3 (その他)集塵機付きディスクサンダーケレン工法
モルタル欠損	—	—	—	3.8000	—	3.8000	m ²	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
タイル浮き	—	—	—	2.5000	—	2.5000	m ²	撤去 (断面修復工 (ポリマーセメントモルタル))
ひび割れ (ドーム部 厚0.2mm~)	—	210.15	—	—	—	210.15	m	ひび割れ注入工 (エポキシ樹脂材料注入工法)

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	平面図・立面図・断面図				
縮尺	図示	図面番号	09 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主任係長	担当者



屋根伏図 S=1/200



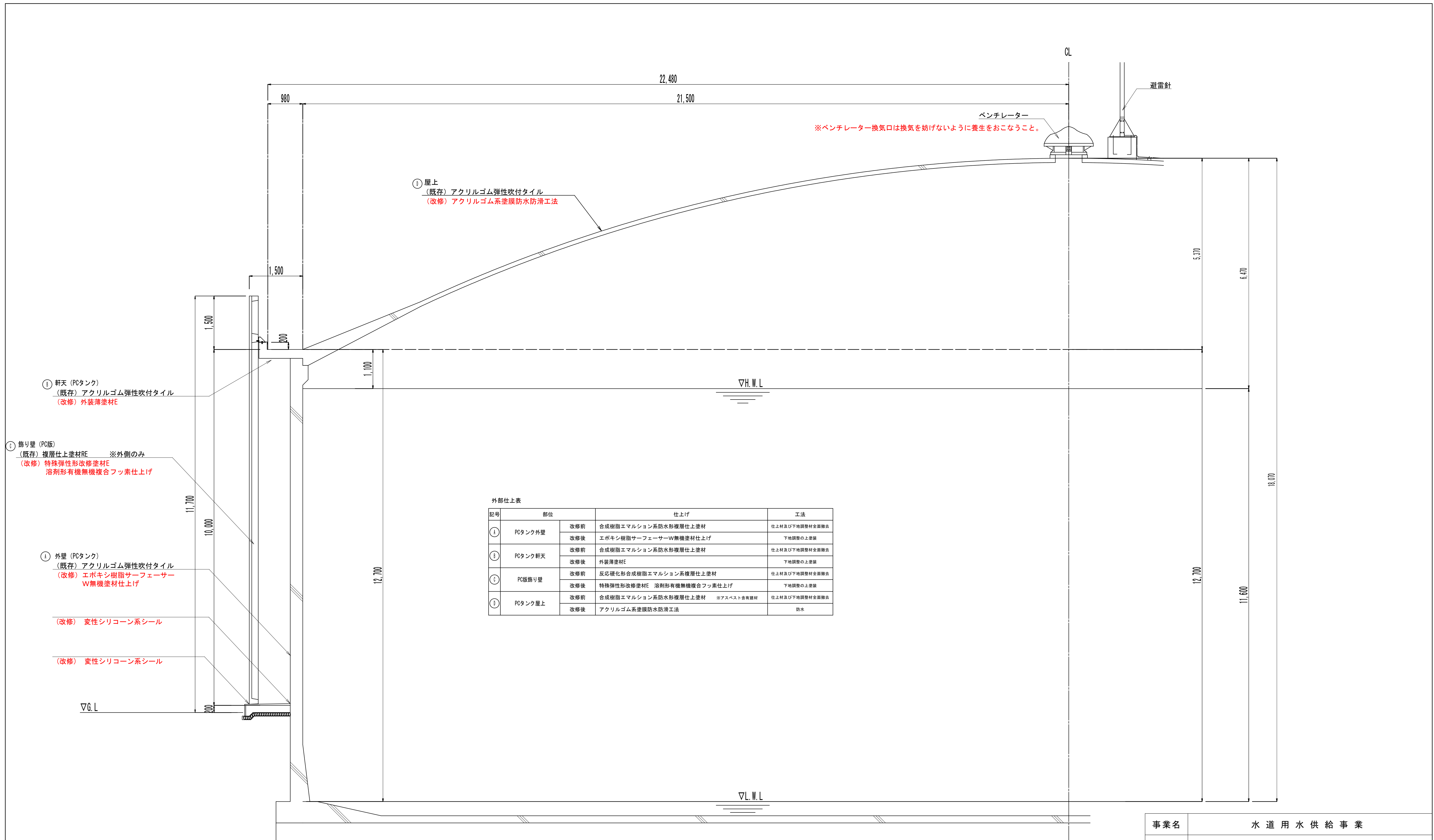
屋根スラブ打ち継ぎ目地 S=1/5

特記事項
 ※防水や塗装の施工に支障がある電気設備は、養生をおこない仮撤去が必要な場合は、盛替・復旧をおこなうこと。
 ※石綿繊維状粒子自動測定機を設置し作業を行うこと。
 ※アクリルゴム系塗膜防水は、JIS A 6021とすること。

外部仕上表

記号	部位	仕上げ	工法	
①	PCタンク外壁	改修前	合成樹脂エマルジョン系防水形複層仕上塗材	仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	エポキシ樹脂サフェーサーW無機塗材仕上	下地調整の上塗装
②	PCタンク軒天	改修前	合成樹脂エマルジョン系防水形複層仕上塗材	仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	外装薄塗材E	下地調整の上塗装
③	PC板飾り壁	改修前	反応硬化合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	特殊弾性形改修塗材E 溶剤形有機無機複合フッ素仕上	下地調整の上塗装
④	PCタンク屋上	改修前	合成樹脂エマルジョン系防水形複層仕上塗材 ※アスベスト含有建材	仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	アクリルゴム系塗膜防水防汚工法	防水
⑤	PCタンク壁礎	改修前	VPφ100 OP塗り	下地調整
		改修後	ｶﾞｰVPφ100	取替
⑥	渡り廊下床	改修前	コンクリート素地	部分補修
		改修後	アクリルゴム系塗膜防水防汚工法	防水
⑦	渡り廊下上裏	改修前	反応硬化合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	外装薄塗材E	下地調整の上塗装
⑧	階段外壁	改修前	反応硬化合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	特殊弾性形改修塗材E 溶剤形有機無機複合フッ素仕上	下地調整の上塗装
⑨	階段室床	改修前	モルタル金コテ仕上	部分補修
		改修後	アクリルゴム系塗膜防水防汚工法	防水
⑩	階段室上裏	改修前	反応硬化合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	外装薄塗材E	下地調整の上塗装
⑪	電気室外壁	改修前	反応硬化合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	断熱セラミック塗材	下地調整の上塗装
⑫	電気室軒天	改修前	反応硬化合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	外装薄塗材E	下地調整の上塗装
⑬	電気室巾木	改修前	防水モルタル金コテ	部分補修
		改修後	ポリマーセメント系基礎巾木用塗材	防水
⑭	電気室屋根	改修前	アスファルト露出防水 D-1工法 ※アスベスト含有建材	仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	ウレタンゴム系塗膜防水 (K-2) 密着工法	防水

事業名	水道用水供給事業			
工事名	中原調整池1号池塗装工事			
図面名	屋根伏図			
縮尺	図示	図面番号	10 / 44	
事業主	佐賀東部水道企業団			
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長 担当者



※ベンチレーター換気口は換気を妨げないように養生をおこなうこと。

① 屋上
 (既存) アクリルゴム弾性吹付タイル
 (改修) アクリルゴム系塗膜防水防滑工法

① 軒天 (PCタンク)
 (既存) アクリルゴム弾性吹付タイル
 (改修) 外装薄塗材E

① 飾り壁 (PC版)
 (既存) 複層仕上塗材RE ※外側のみ
 (改修) 特殊弾性形改修塗材E
 溶剤形有機無機複合フッ素仕上げ

① 外壁 (PCタンク)
 (既存) アクリルゴム弾性吹付タイル
 (改修) エポキシ樹脂サーフェーサー
 W無機塗材仕上げ

(改修) 変性シリコーン系シーラー

(改修) 変性シリコーン系シーラー

外部仕上表

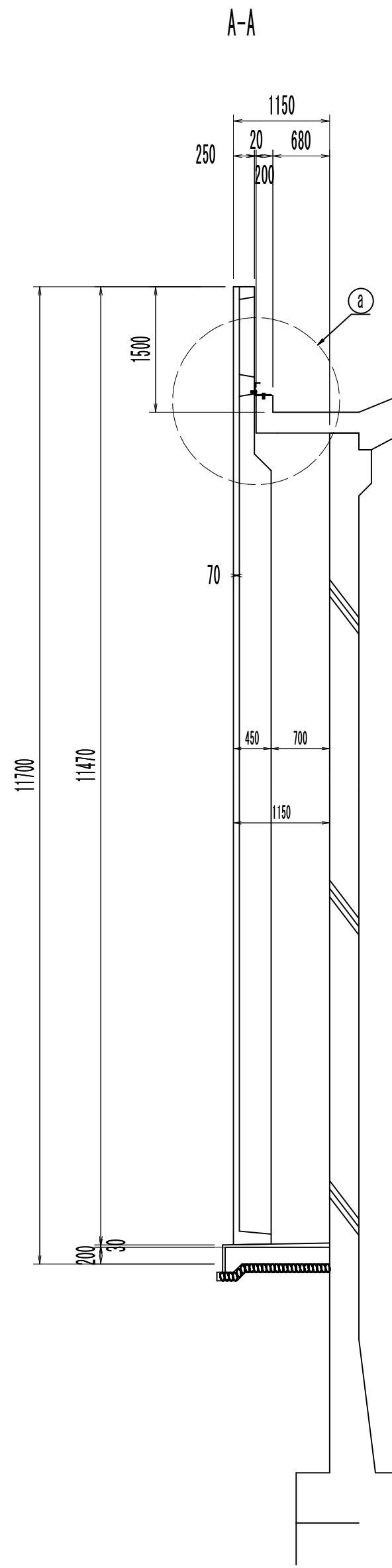
記号	部位	仕上げ	工法
①	PCタンク外壁	改修前	合成樹脂エマルション系防水形複層仕上塗材
		改修後	エポキシ樹脂サーフェーサーW無機塗材仕上げ
②	PCタンク軒天	改修前	合成樹脂エマルション系防水形複層仕上塗材
		改修後	外装薄塗材E
③	PC版飾り壁	改修前	反応硬化形合成樹脂エマルション系複層仕上塗材
		改修後	特殊弾性形改修塗材E 溶剤形有機無機複合フッ素仕上げ
④	PCタンク屋上	改修前	合成樹脂エマルション系防水形複層仕上塗材 ※アスベスト含有建材
		改修後	アクリルゴム系塗膜防水防滑工法

矩計図 S=1/50

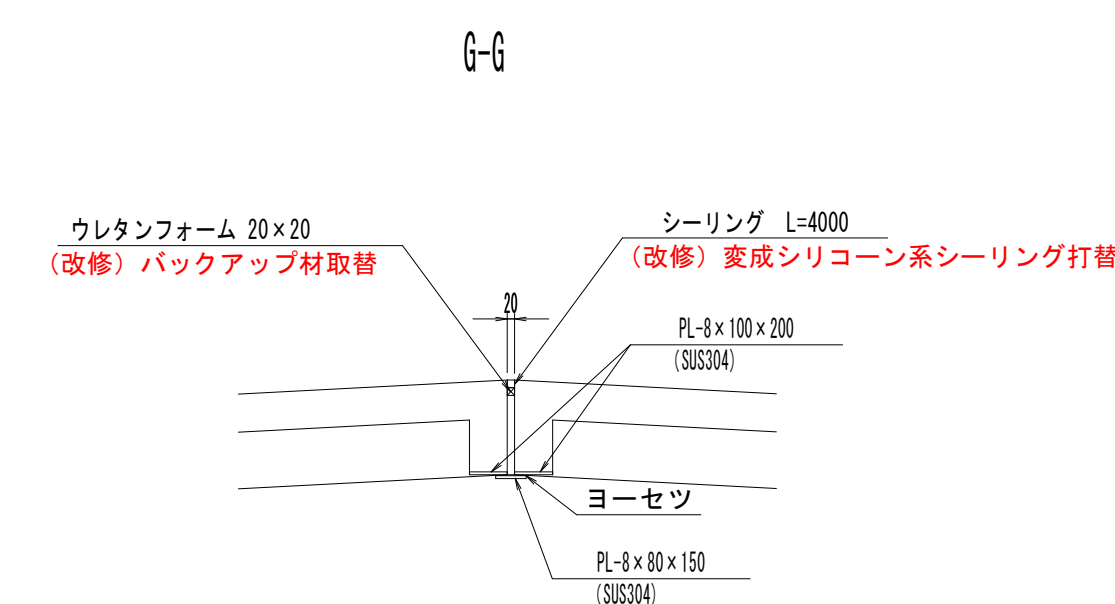
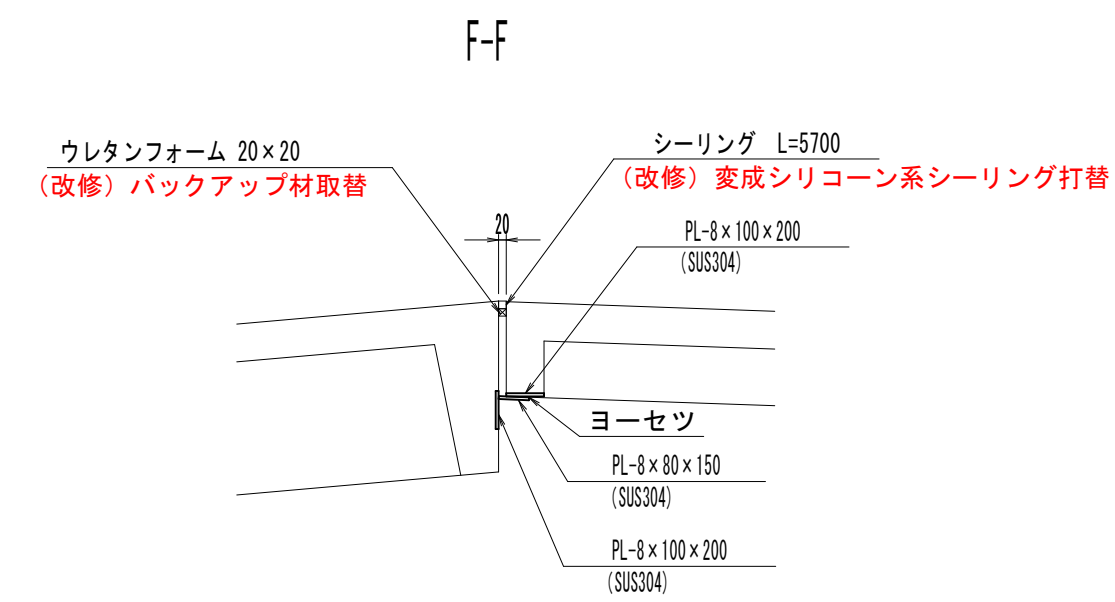
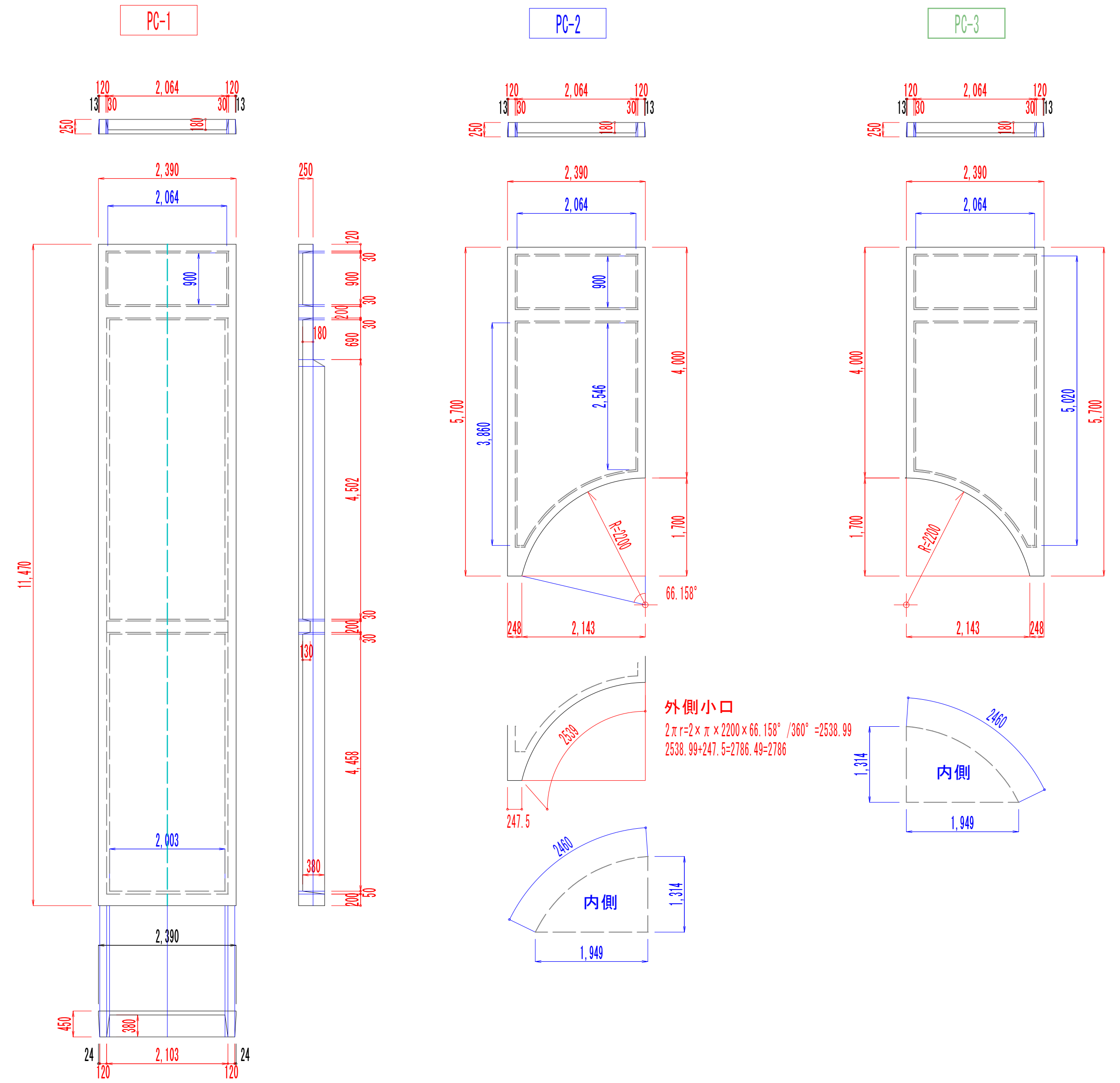
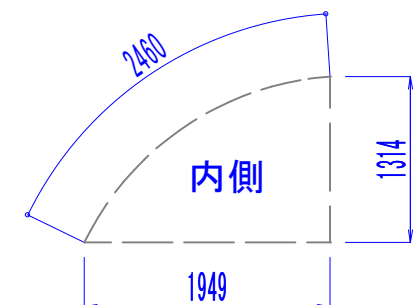
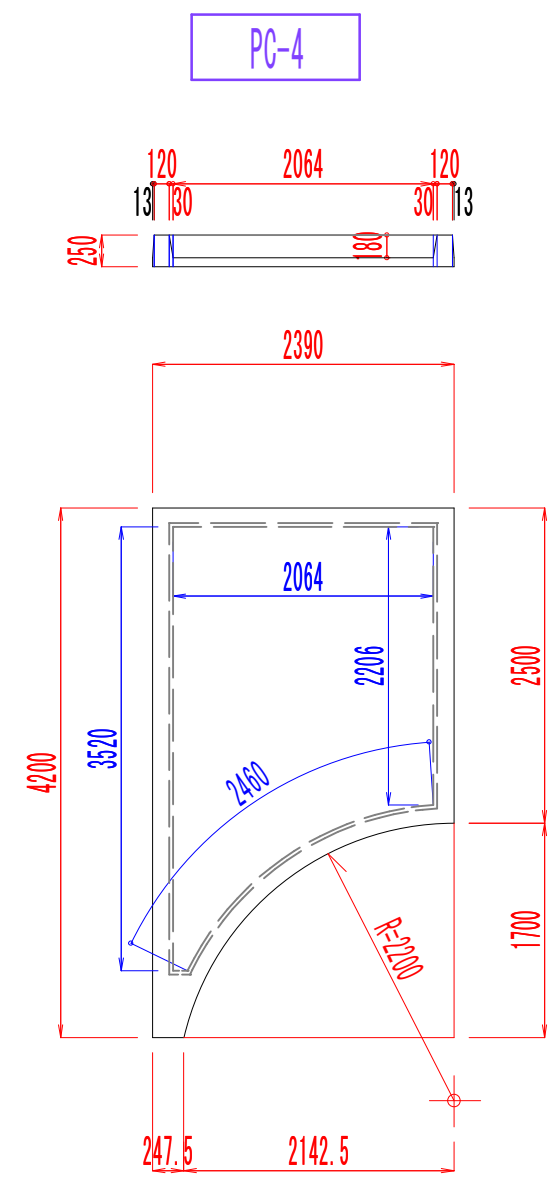
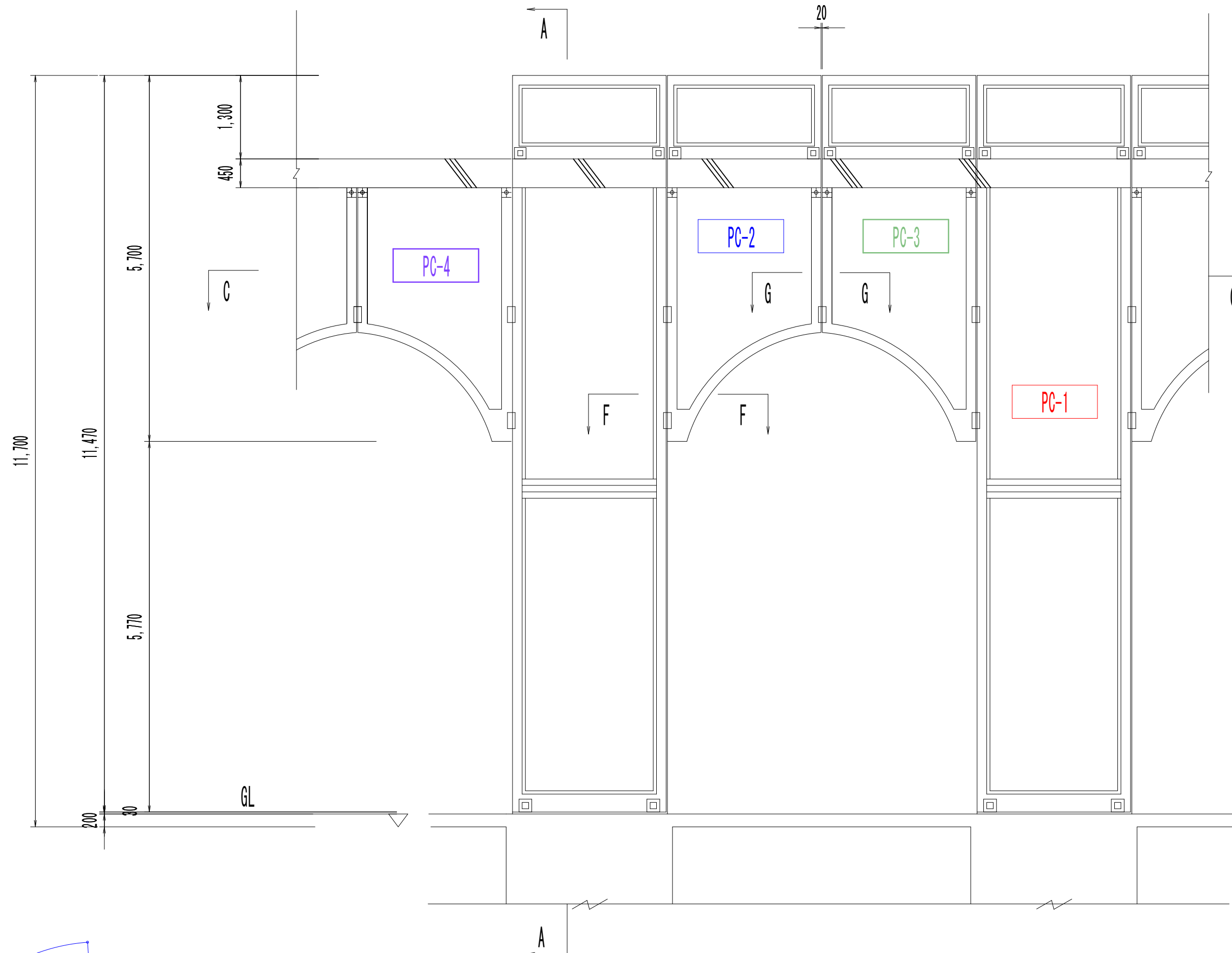
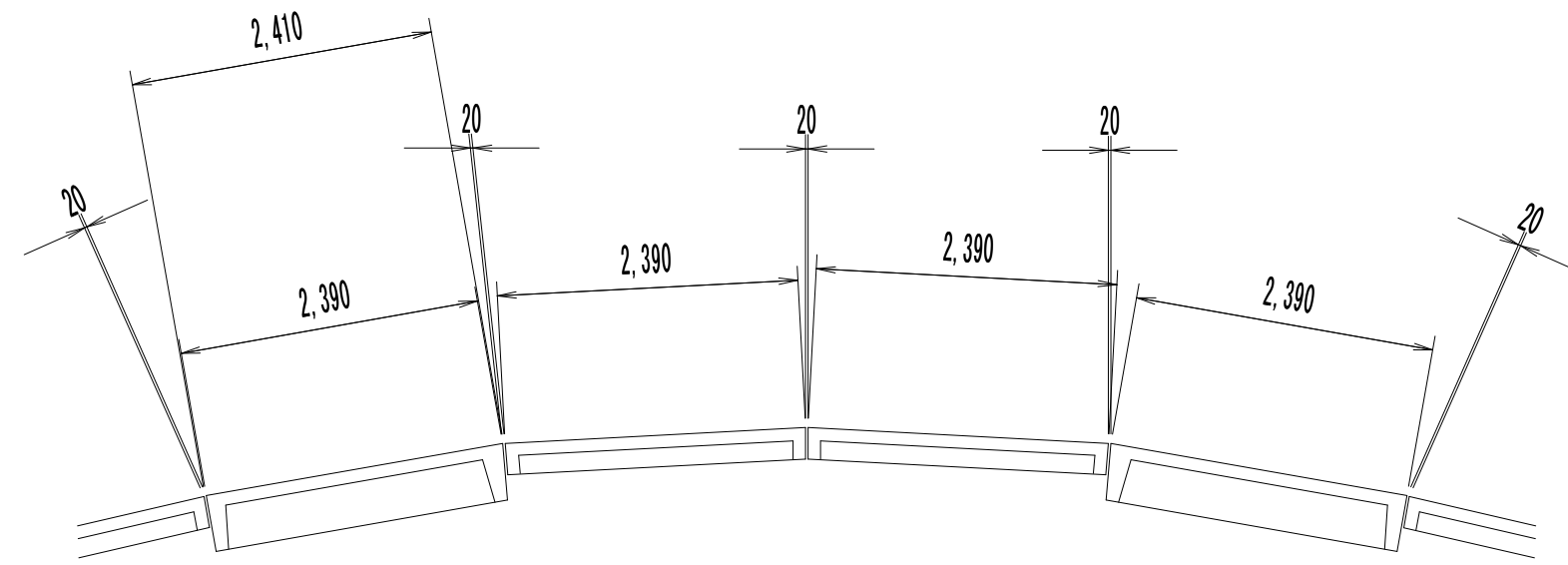
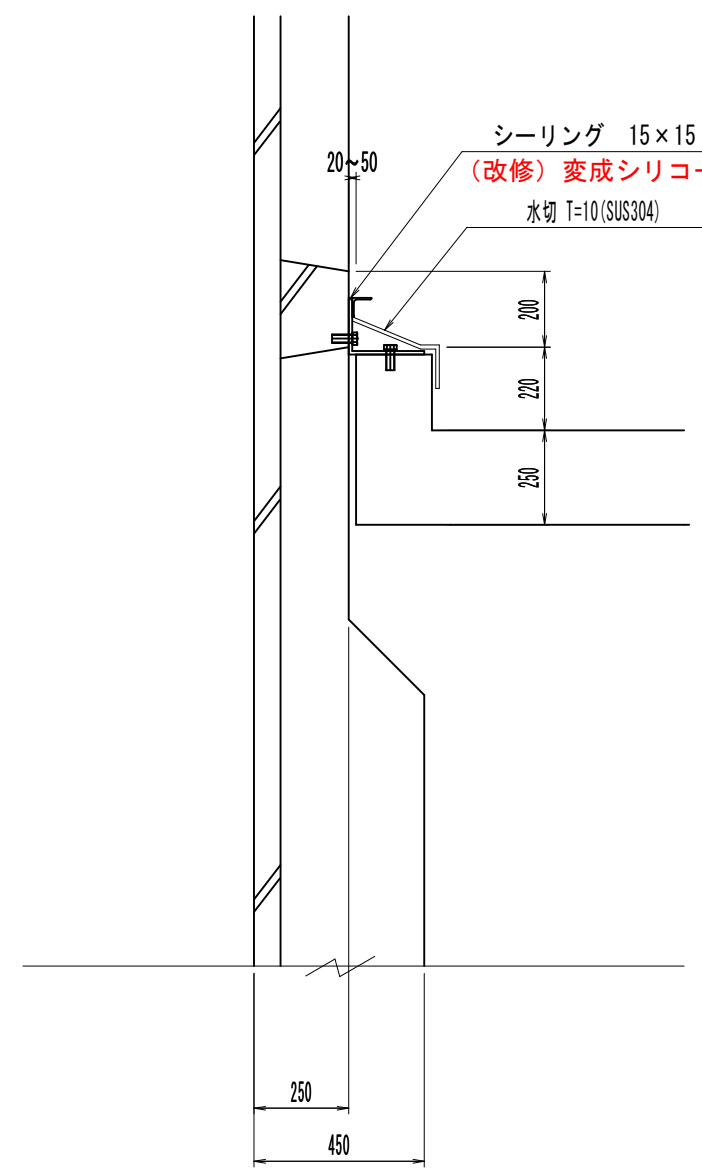
特記事項
 ※防水や塗装の施工に支障がある電気設備は、養生をおこない仮撤去が必要な場合は、盛替・復旧をおこなうこと。
 ※石綿繊維状粒子自動測定機を設置し作業を行うこと。
 ※アクリルゴム系塗膜防水は、JIS A 6021とすること。
 ※ベンチレーター換気口は換気を妨げないように養生をおこなうこと。

事業名	水道用水供給事業		
工事名	中原調整池1号池塗装工事		
図面名	矩計図		
縮尺	図示	図面番号	11 / 44
事業主	佐賀東部水道企業団		
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐
		主管係長	担当者

飾り壁 (PC版) 詳細図 S=1:60



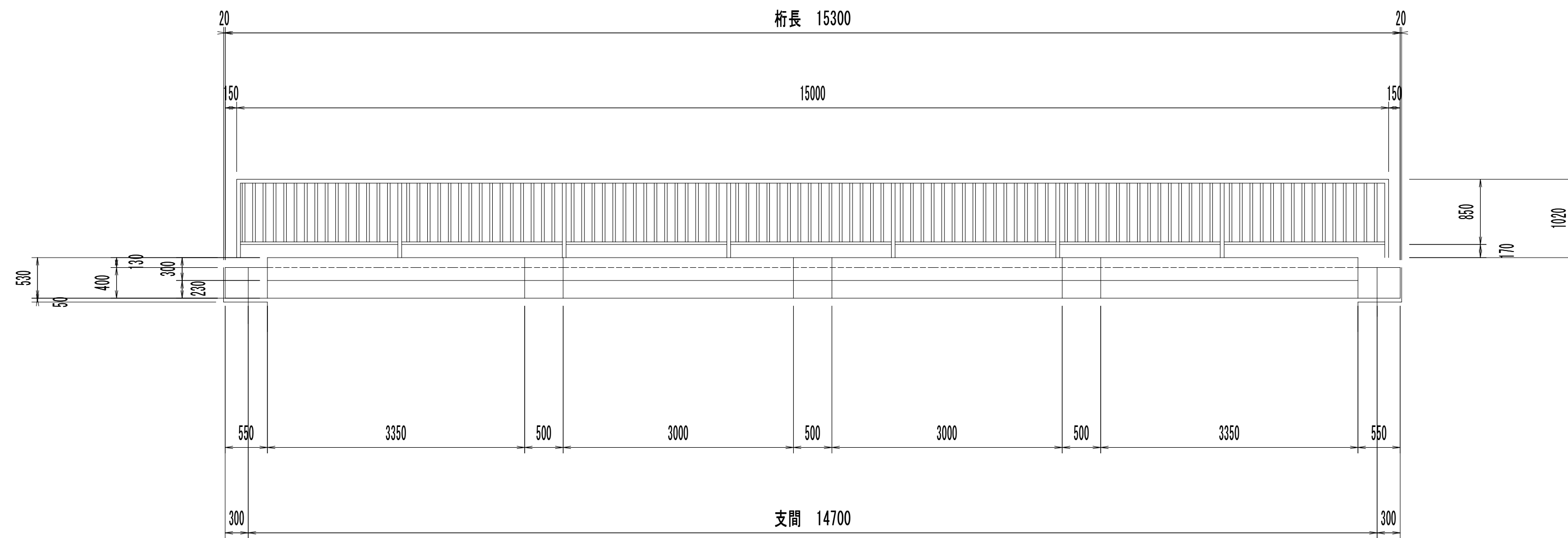
①部詳細図 S=1:20



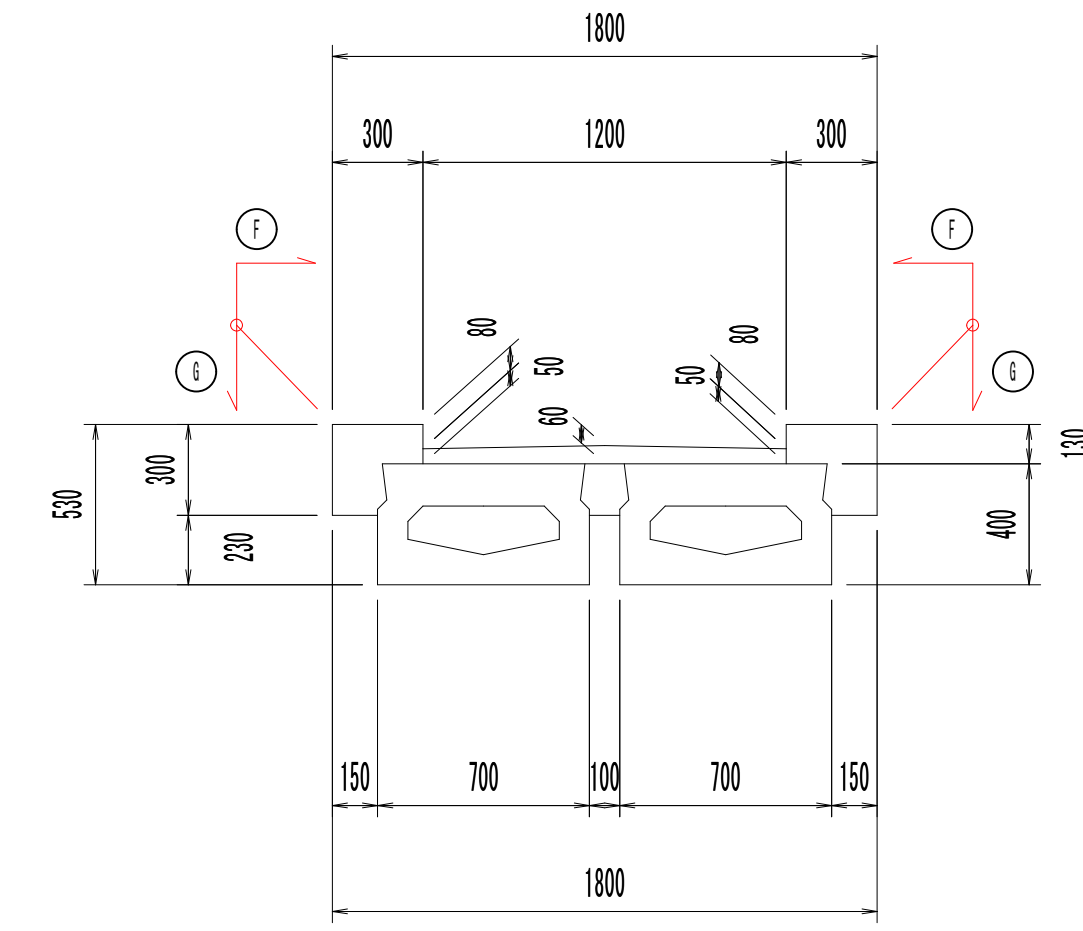
事業名	水道用水供給事業			
工事名	中原調整池1号池塗装工事			
図面名	飾り壁 (PC版) 詳細図			
縮尺	図示	図面番号	12 / 44	
事業主	佐賀東部水道企業団			
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主幹係長 担当

渡り廊下詳細図

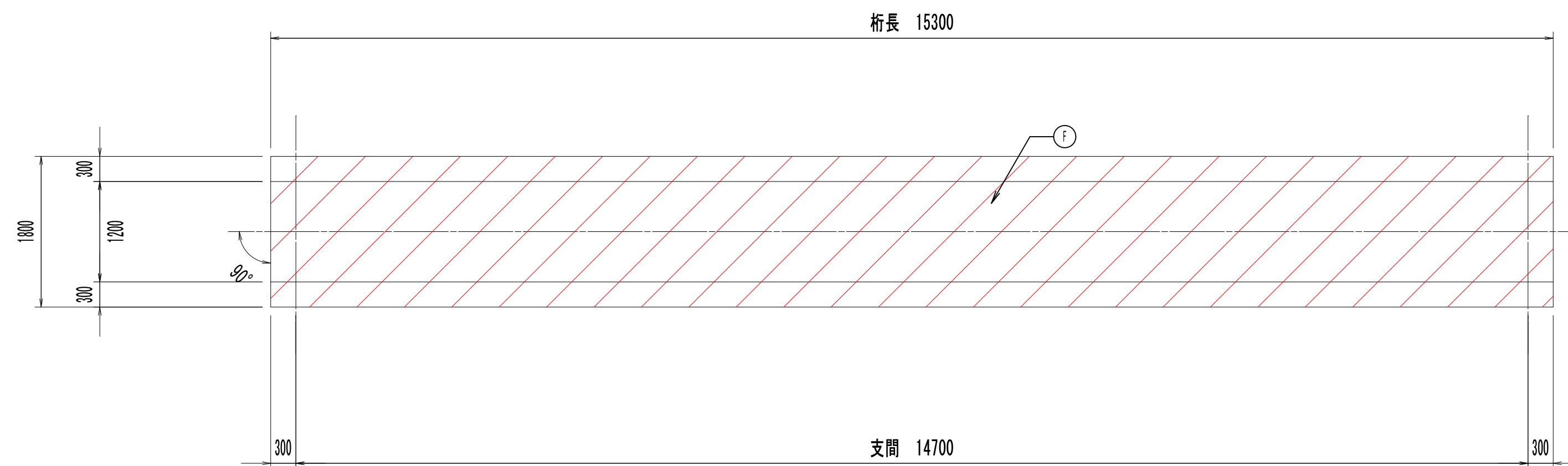
側面図 S=1:50



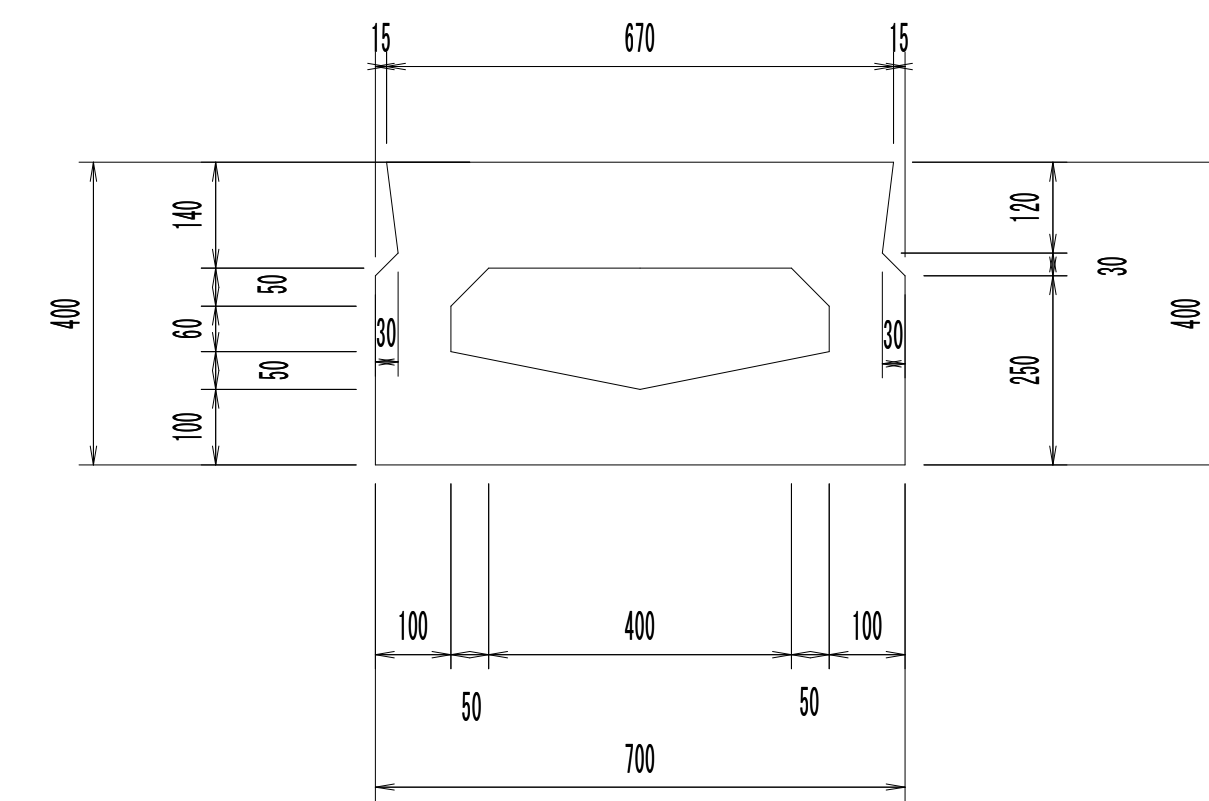
横断面図 S=1:50



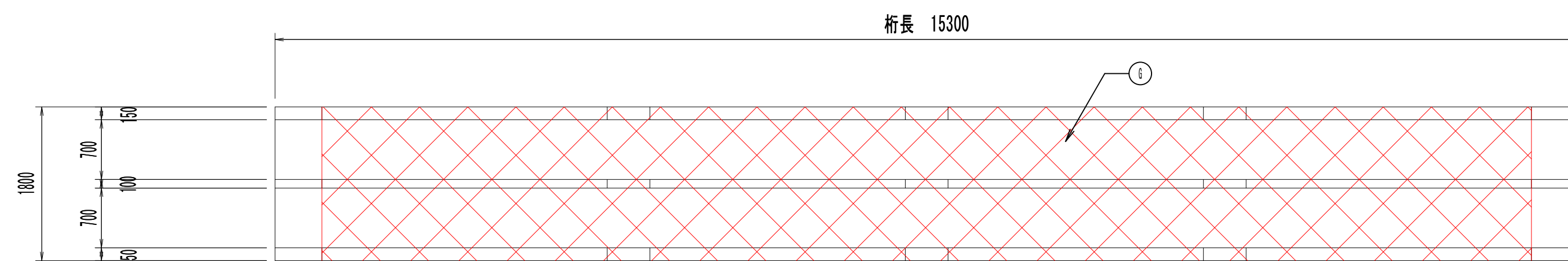
平面図 S=1:50



主桁断面図 S=1:10



桁下図 S=1:50



外部仕上表

記号	部位	仕上げ	工法
①	渡り廊下床	改修前	コンクリート素地
		改修後	アクリルゴム系塗膜防水防汚工法
②	渡り廊下上裏	改修前	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材
		改修後	外装薄塗材E

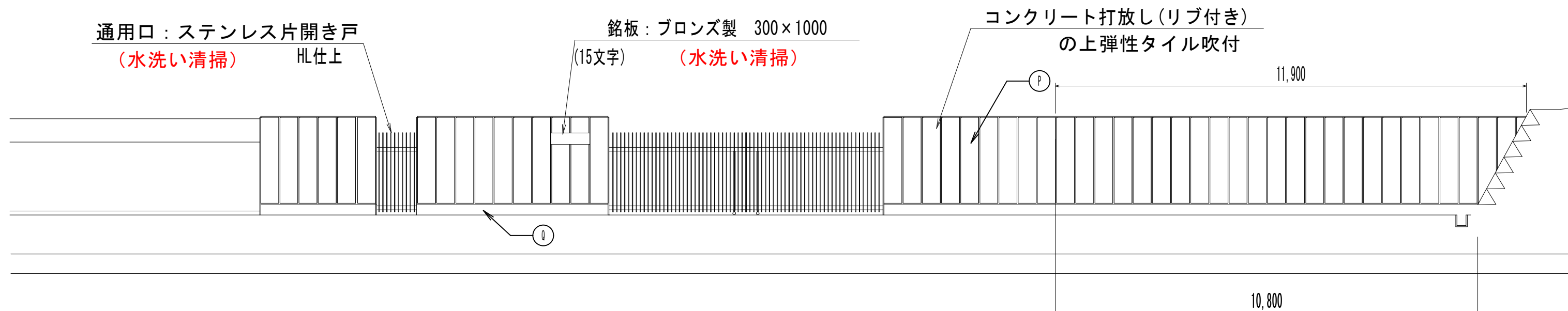
特記事項

※アクリルゴム系塗膜防水は、JIS A 6021とすること。

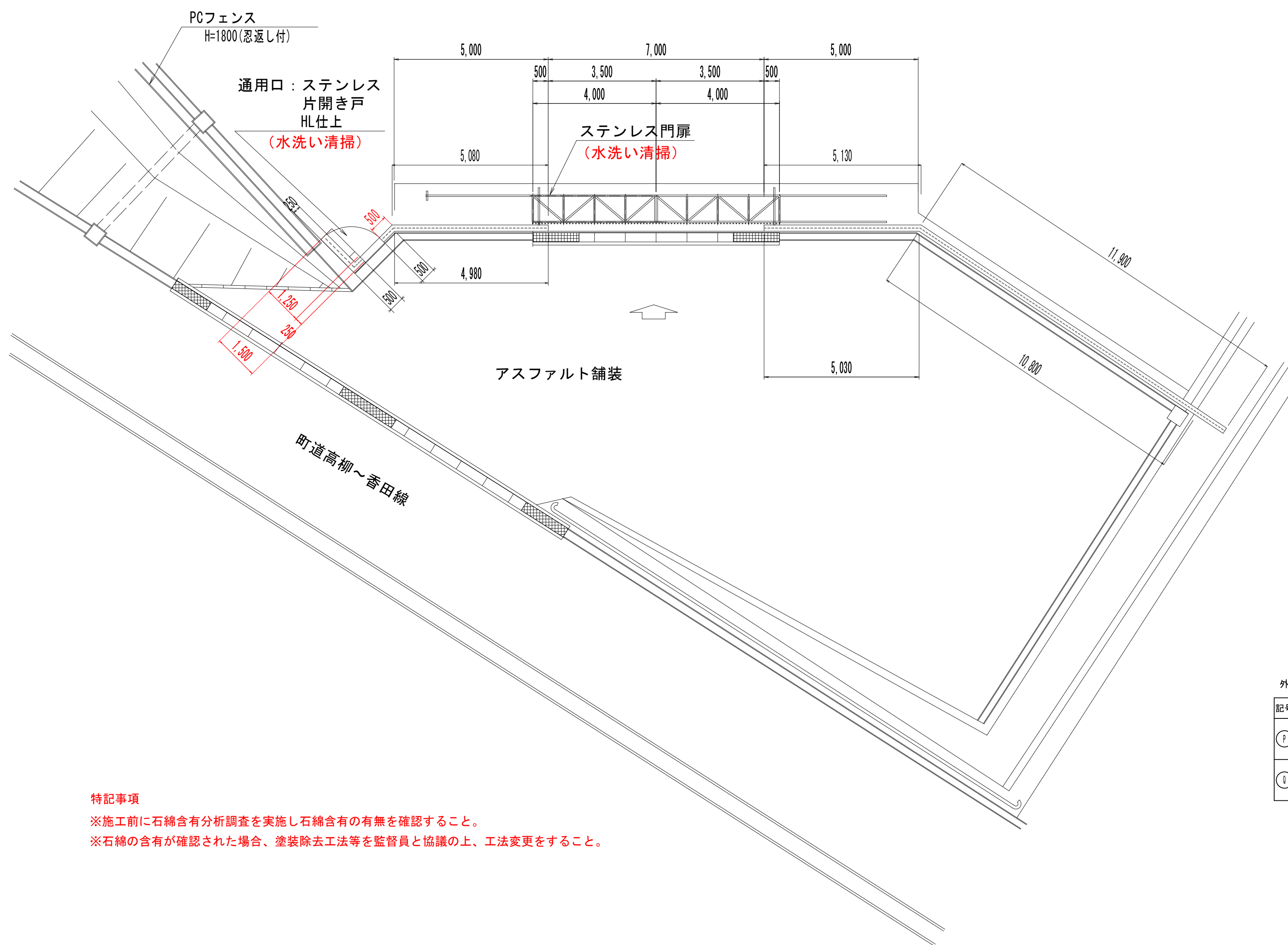
事業名	水道用水供給事業		
工事名	中原調整池1号池塗装工事		
図面名	渡り廊下詳細図		
縮尺	図示	図面番号	14 / 44
事業主	佐賀東部水道企業団		
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐
		主管係長	担当者

外構詳細図

立面図 S=1:100

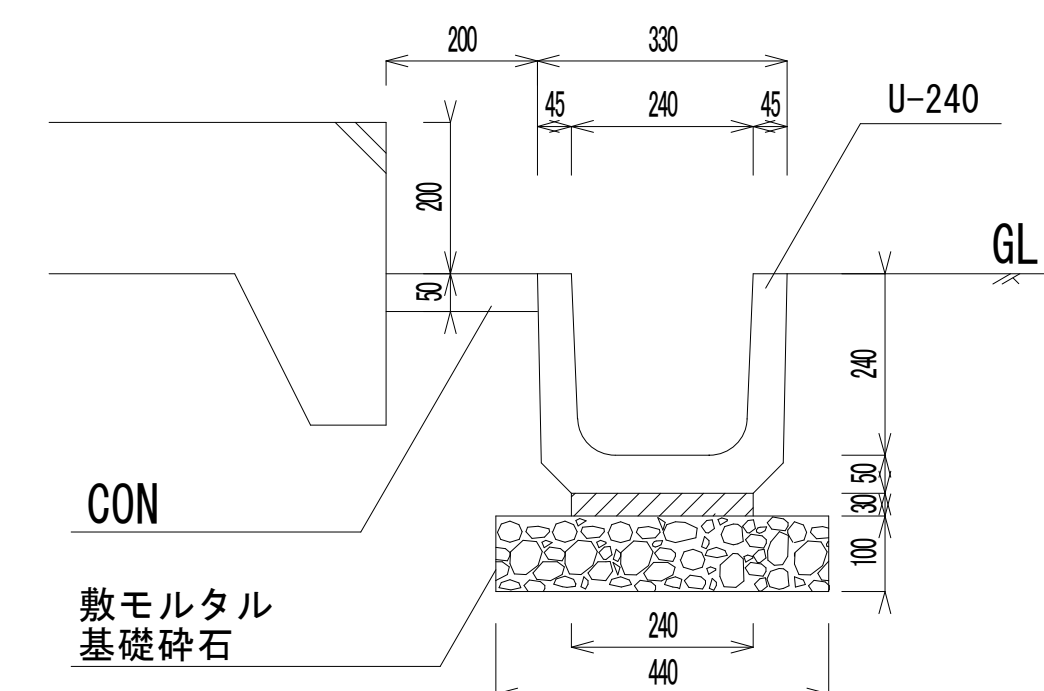


平面図 S=1:100

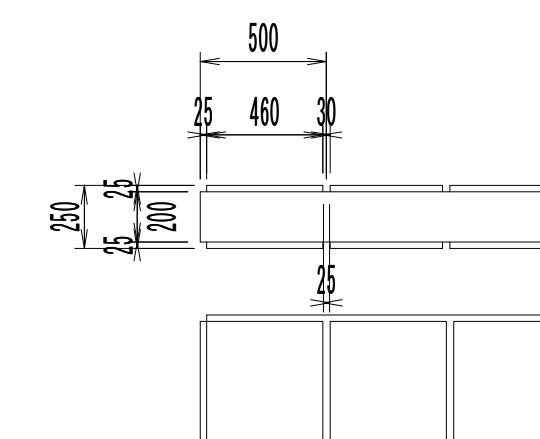


特記事項
 ※施工前に石綿含有分析調査を実施し石綿含有の有無を確認すること。
 ※石綿の含有が確認された場合、塗装除去工法等を監督員と協議の上、工法変更をすること。

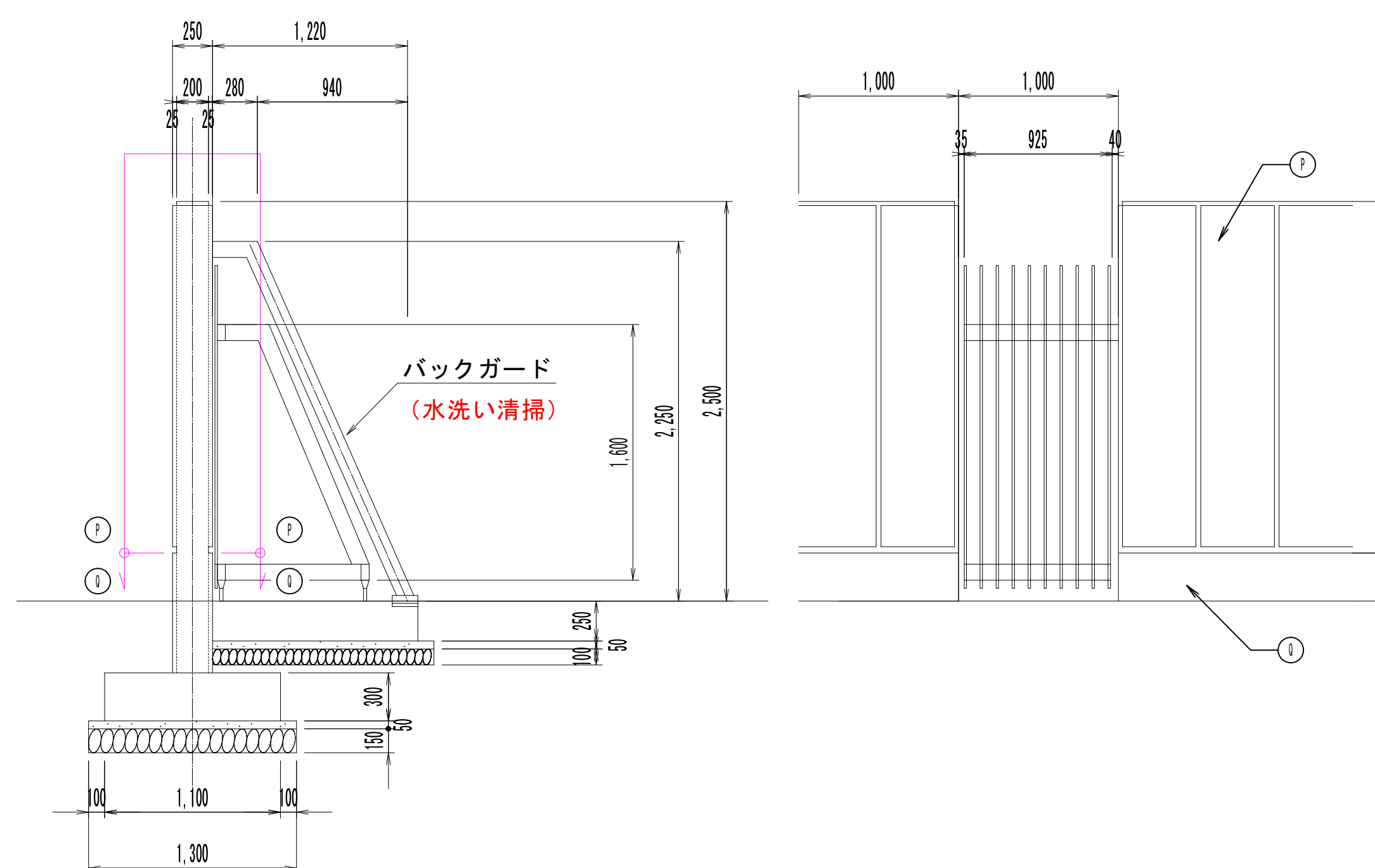
側溝詳細 S=1:10



通用口コンクリート打放し目地部分詳細 S=1:30



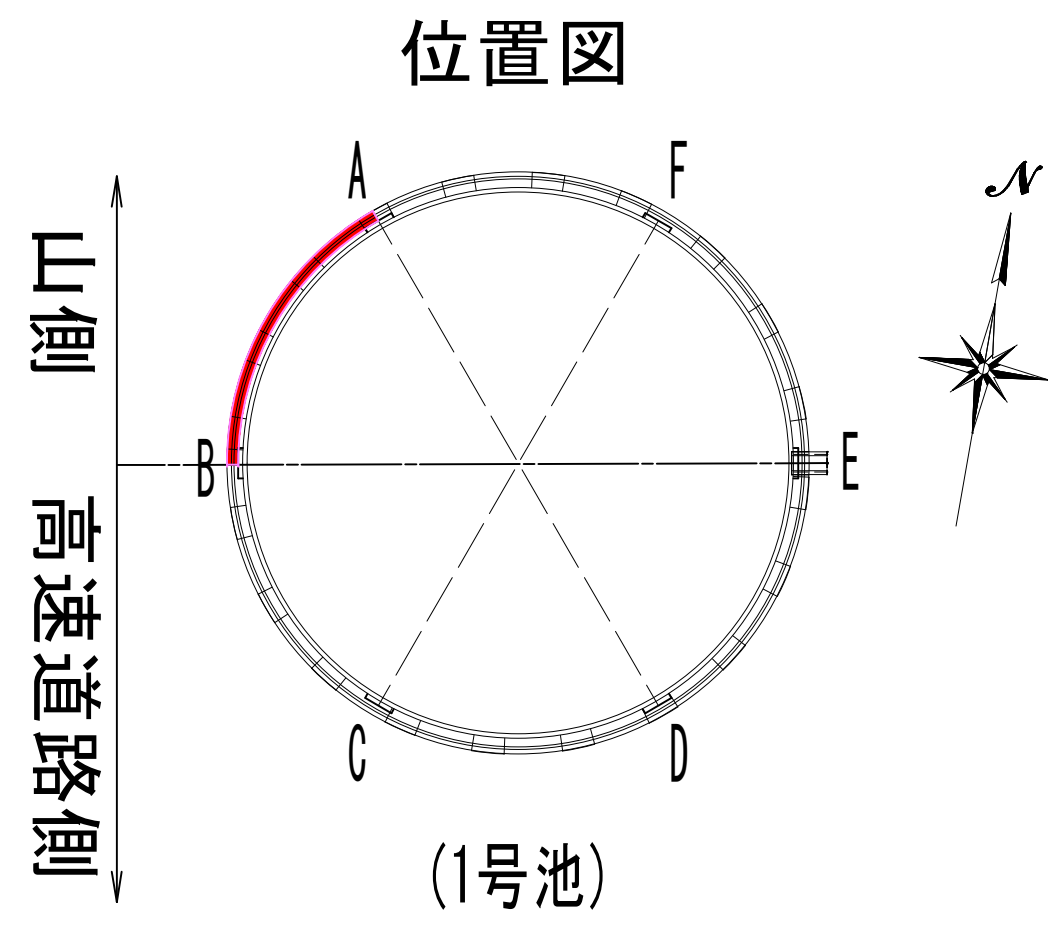
断面図 S=1:30



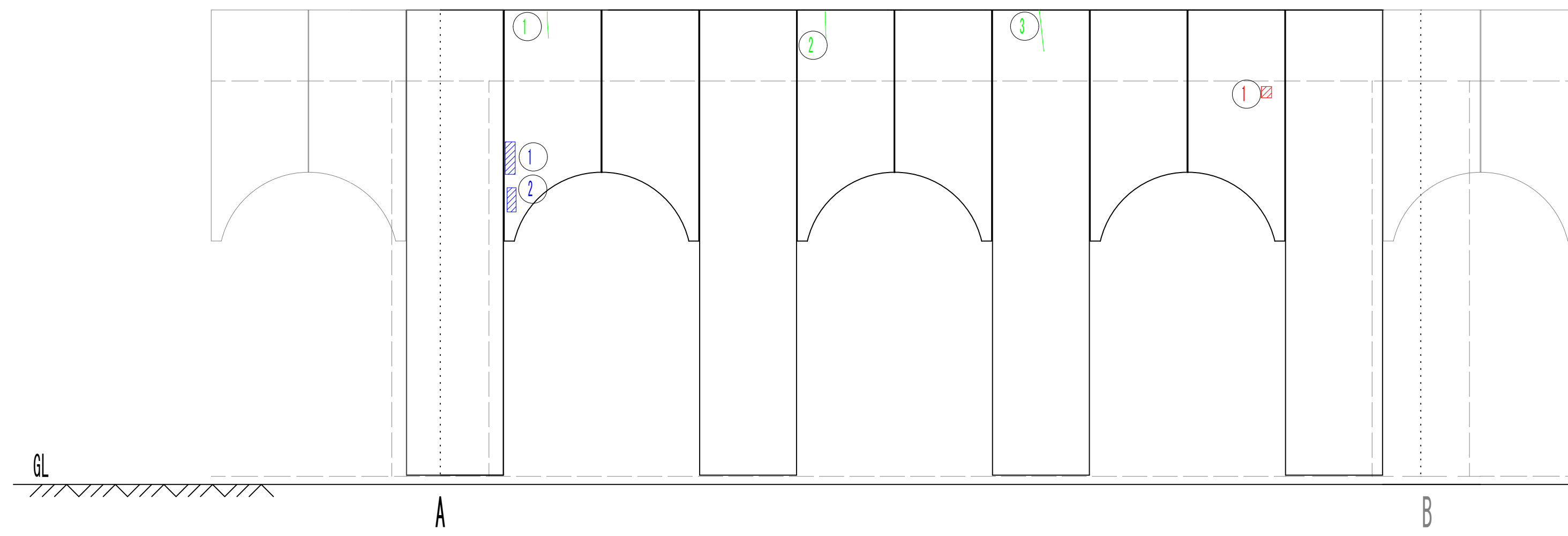
外部仕上表

記号	部位	仕上げ	工法
②	門扉廻り壁	改修前	合成樹脂エマルジョン系防水形複層仕上塗材 ※重アスベスト含有疑義 仕上材及び下地調整材全面撤去
		改修後	エポキシ樹脂サフェーサーW無機塗材仕上げ 下地調整の上塗装
①	門扉廻り壁巾木	改修前	防水モルタル金コテ 部分補修
		改修後	ポリマーセメント系基礎巾木用塗材 下地調整の上塗装

事業名	水道用水供給事業		
工事名	中原調整池1号池塗装工事		
図面名	外構詳細図		
縮尺	図示	図面番号	15 / 44
事業主	佐賀東部水道企業団		
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐
		主管係長	担当者



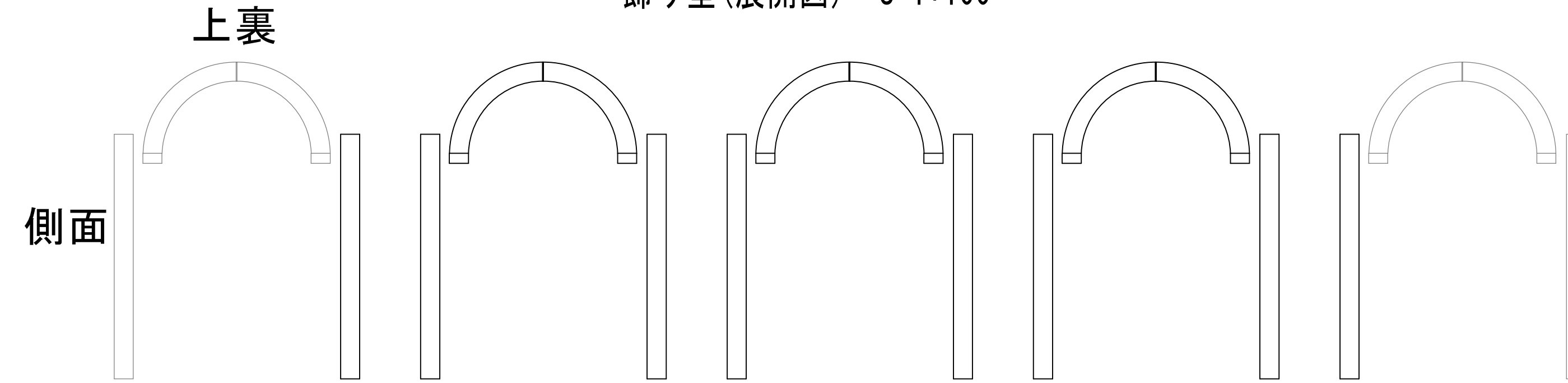
損傷図(1)
1号池PCタンク A-B間
飾り壁(外側) S=1:100



凡例

ひび割れ ($w < 0.2mm$)		
ひび割れ ($0.2mm \leq w < 1.0mm$)		
ひび割れ ($1.0mm \leq w$)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

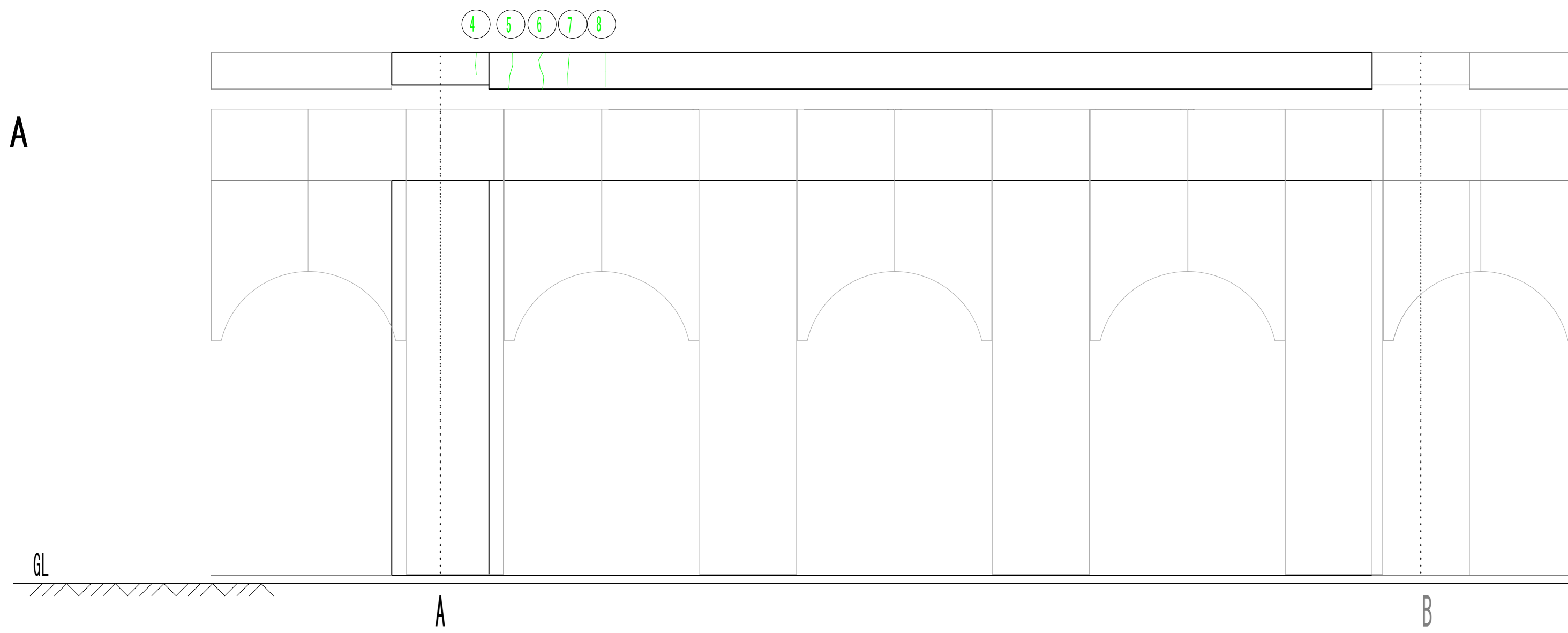
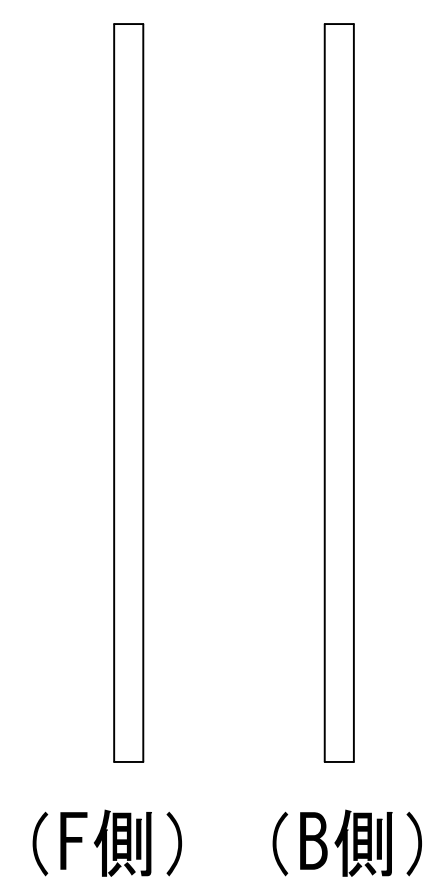
飾り壁(展開図) S=1:100



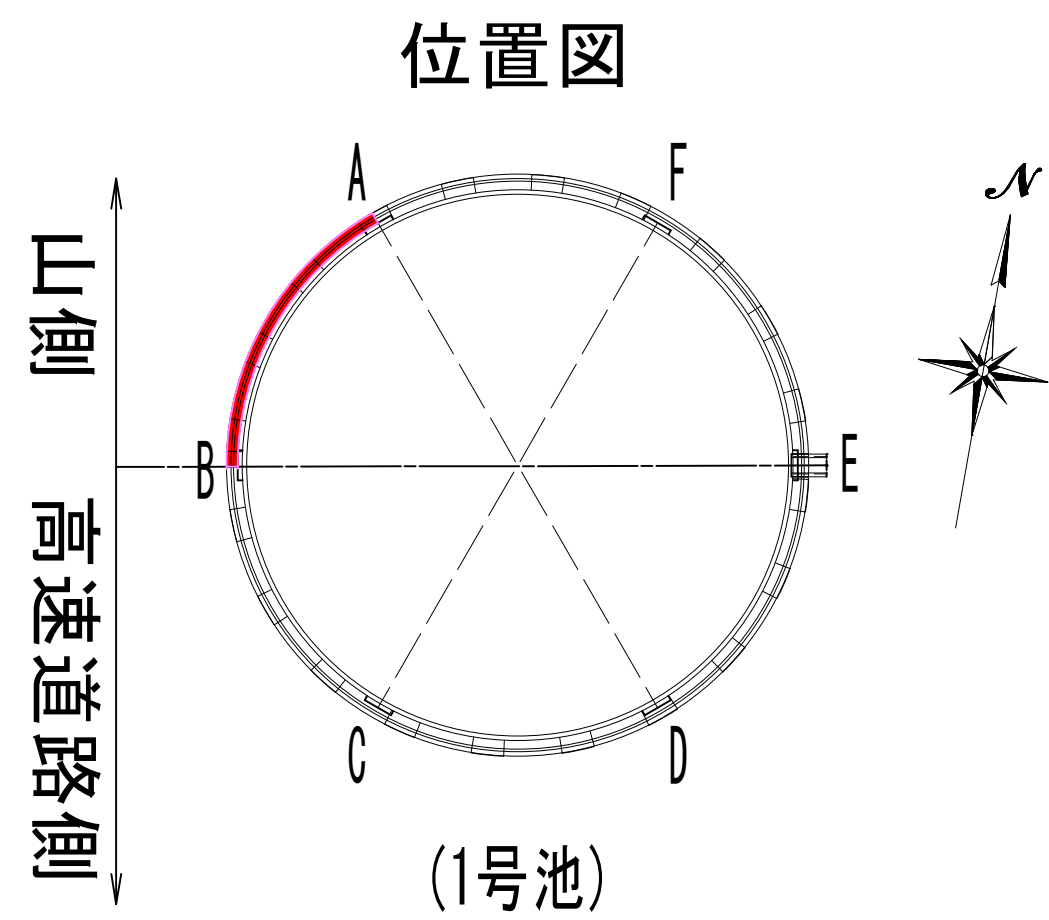
PCタンク外壁 S=1:100

上裏

ピラスター側面 A

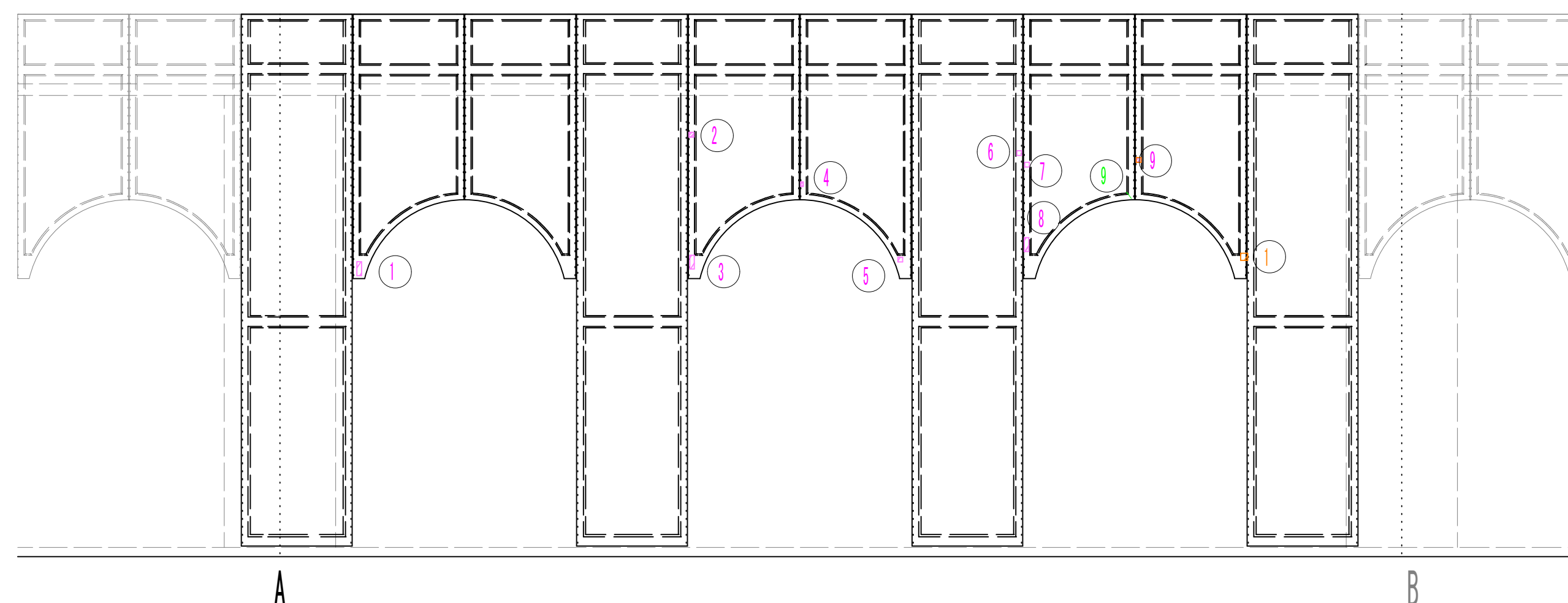


事業名	水道用水供給事業			
工事名	中原調整池1号池塗装工事			
図面名	損傷図(1)			
縮尺	図示	図面番号	16 / 44	
事業主	佐賀東部水道企業団			
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主任係長
				担当者



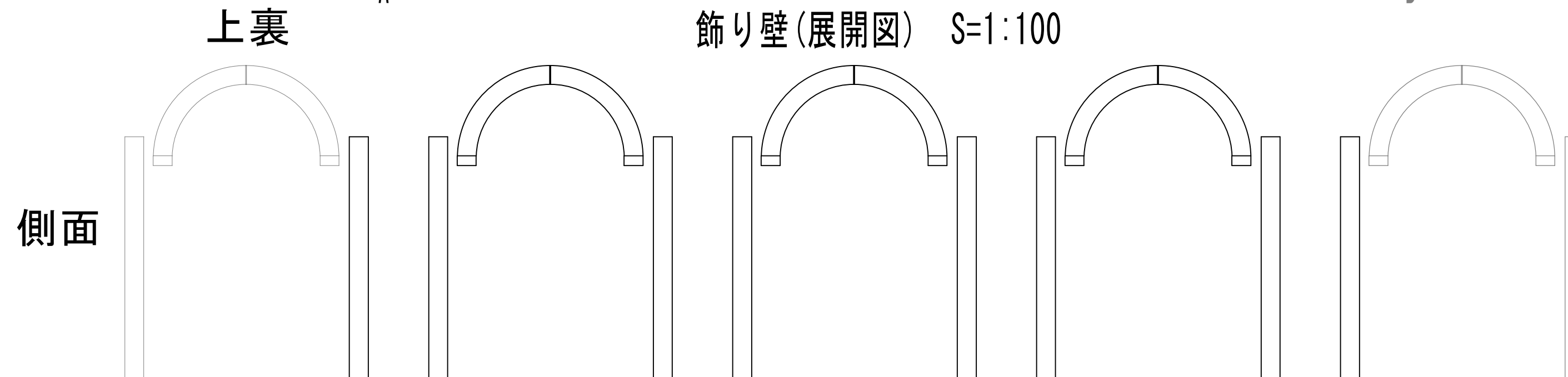
損傷図(2)
1号池PCタンク A-B間

飾り壁(内側) S=1:100

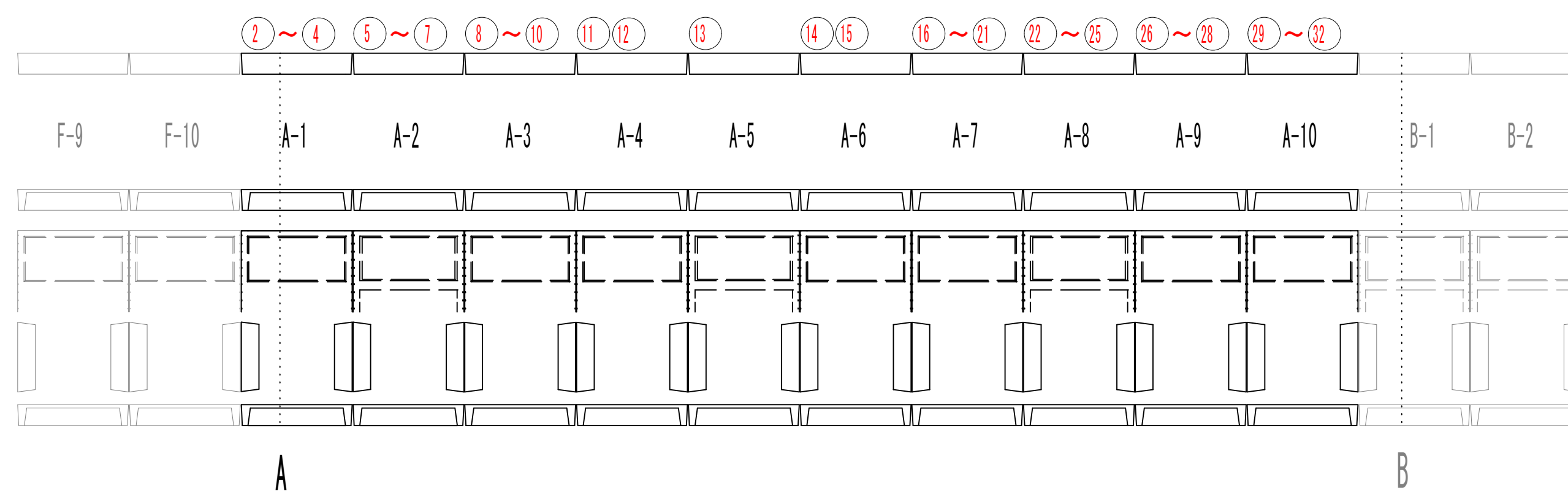


凡例

ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm<=w<1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm<=w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		



屋上(飾り壁内側展開図) S=1:100



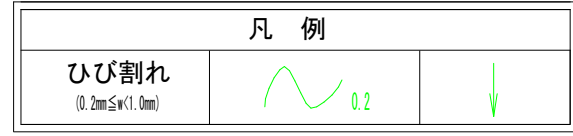
天端 ※ 2~32の損傷はPC鋼より線を示す。

※飾り壁内側水切シーリング材全体に劣化がみられる。

写真No17

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(2)				
縮尺	図示	図面番号	17 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者

損傷図(3)
1号池PCタンク A-B間

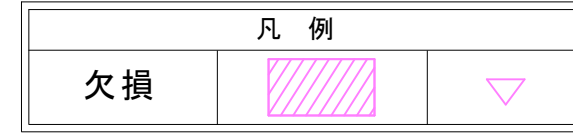


劣化補修工法：ひび割れ注入工(低圧注入工法)

損傷名： ひび割れ(W=0.2mm~1.0mm未満)

損傷図(1),(2)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 延長(m)	備考	
			W(mm)	L(m)	=			
1	コンクリート	飾り壁(外側)	0.40	/	0.40	=	0.40	
2	コンクリート	飾り壁(外側)	0.30	/	0.30	=	0.30	
3	コンクリート	飾り壁(外側)	0.35	/	0.60	=	0.60	
4	コンクリート	PCタンク上裏	0.20	/	0.55	=	0.55	写真帳No2
5	コンクリート	PCタンク上裏	0.20	/	0.90	=	0.90	
6	コンクリート	PCタンク上裏	0.20	/	0.90	=	0.90	
7	コンクリート	PCタンク上裏	0.20	/	0.90	=	0.90	
8	コンクリート	PCタンク上裏	0.20	/	0.90	=	0.90	
9	コンクリート	飾り壁(内側)	0.20	/	0.10	=	0.10	
合計						5.55		

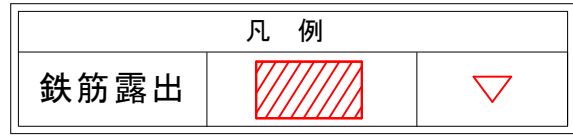


劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

損傷名： 欠損

損傷図(2)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.30	×	0.10	=	0.0300	
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.30	×	0.10	=	0.0300	
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.10	=	0.0050	
5	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	
6	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
7	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
8	コンクリート	飾り壁(内側)	0.30	×	0.10	=	0.0300	写真帳No3
9	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	
合計						0.1300		

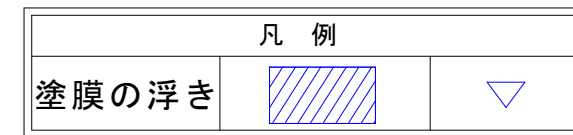


劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

損傷名： 鉄筋露出

損傷図(1),(2)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	コンクリート	飾り壁(外側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	写真帳No1
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
5	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
6	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
7	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
8	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
9	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
10	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
11	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
12	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
13	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
14	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
15	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
16	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
17	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
18	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
19	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
20	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
21	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
22	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
23	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
24	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
25	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
26	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
27	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
28	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
29	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
30	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
31	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
32	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
合計						0.0800		

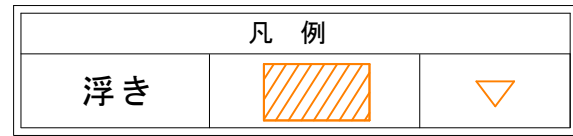


劣化補修工法：集塵機付きディスクサンダーケレン工法

損傷名： 塗膜の浮き

損傷図(1)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	塗装	飾り壁(外側)	0.50	×	0.10	=	0.0500	
2	塗装	飾り壁(外側)	0.30	×	0.10	=	0.0300	
合計						0.0800		



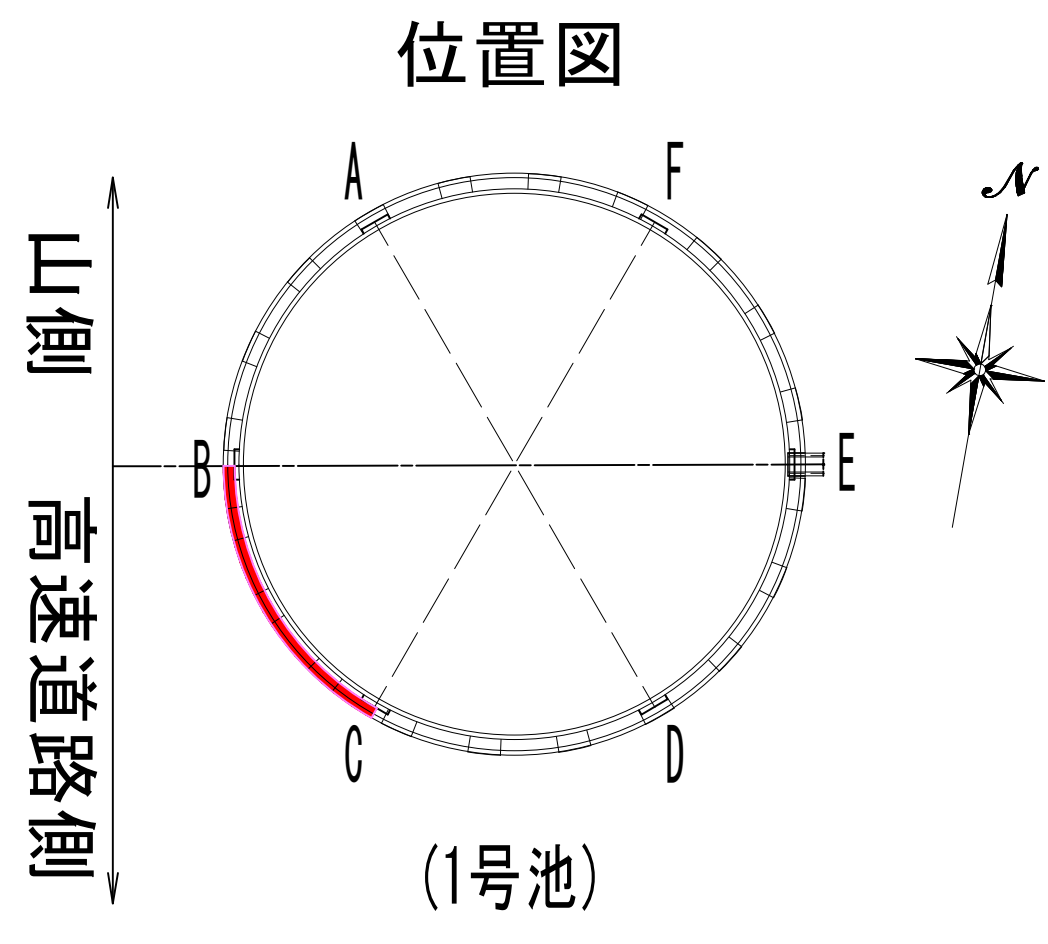
劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

損傷名： 浮き

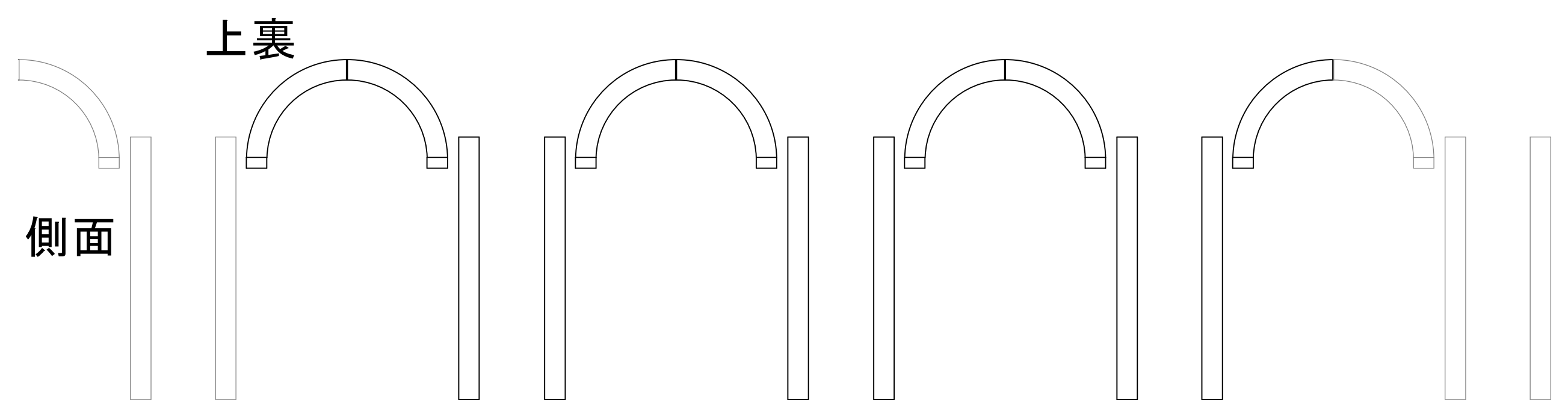
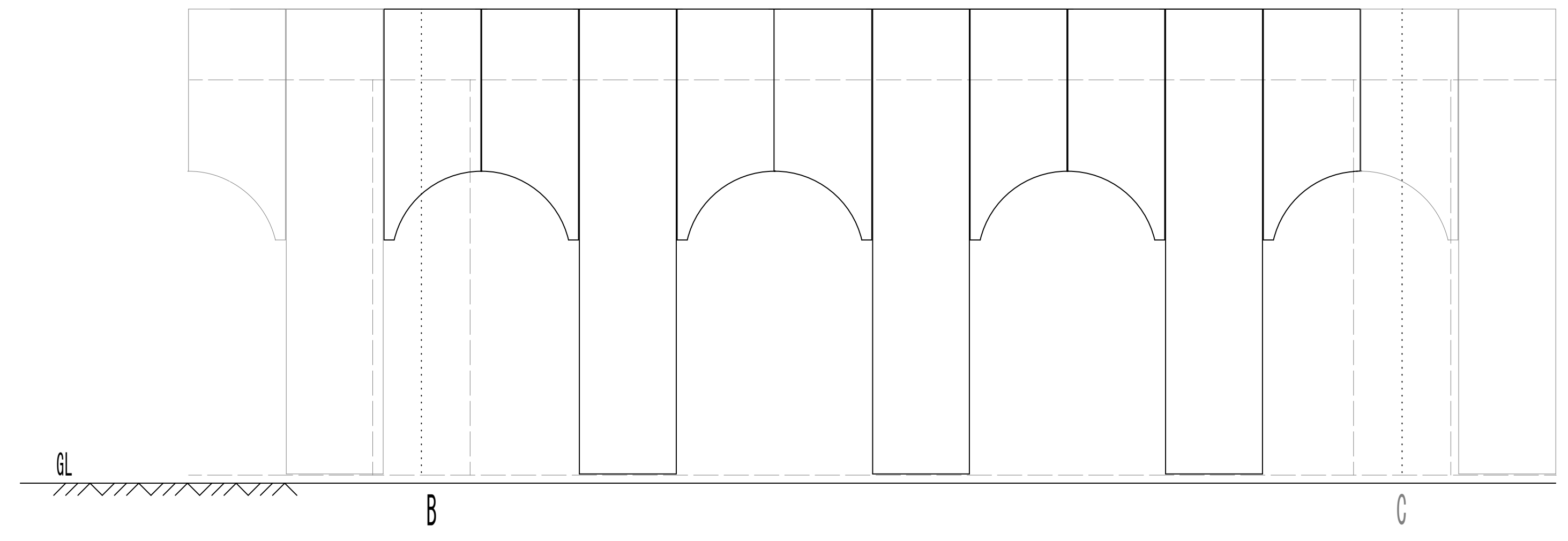
損傷図(2)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.15	×	0.15	=	0.0225	
合計						0.0225		

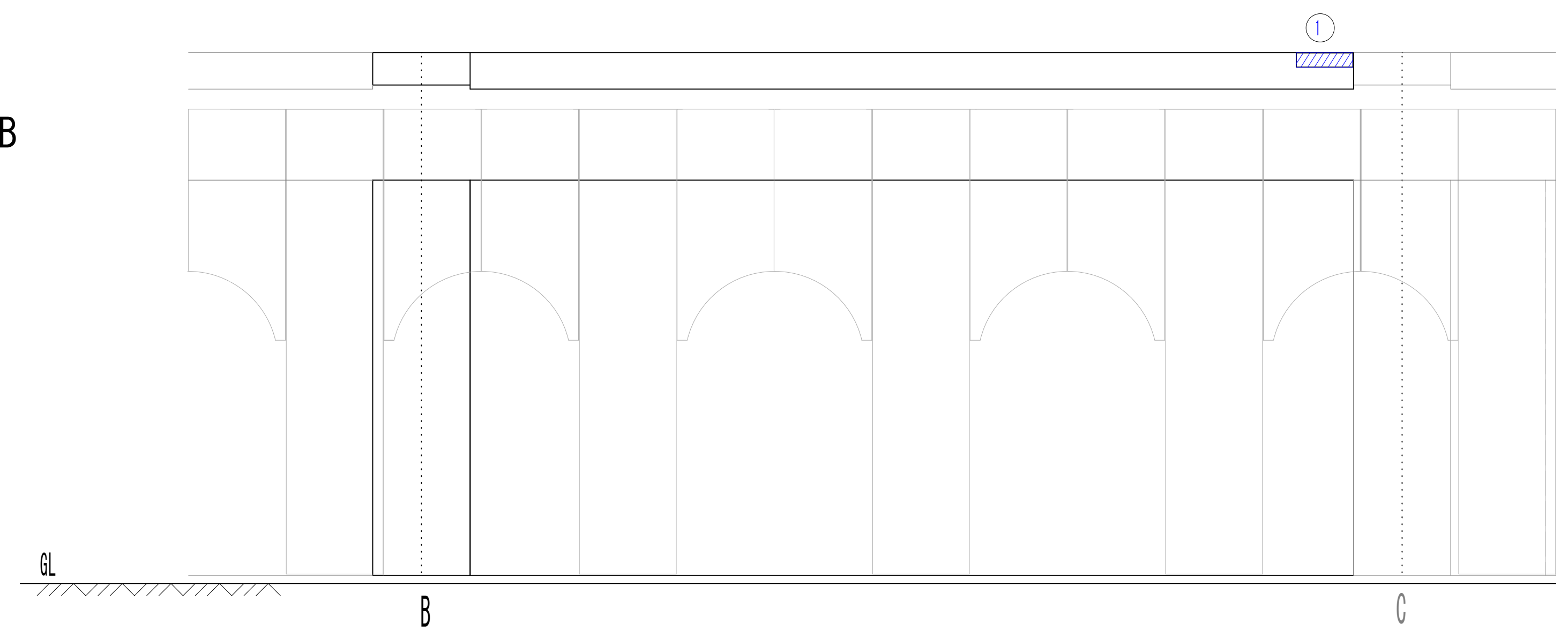
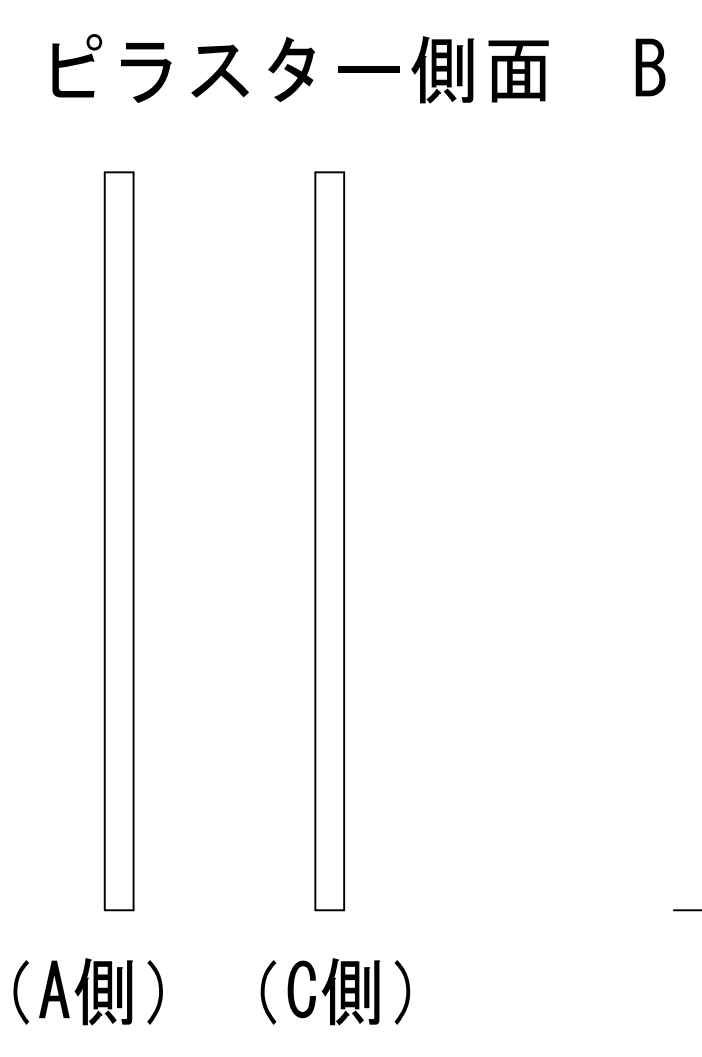
事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(3)				
縮尺	図示	図面番号	18 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主任係長	担当者



損傷図(4)
1号池PCタンク B-C間
飾り壁(外側) S=1:100
※ 損傷なし



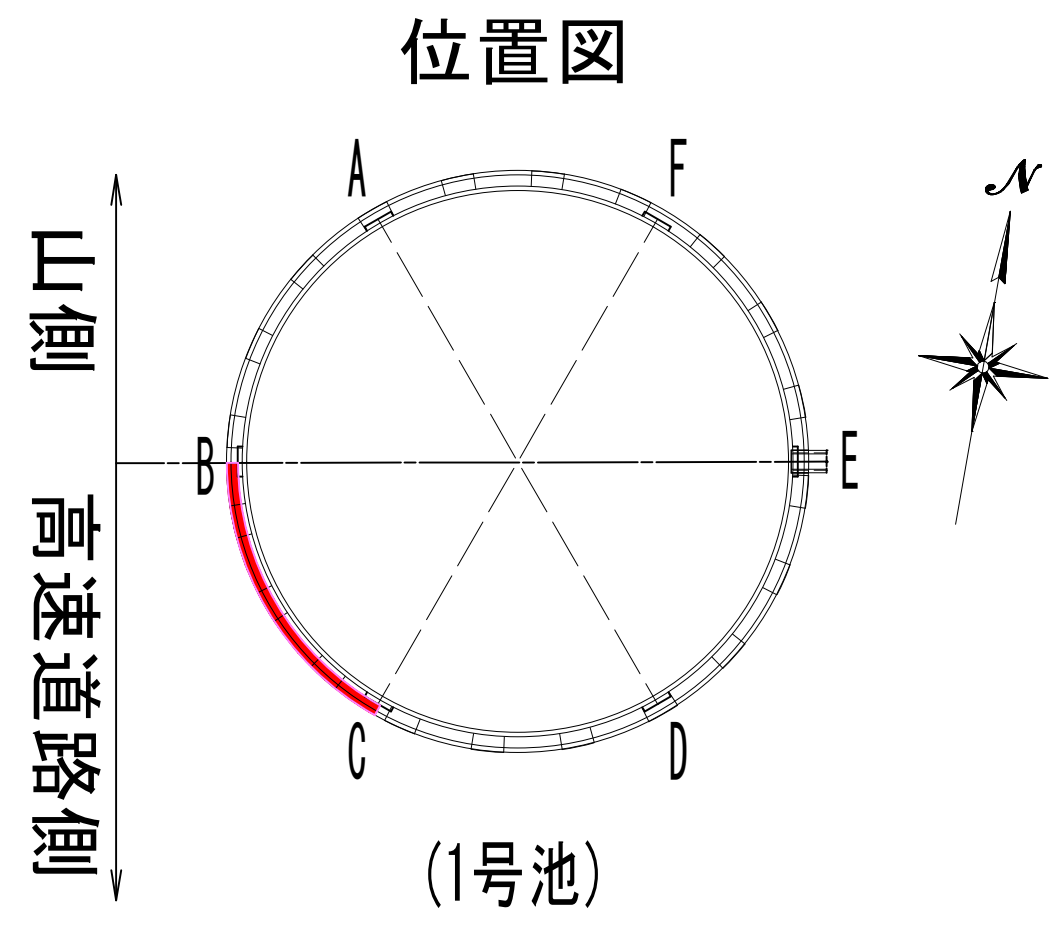
PCタンク外壁 S=1:100
上裏



凡例

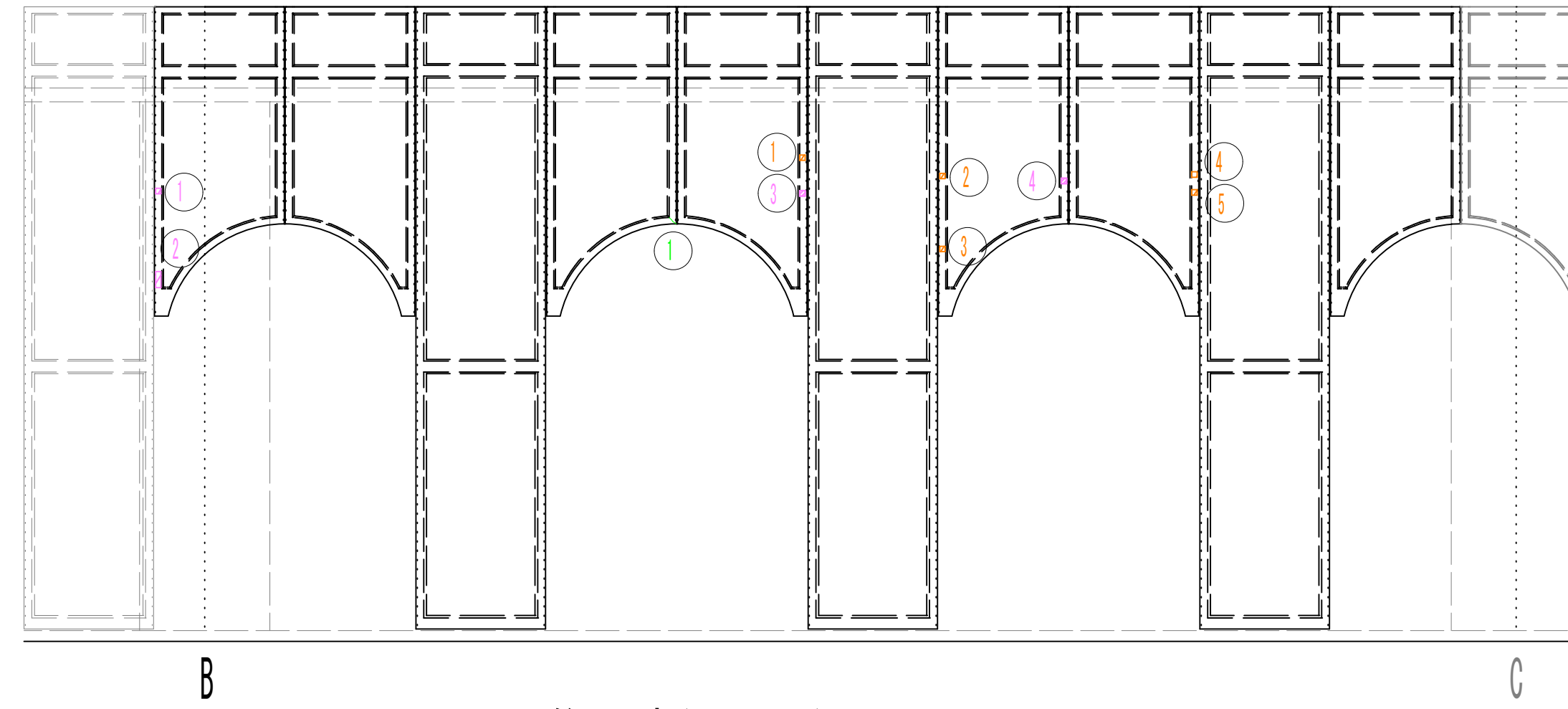
ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm ≤ w < 1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm ≤ w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(4)				
縮尺	図示	図面番号	19 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主任係長	担当者

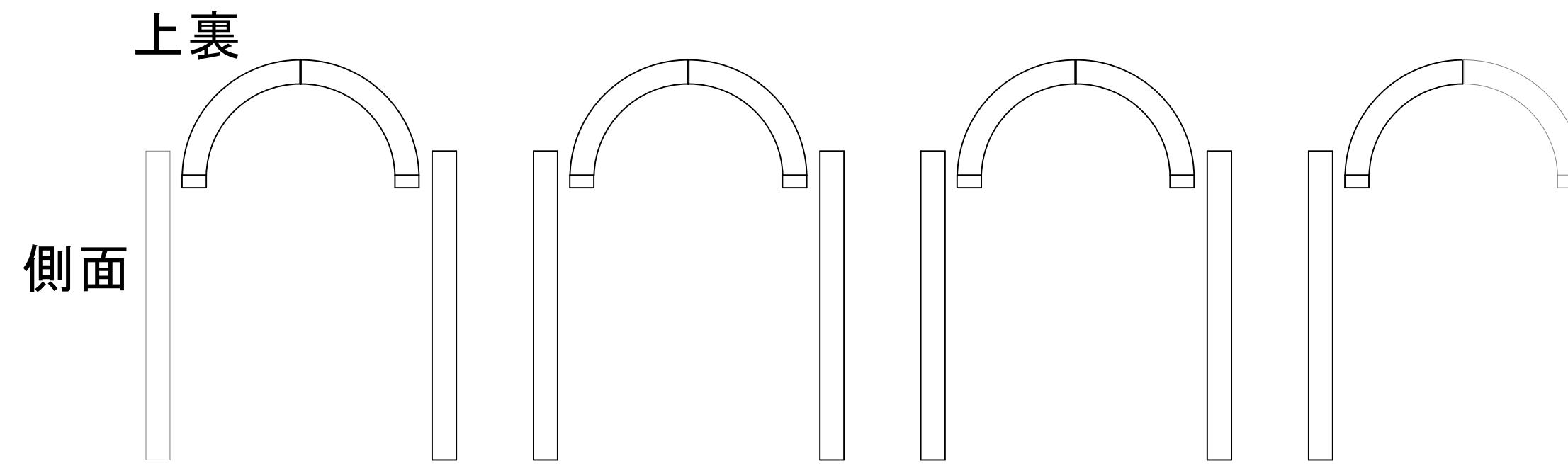


損傷図(5)
1号池PCタンク B-C間

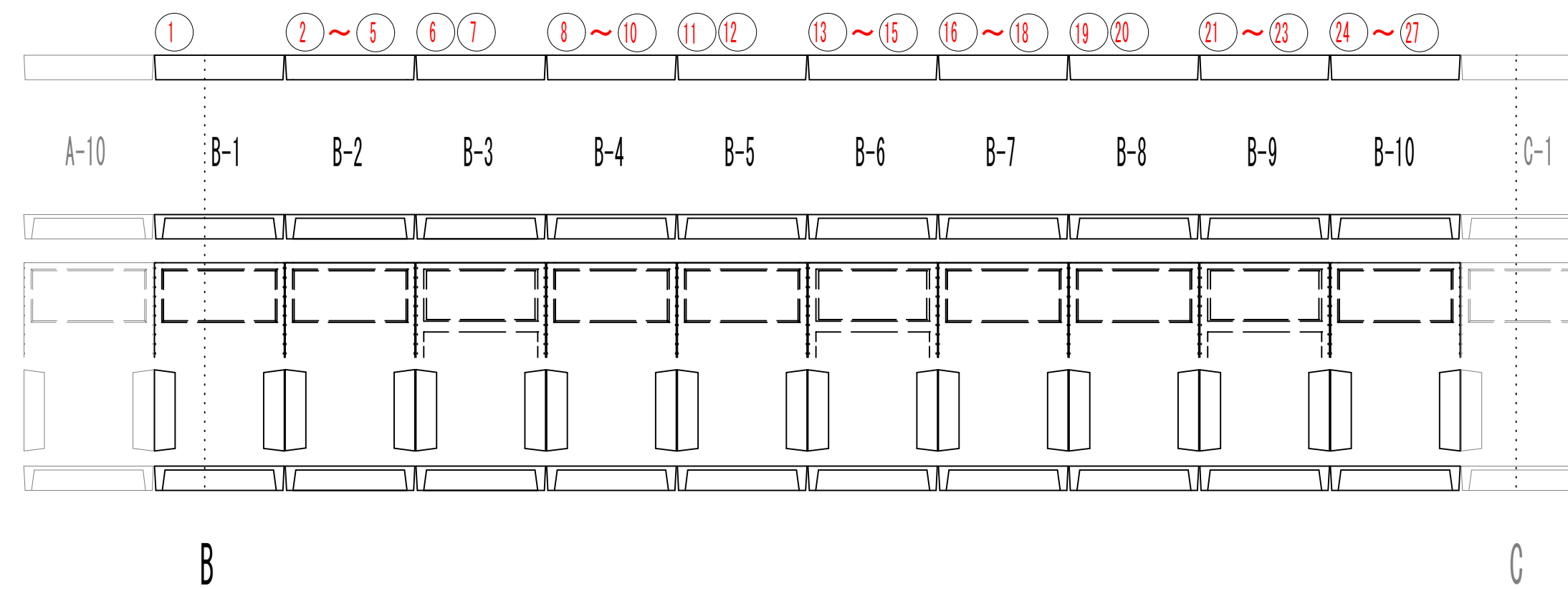
飾り壁(内側) S=1:100



飾り壁(展開図) S=1:100



屋上(飾り壁内側展開図) S=1:100



天端 ※①~⑲の損傷はPC鋼より線を示す。

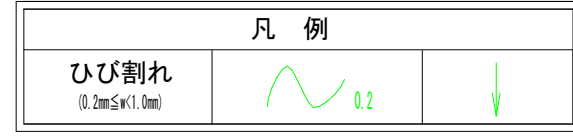
※飾り壁内側水切シーリング材全体に劣化がみられる。

写真No17

凡例		
ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm≤w<1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm≤w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(5)				
縮尺	図示	図面番号	20 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者

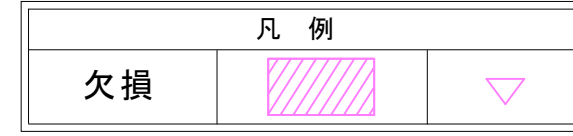
損傷図(6)
1号池PCタンク B-C間



劣化補修工法：ひび割れ注入工（低圧注入工法）

損傷名： ひび割れ(W=0.2mm~1.0mm未満) 損傷図(5)

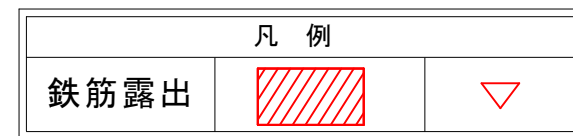
番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 延長(m)	備考
			W(mm)	L(m)	=		
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.20	0.20	=	0.20	
合計						0.20	



劣化補修工法：断面修復工（ポリマーセメントモルタル）

損傷名： 欠損 損傷図(5)

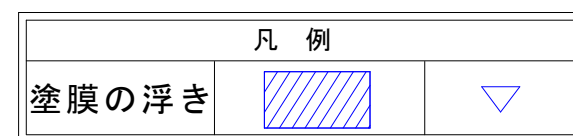
番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.30	×	0.10	=	0.0300	
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
合計						0.0600		



劣化補修工法：断面修復工（ポリマーセメントモルタル）

損傷名： 鉄筋露出 損傷図(5)

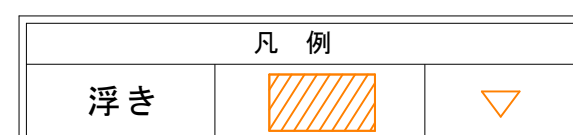
番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
5	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
6	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
7	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
8	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
9	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
10	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
11	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
12	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
13	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
14	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
15	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
16	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
17	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
18	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
19	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
20	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
21	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
22	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
23	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
24	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
25	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
26	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
27	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
合計						0.0675		



劣化補修工法：集塵機付きディスクサンダーケレン工法

損傷名： 塗膜の浮き 損傷図(4)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			
1	塗装	PCタンク上裏	0.10	×	1.00	=	0.1000	写真帳No4
合計						0.1000		

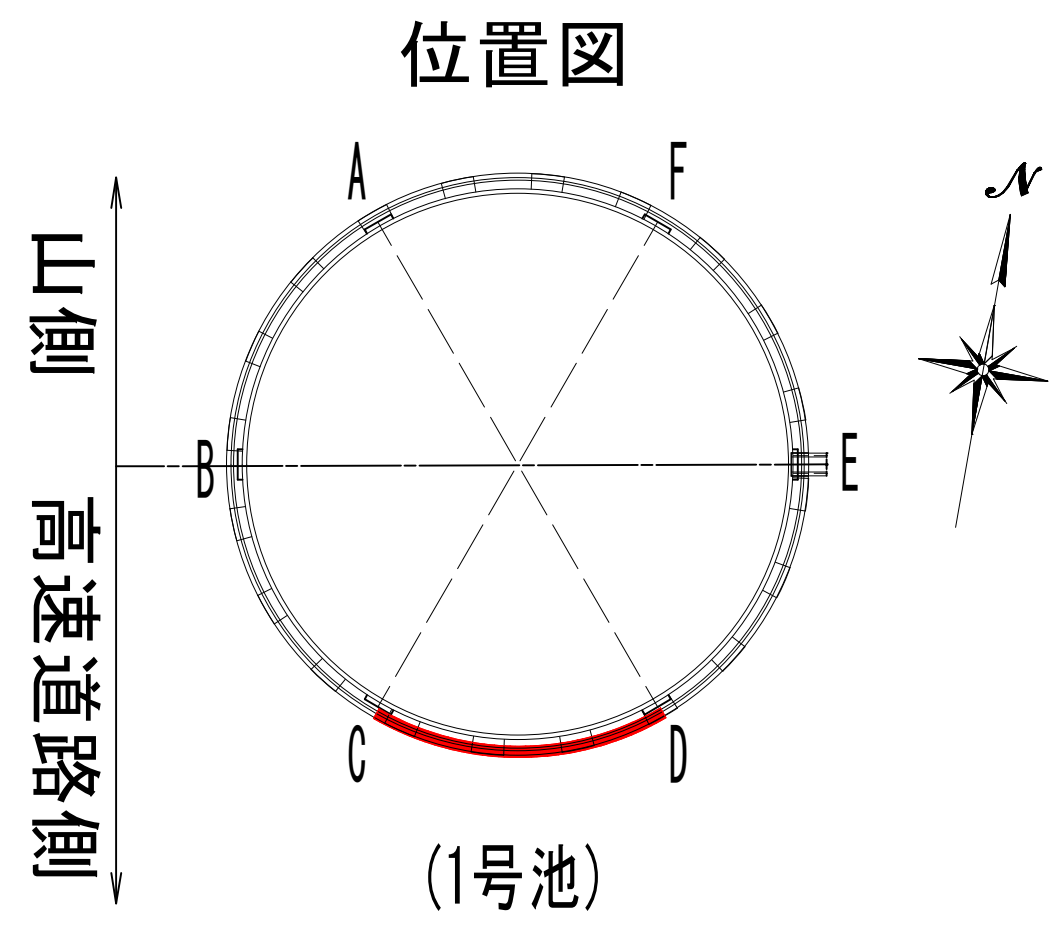


劣化補修工法：断面修復工（ポリマーセメントモルタル）

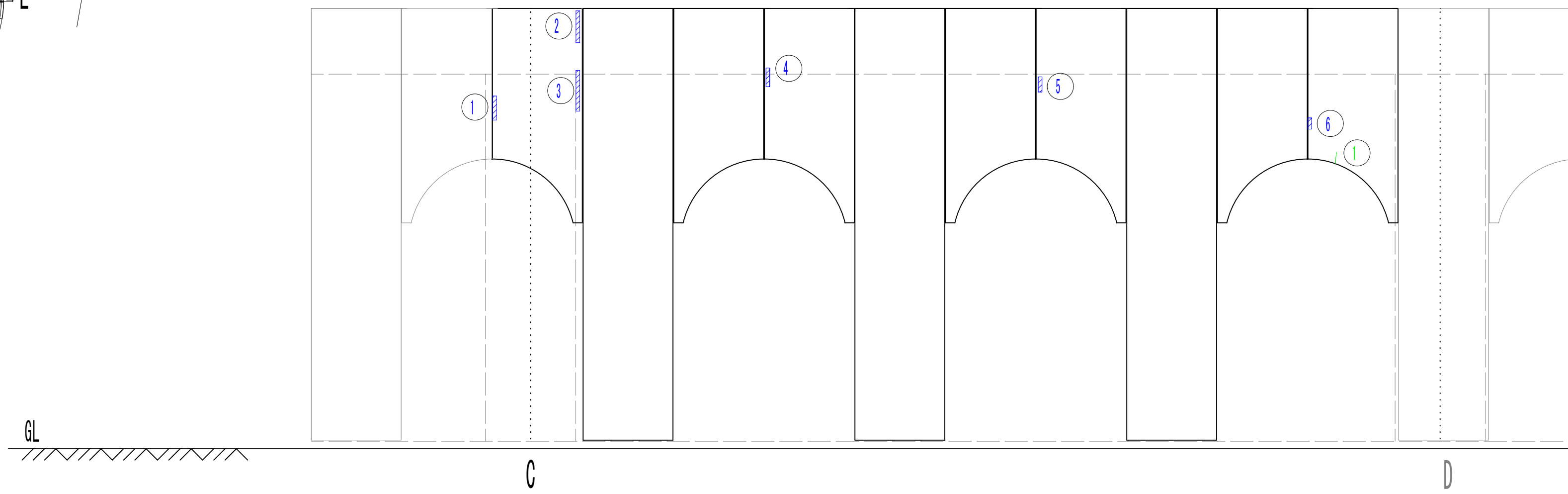
損傷名： 浮き 損傷図(5)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
5	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
合計						0.0425		

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(6)				
縮尺	図示	図面番号	21 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主任係長	担当者

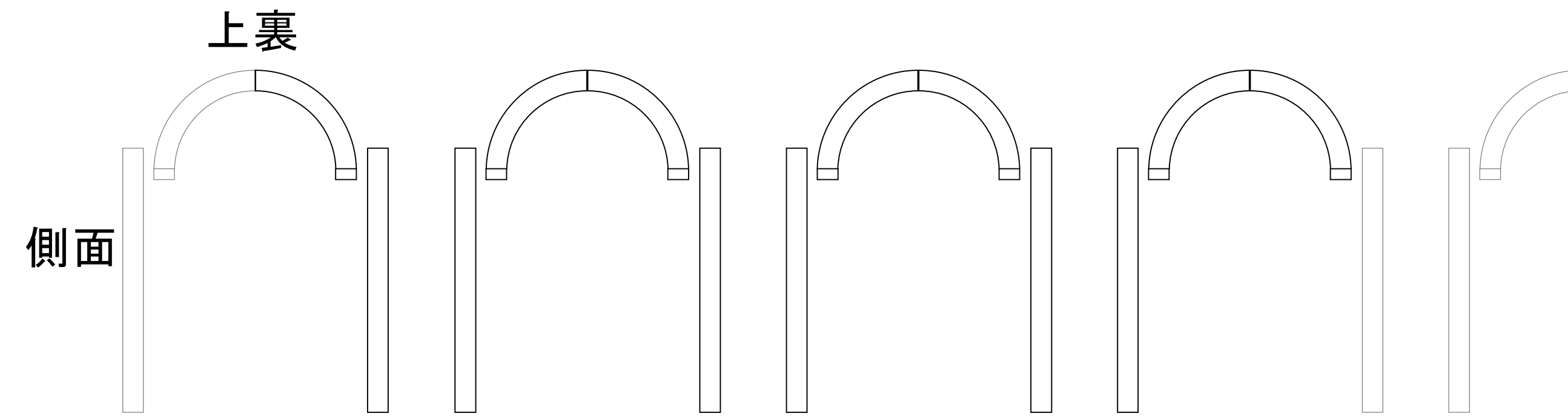


損傷図(7)
1号池PCタンク C-D間
飾り壁(外側) S=1:100



凡例

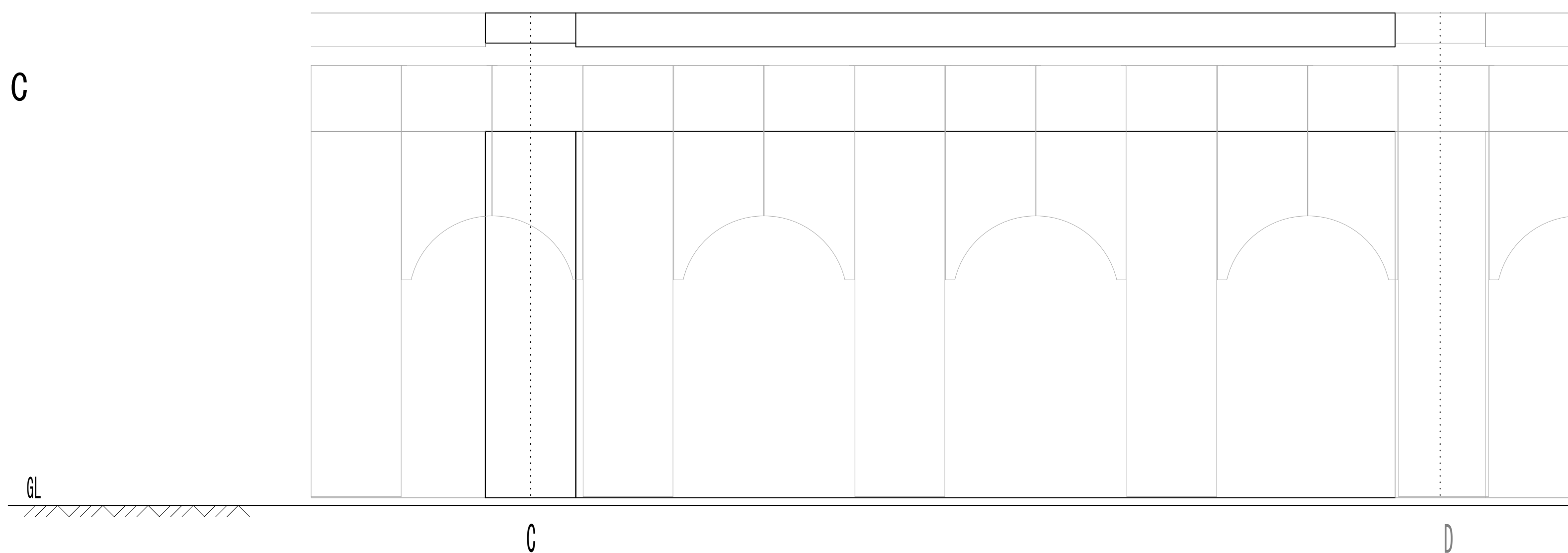
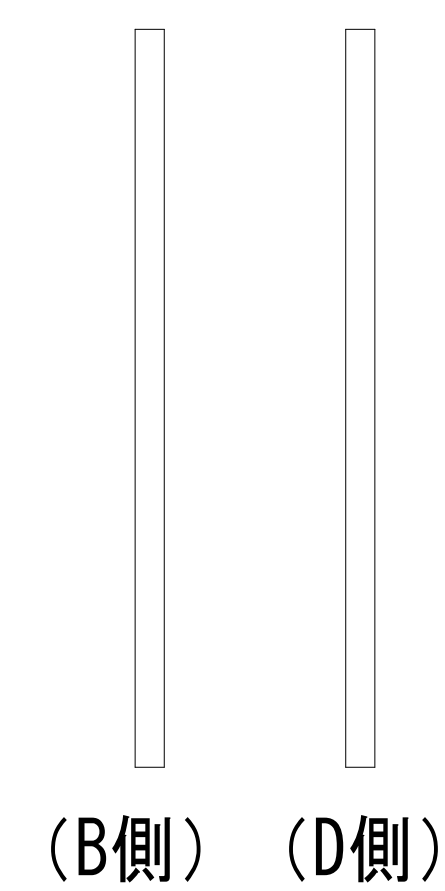
ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm≤w<1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm≤w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		



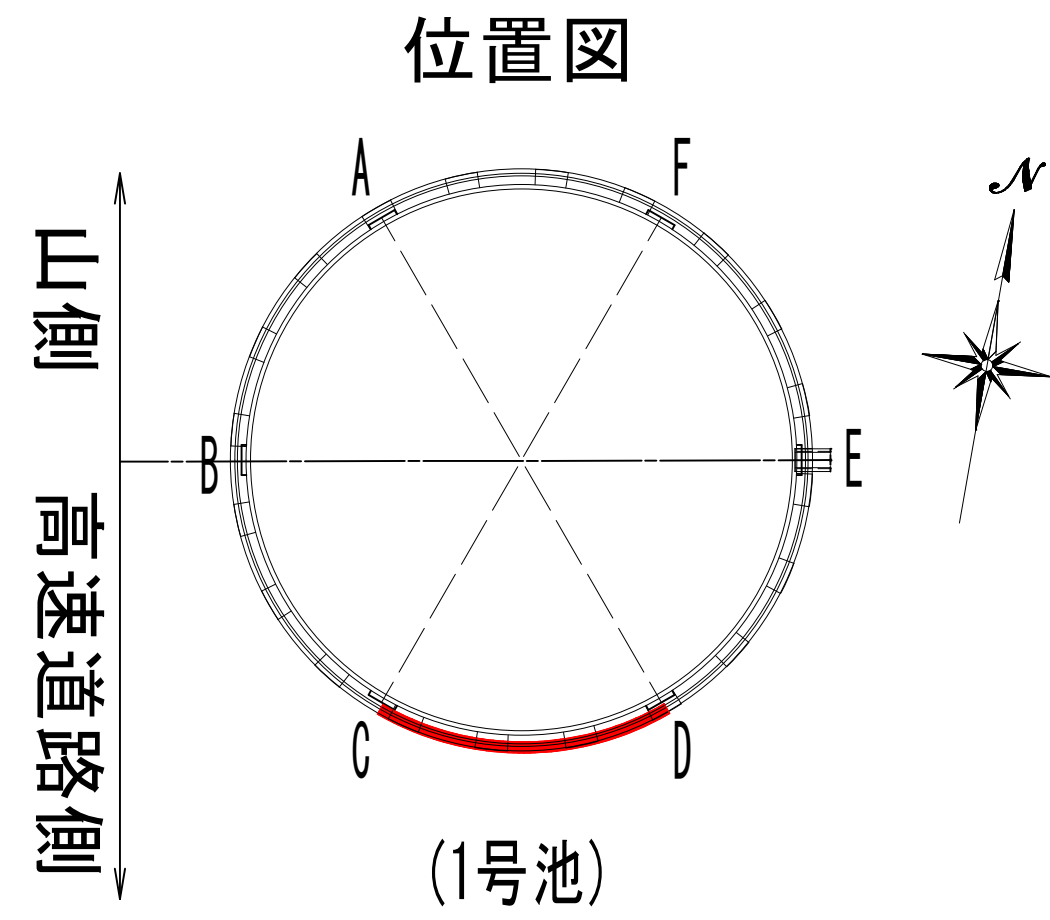
PCタンク外壁 S=1:100

上裏
※損傷なし

ピラスター側面 C

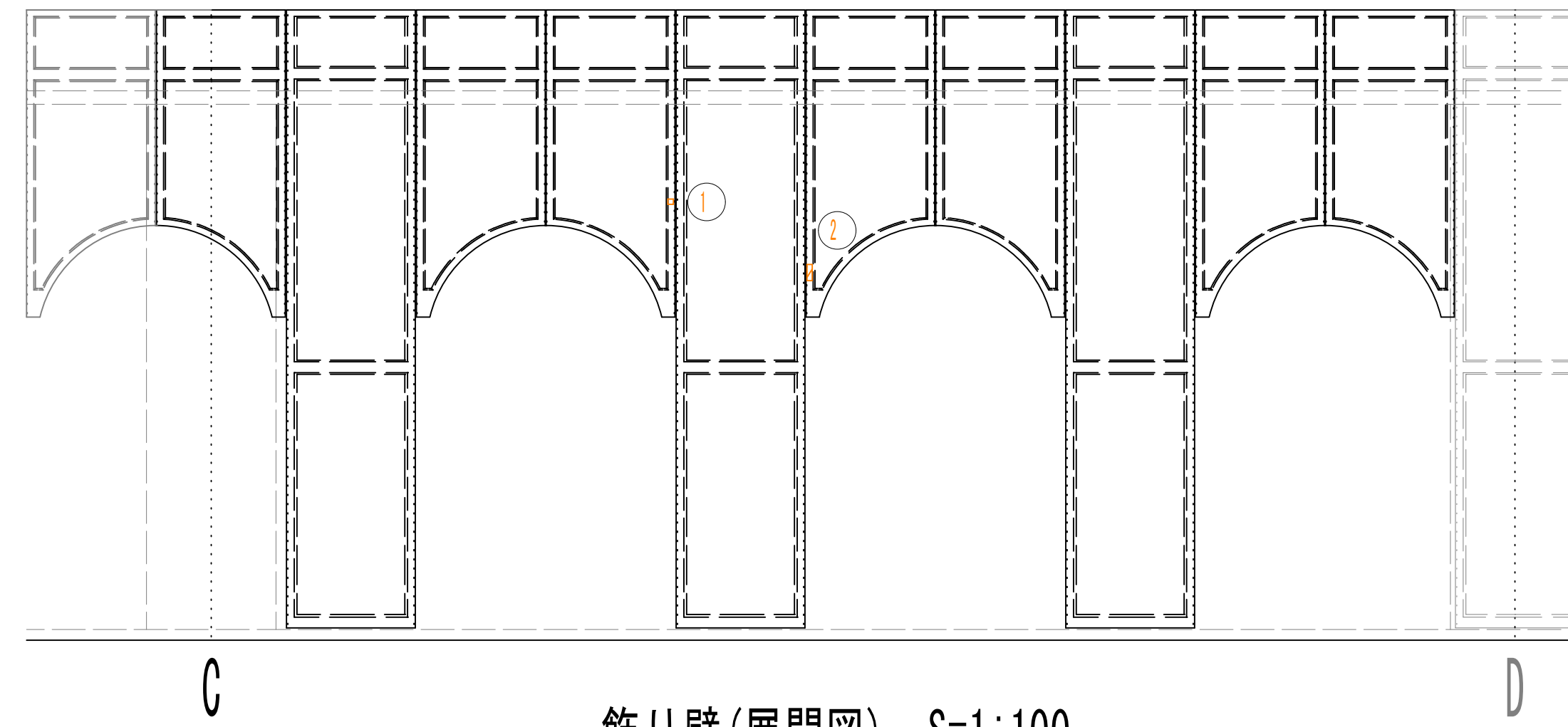


事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(7)				
縮尺	図示	図面番号	22 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主任係長	担当者

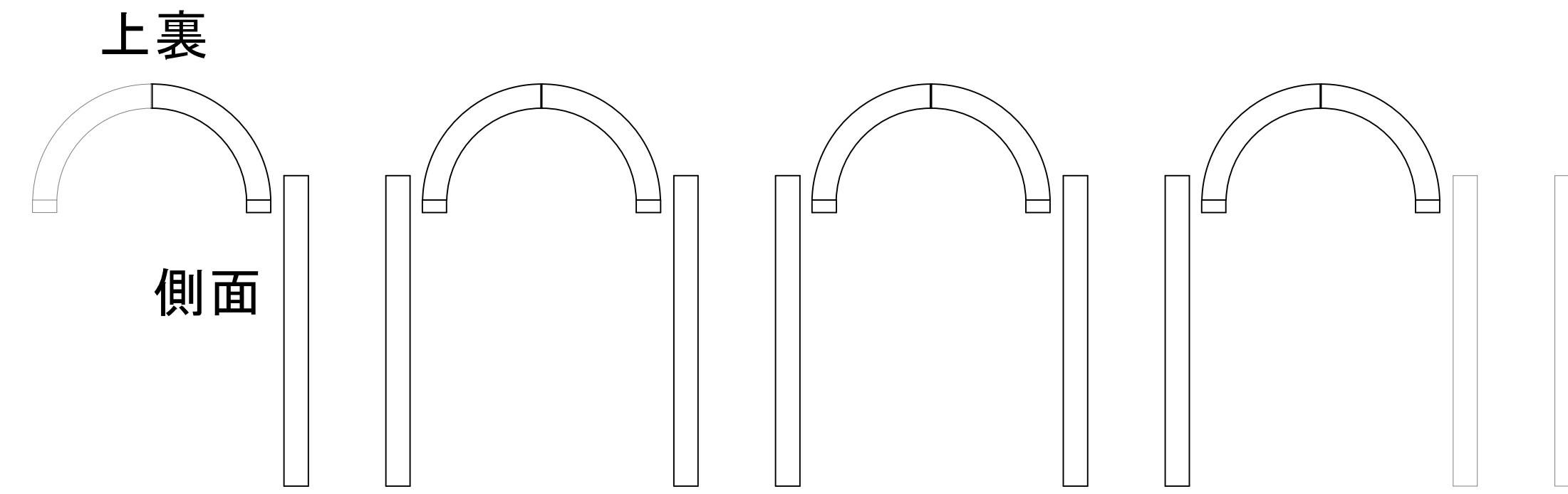


損傷図(8)
1号池PCタンク C-D間

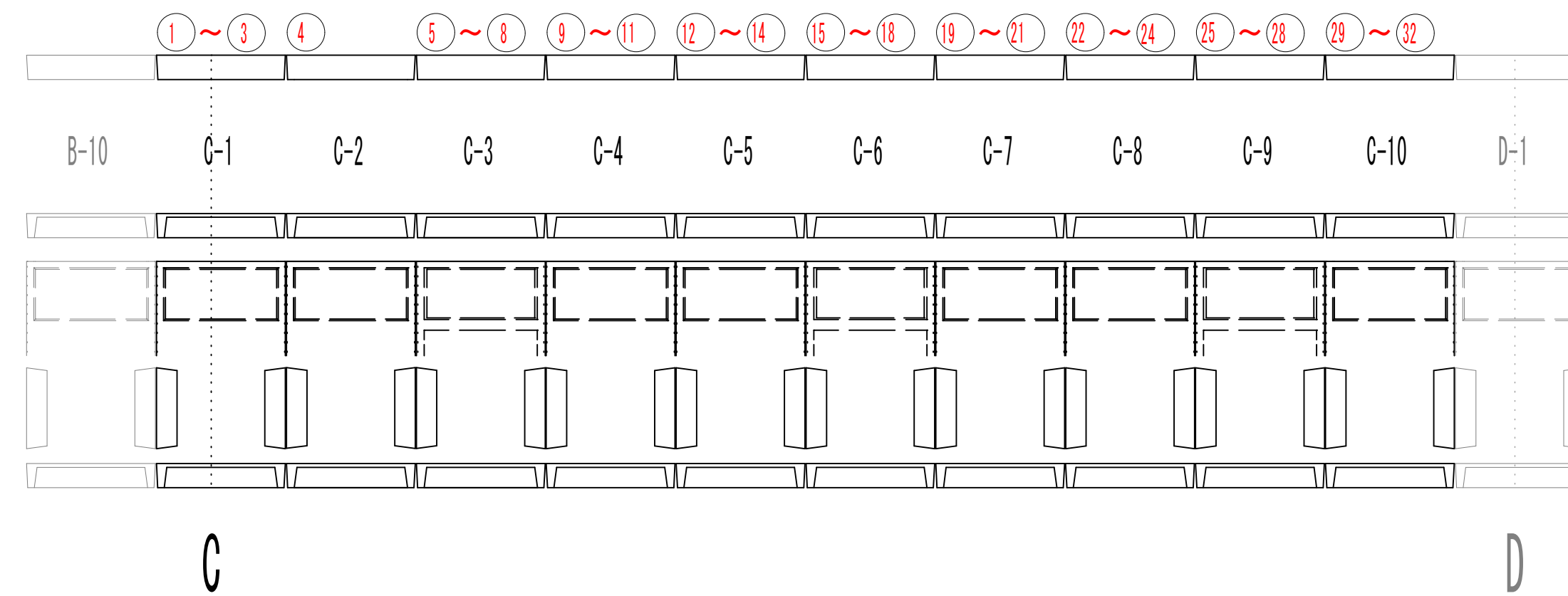
飾り壁(内側) S=1:100



飾り壁(展開図) S=1:100



屋上(飾り壁内側展開図) S=1:100



凡例		
ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm ≤ w < 1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm ≤ w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

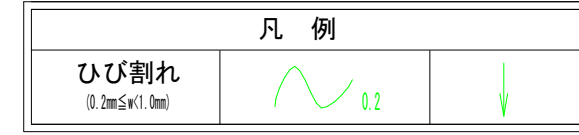
天端 ※①~⑳の損傷はPC鋼より線を示す。

※飾り壁内側水切シーリング材全体に劣化がみられる。

写真No17

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(8)				
縮尺	図示	図面番号	23 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者

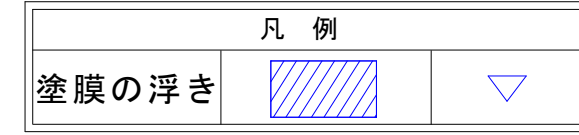
損傷図(9)
1号池PCタンク C-D間



劣化補修工法：ひび割れ注入工(低圧注入工法)

損傷名： ひび割れ(W=0.2mm~1.0mm未満) 損傷図(7)

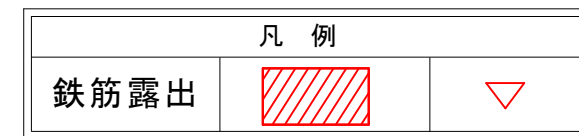
番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 延長(m)	備考	
			W(mm)	/	L(m)			=
1	コンクリート	飾り壁(外側)	0.20	/	0.20	=	0.20	
合計						0.20		



劣化補修工法：集塵機付きディスクサンダーケレン工法

損傷名： 塗膜の浮き 損傷図(7)

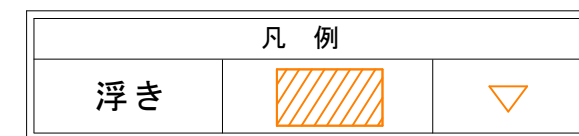
番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	塗装	飾り壁(外側)	0.40	×	0.10	=	0.0400	
2	塗装	飾り壁(外側)	0.60	×	0.10	=	0.0600	写真帳No5
3	塗装	飾り壁(外側)	0.70	×	0.10	=	0.0700	
4	塗装	飾り壁(外側)	0.50	×	0.10	=	0.0500	
5	塗装	飾り壁(外側)	0.40	×	0.10	=	0.0400	
6	塗装	飾り壁(外側)	0.30	×	0.10	=	0.0300	
合計						0.2900		



劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

損傷名： 鉄筋露出 損傷図(8)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
5	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
6	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
7	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
8	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
9	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
10	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
11	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
12	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
13	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
14	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
15	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
16	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
17	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
18	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
19	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
20	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
21	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
22	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
23	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
24	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
25	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
26	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
27	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
28	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
29	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
30	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
31	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
32	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC網より線
合計						0.0800		



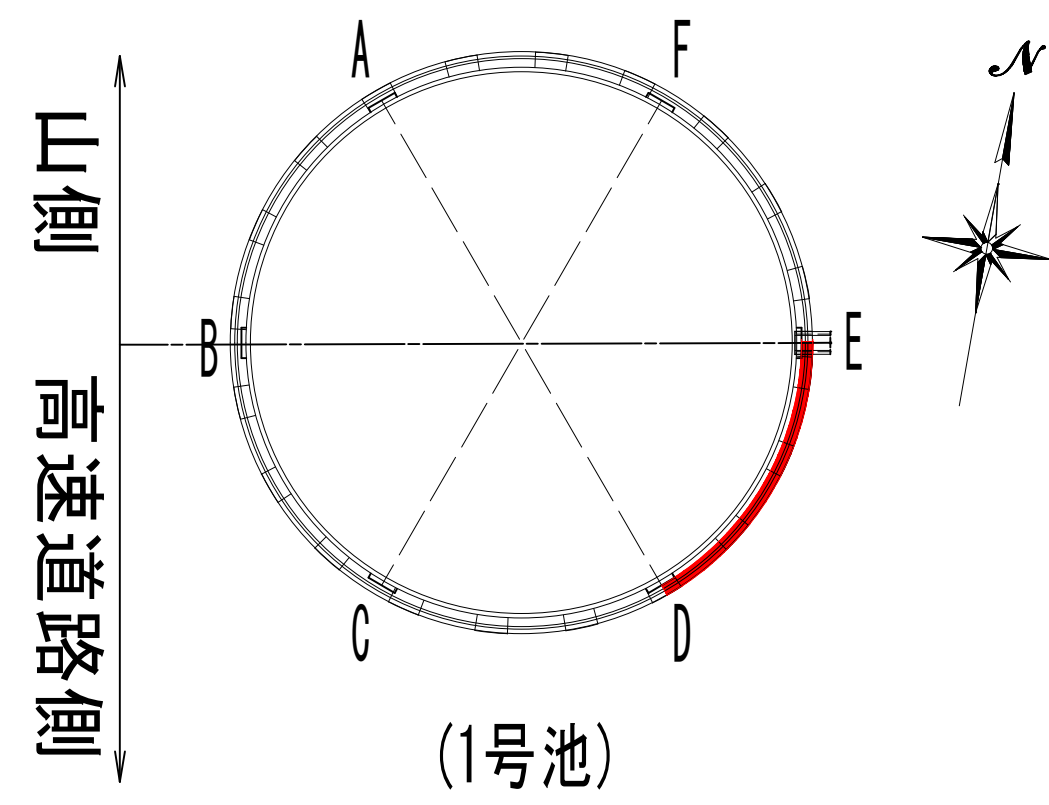
劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

損傷名： 浮き 損傷図(8)

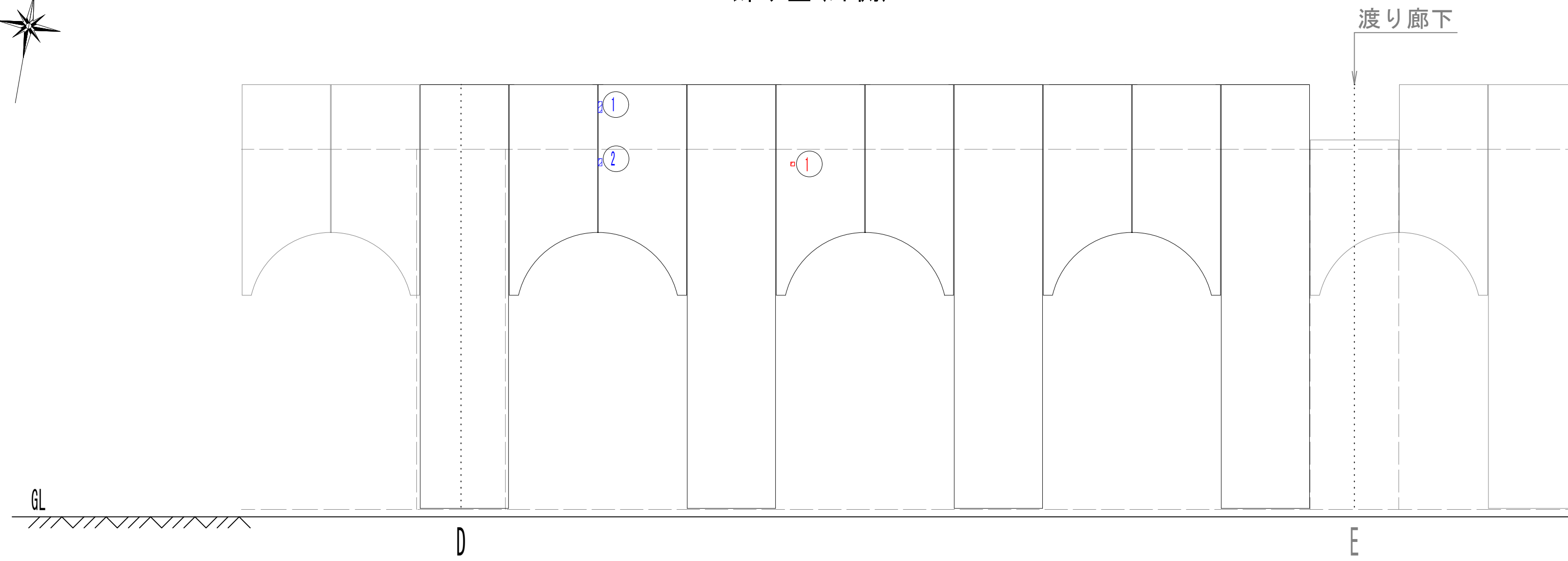
番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.30	×	0.10	=	0.0300	
合計						0.0400		

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(9)				
縮尺	図示	図面番号	24 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者

位置図

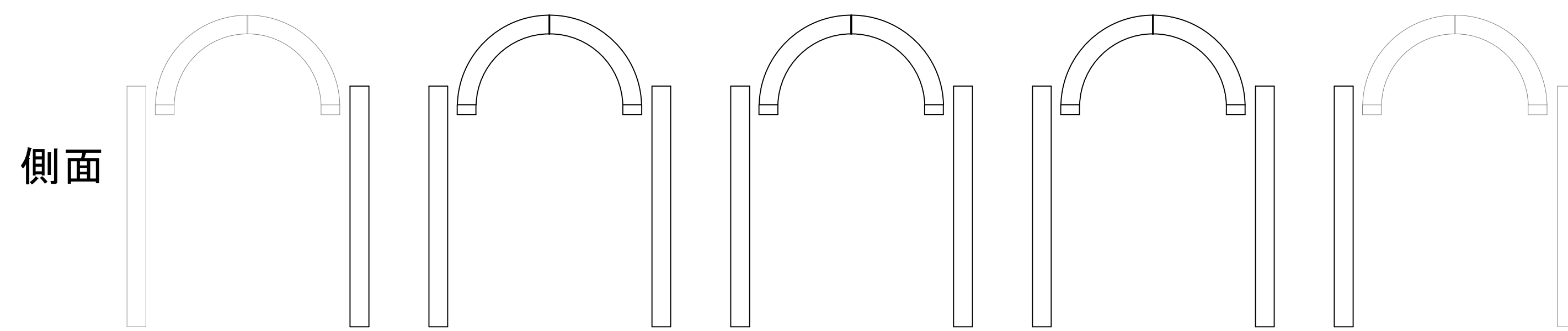


損傷図(10)
1号池PCタンク D-E間
飾り壁(外側) S=1:100



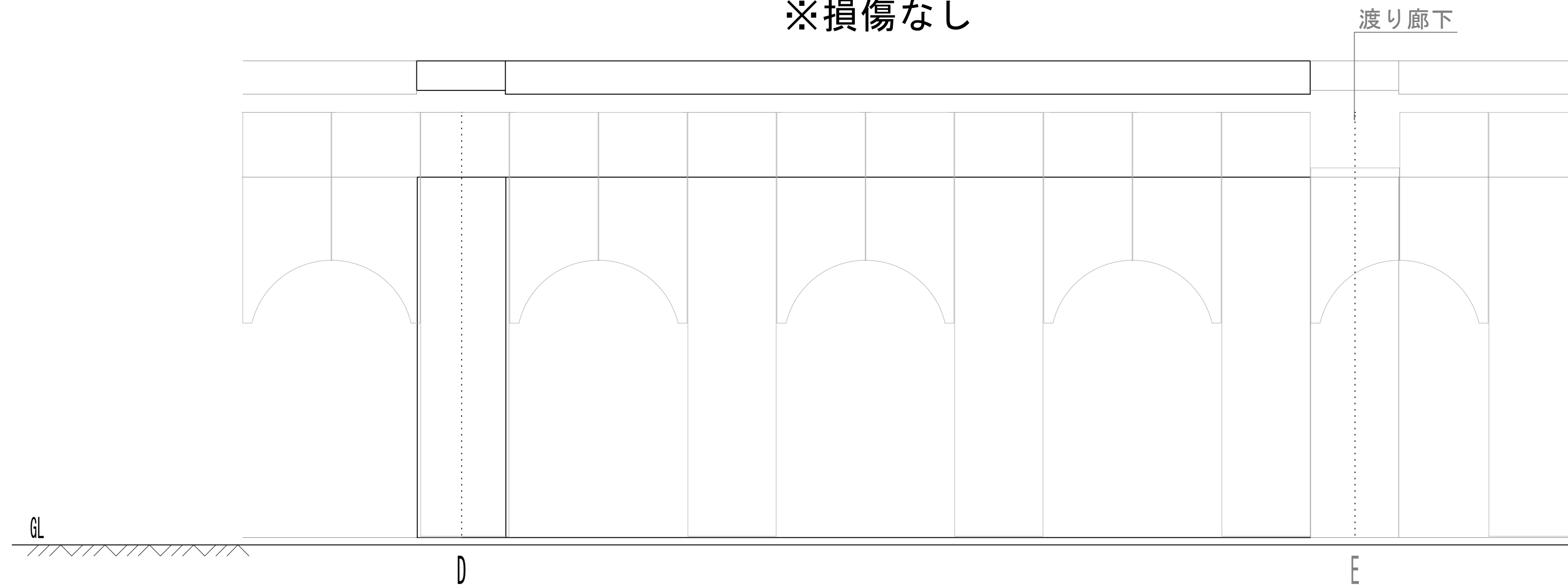
凡例		
ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm ≤ w < 1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm ≤ w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

上裏

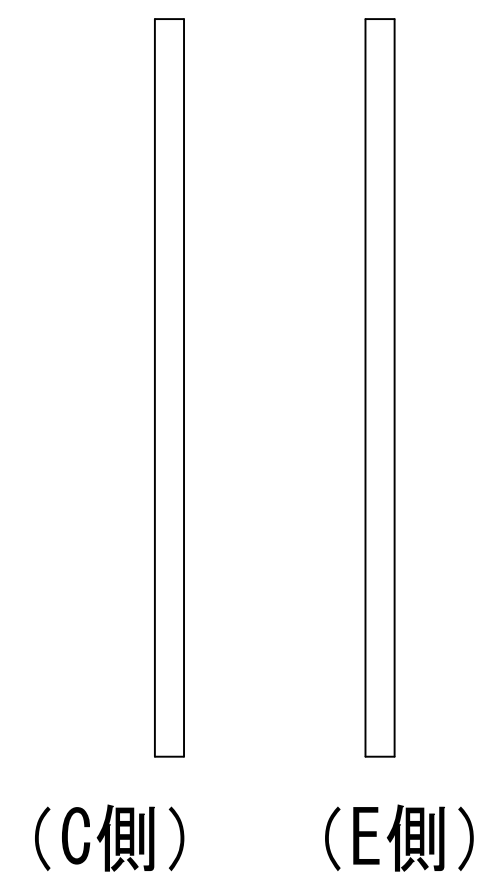


PCタンク外壁 S=1:100

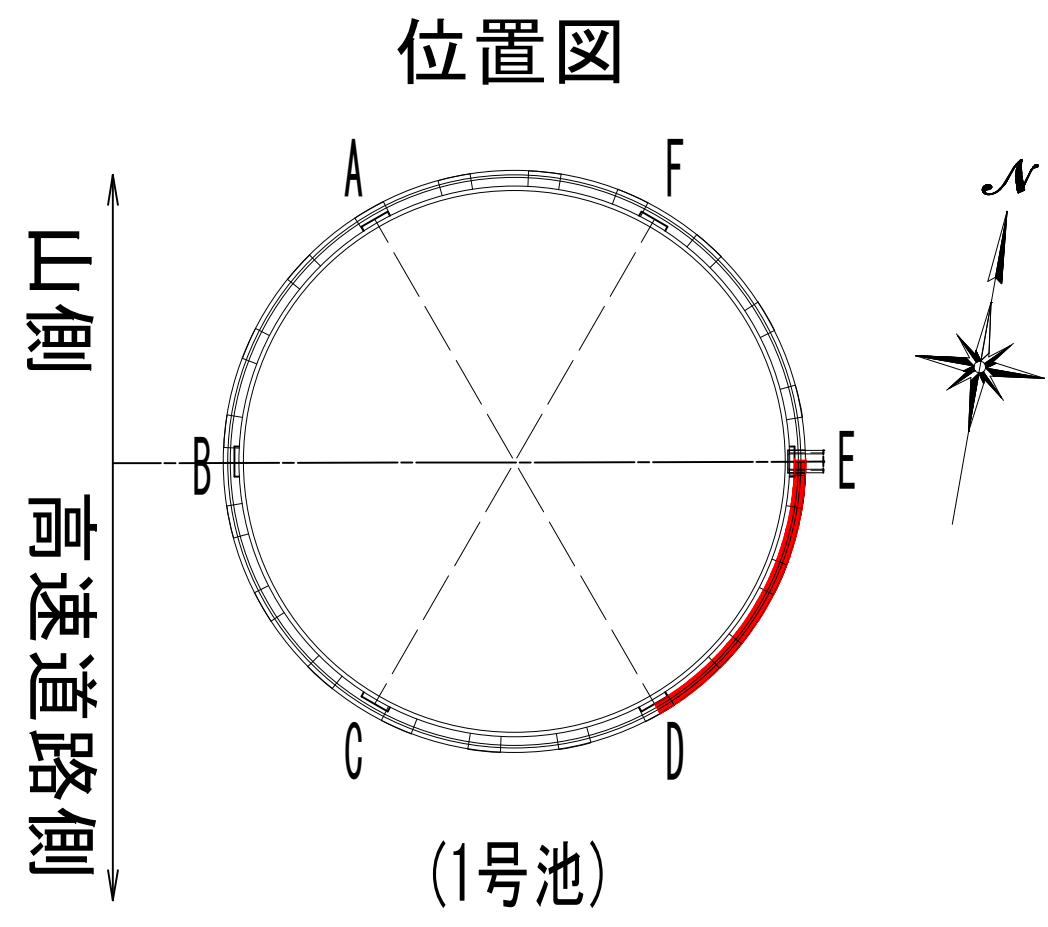
上裏
※損傷なし



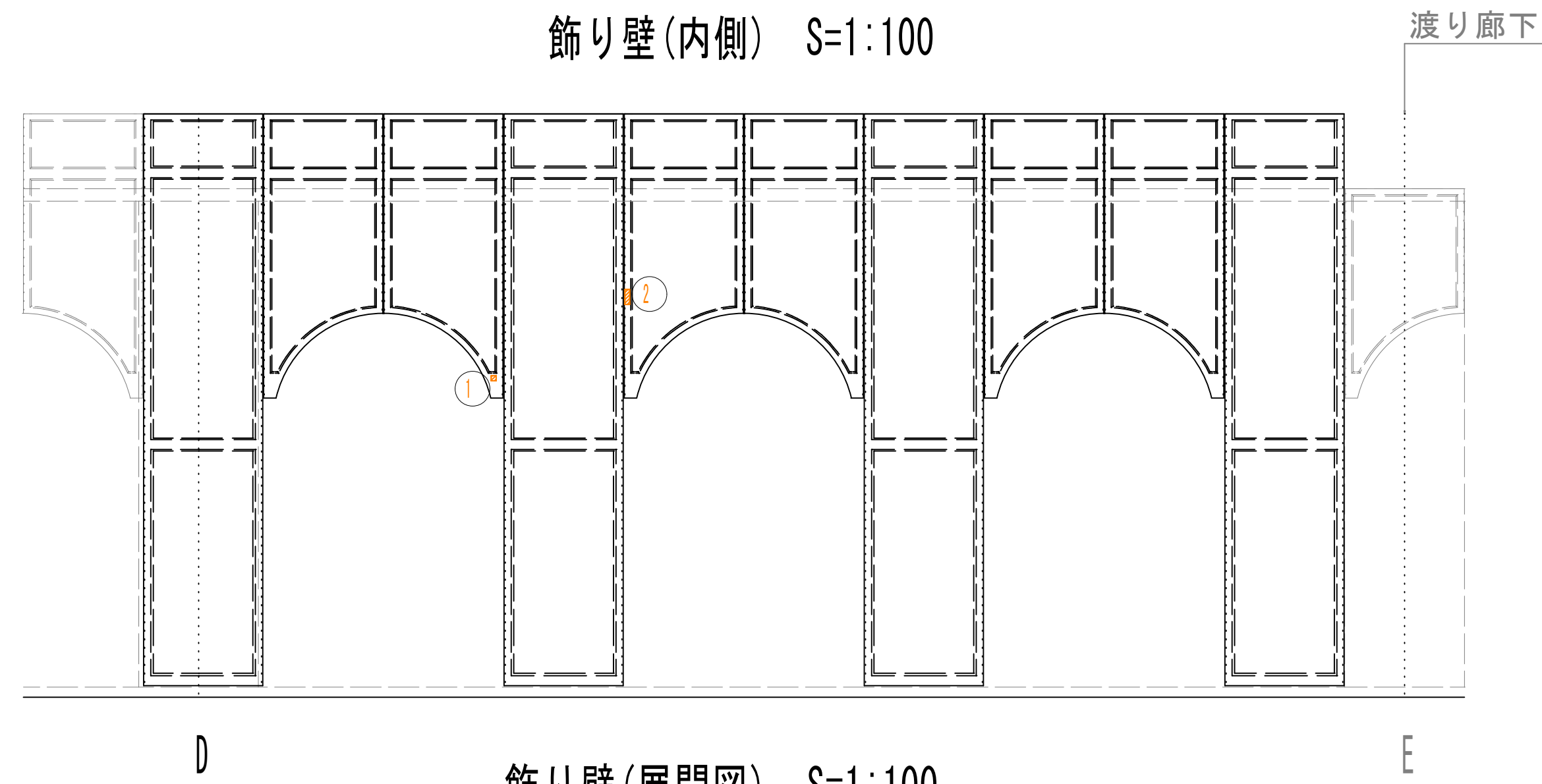
plaster側面 D



事業名	水道用水供給事業			
工事名	中原調整池1号池塗装工事			
図面名	損傷図(10)			
縮尺	図示	図面番号	25 / 44	
事業主	佐賀東部水道企業団			
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長
				担当

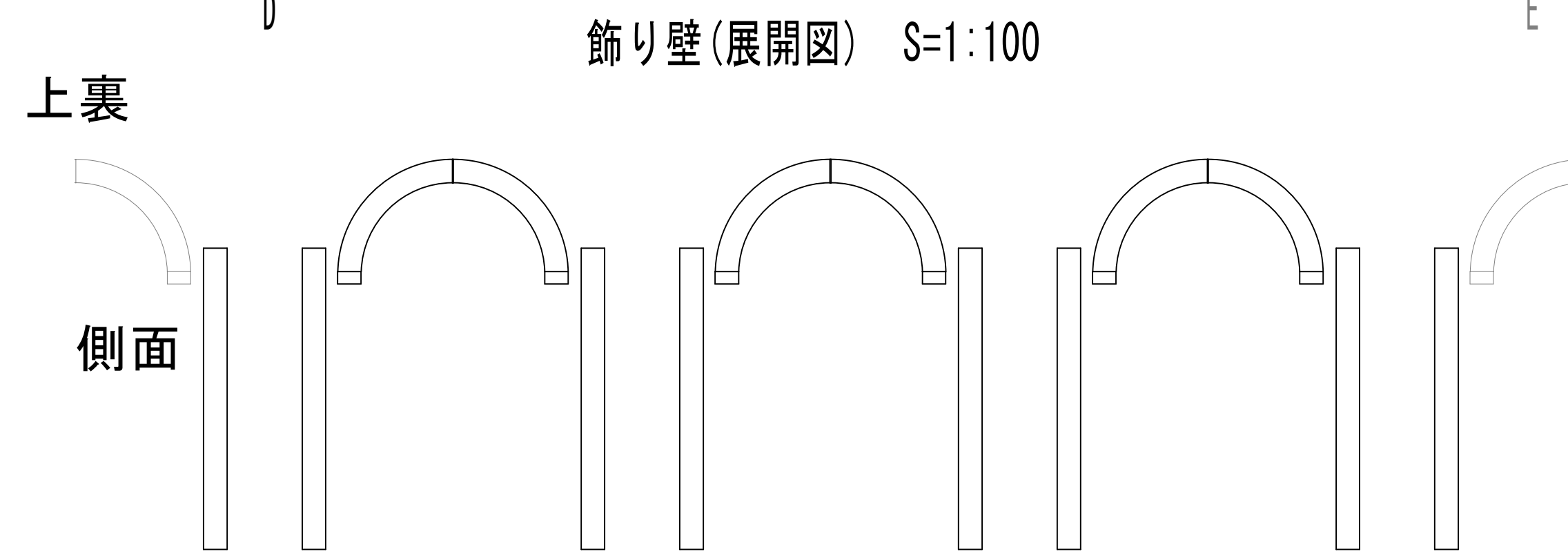


損傷図(11)
1号池PCタンク D-E間

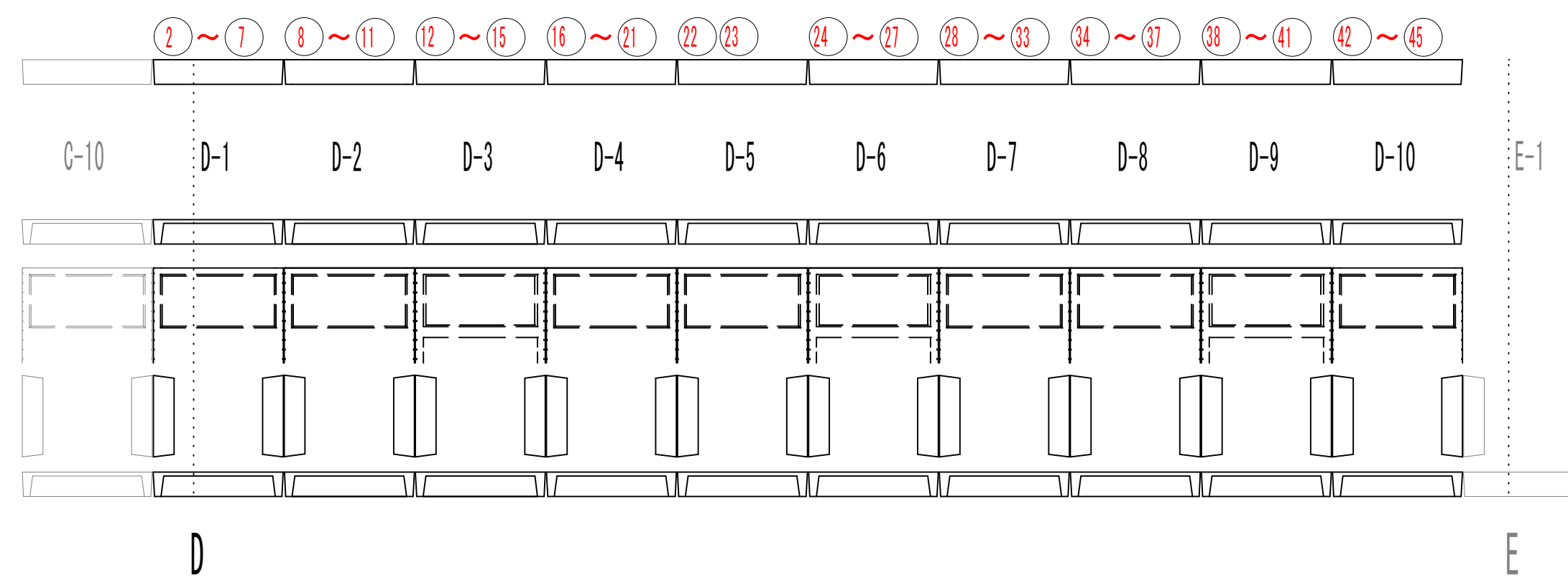


凡例

ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm≤w<1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm≤w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		



屋上(飾り壁内側展開図) S=1:100



天端 ※②~④⑤の損傷はPC鋼より線を示す。

※飾り壁内側水切シーリング材全体に劣化がみられる。

写真No17

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(11)				
縮尺	図示	図面番号	26 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者

損傷図(12)
1号池PCタンク D-E間

凡 例		
鉄筋露出		

劣化補修工法：断面修復工（ポリマーセメントモルタル）

損傷名： 鉄筋露出

損傷図(10),(11)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数 量 計 算			数量	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	コンクリート	飾り壁(外側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	写真帳No6
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
5	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
6	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
7	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
8	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
9	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
10	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
11	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
12	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
13	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
14	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
15	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
16	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
17	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
18	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
19	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
20	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
21	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
22	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
23	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
24	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
25	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
26	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
27	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
28	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
29	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
30	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
31	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
32	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
33	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
34	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
35	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
36	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
37	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
38	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
39	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
40	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
41	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
42	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	写真帳No7
43	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
44	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
45	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	×	0.05	=	0.0025	PC鋼より線
合 計						0.1125		

凡 例		
塗膜の浮き		

劣化補修工法：集塵機付きディスクサンダーケレン工法

損傷名： 塗膜の浮き

損傷図(10)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数 量 計 算			数量	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	塗装	飾り壁(外側)	0.30	×	0.10	=	0.0300	
2	塗装	飾り壁(外側)	0.20	×	0.10	=	0.0200	
合 計						0.0500		

凡 例		
浮き		

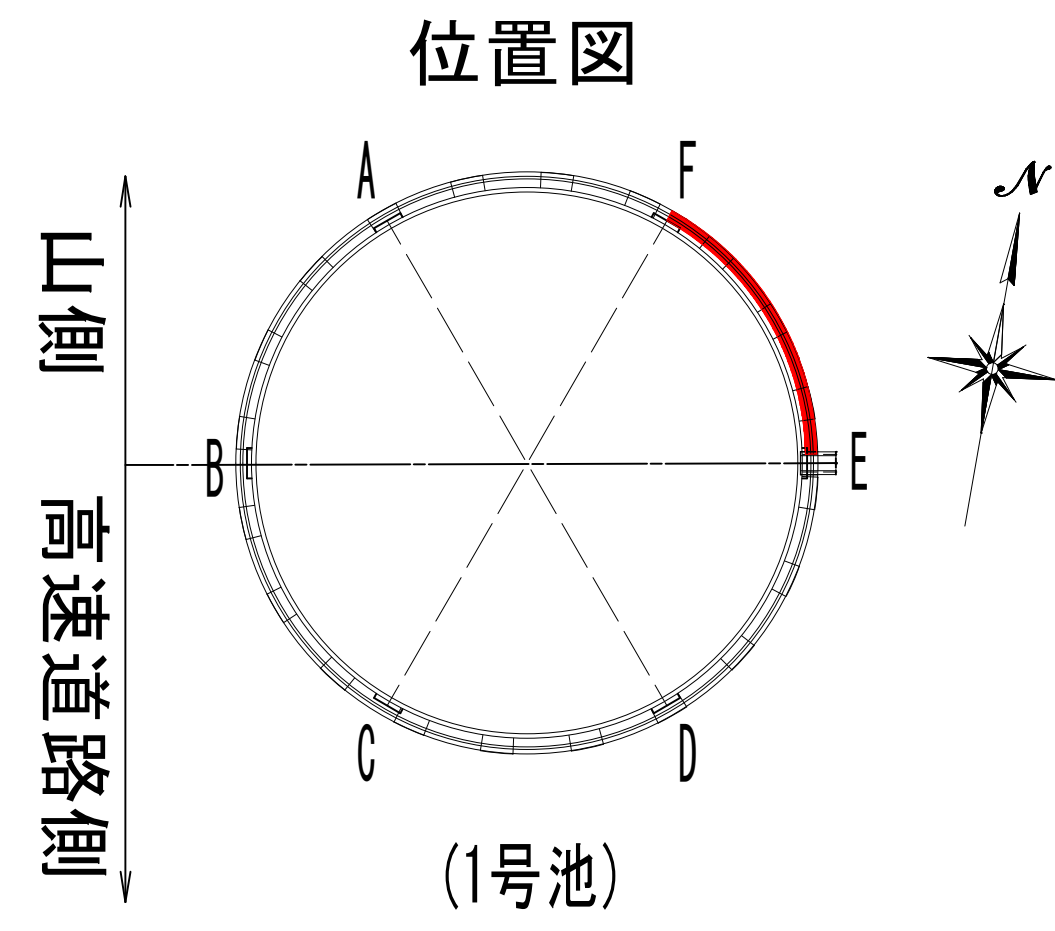
劣化補修工法：断面修復工（ポリマーセメントモルタル）

損傷名： 浮き

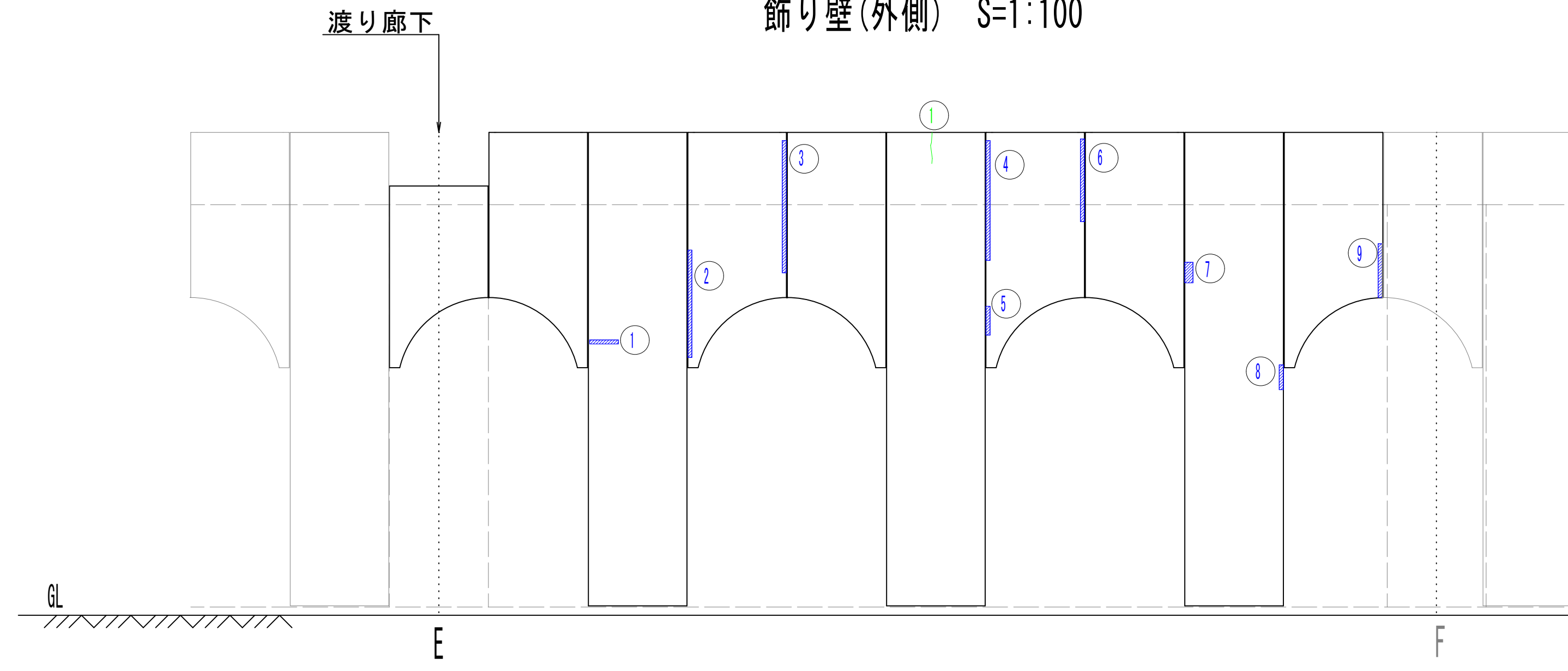
損傷図(11)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数 量 計 算			数量	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	×	0.10	=	0.0100	
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.30	×	0.10	=	0.0300	
合 計						0.0400		

事業名	水道用水供給事業		
工事名	中原調整池1号池塗装工事		
図面名	損傷図(12)		
縮 尺	図示	図面番号	27 / 44
事業主	佐賀東部水道企業団		
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐 / 主任係長 / 担当者

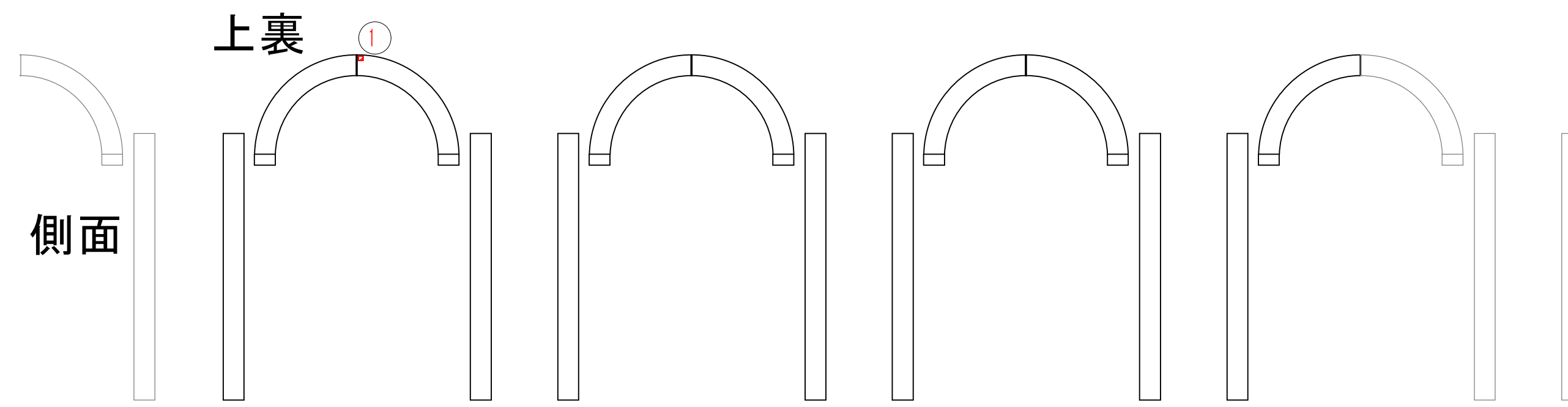


損傷図(13)
1号池PCタンク E-F間
飾り壁(外側) S=1:100



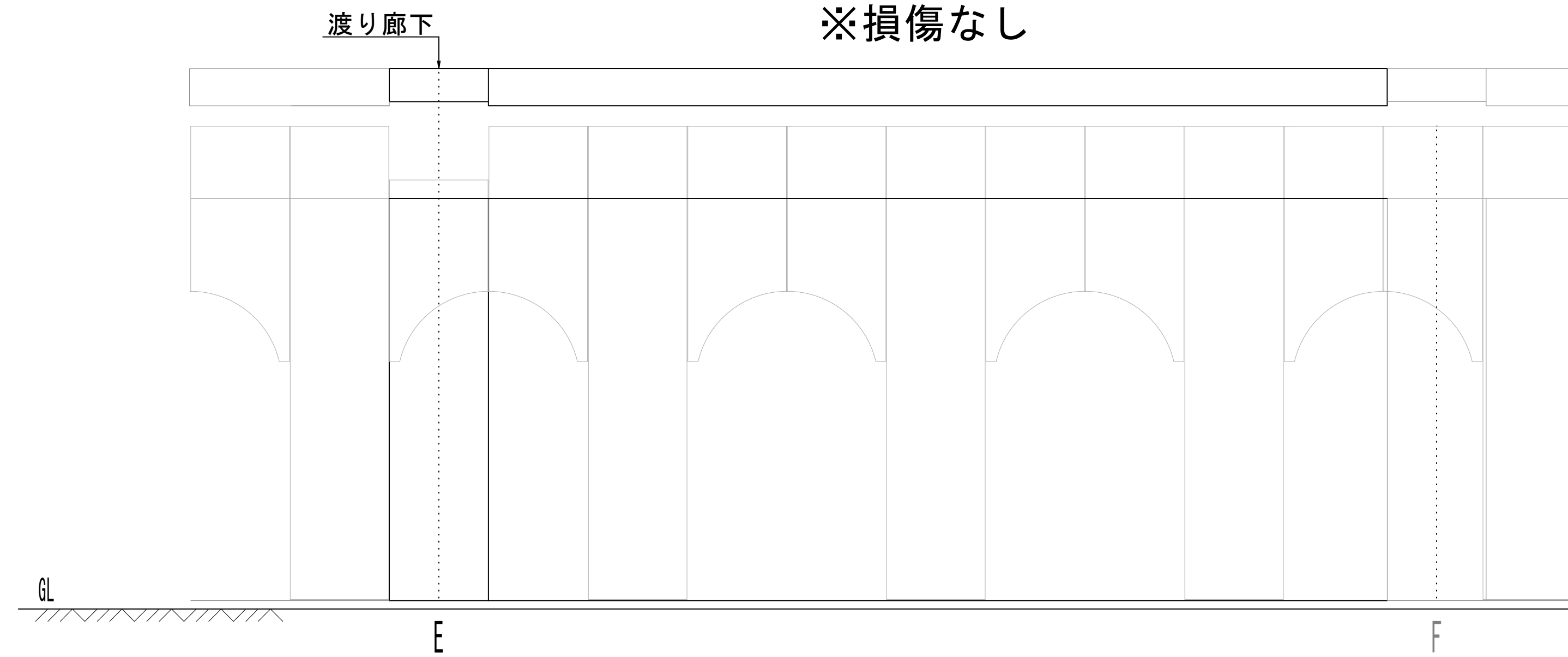
凡例

ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm ≤ w < 1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm ≤ w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

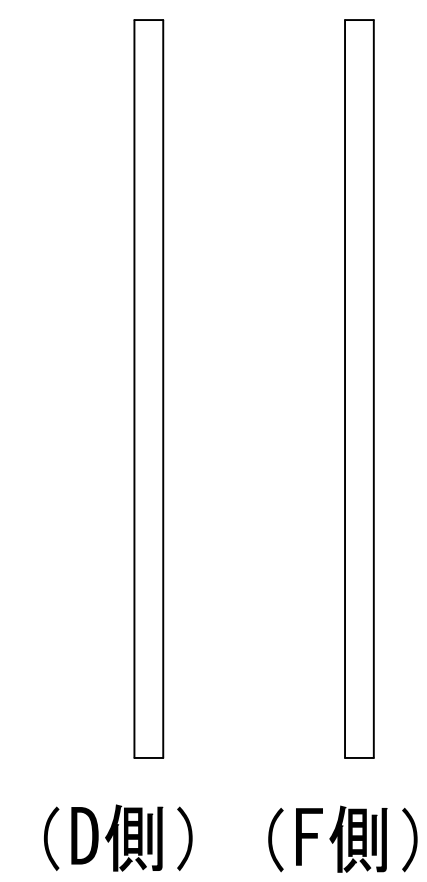


PCタンク外壁 S=1:100

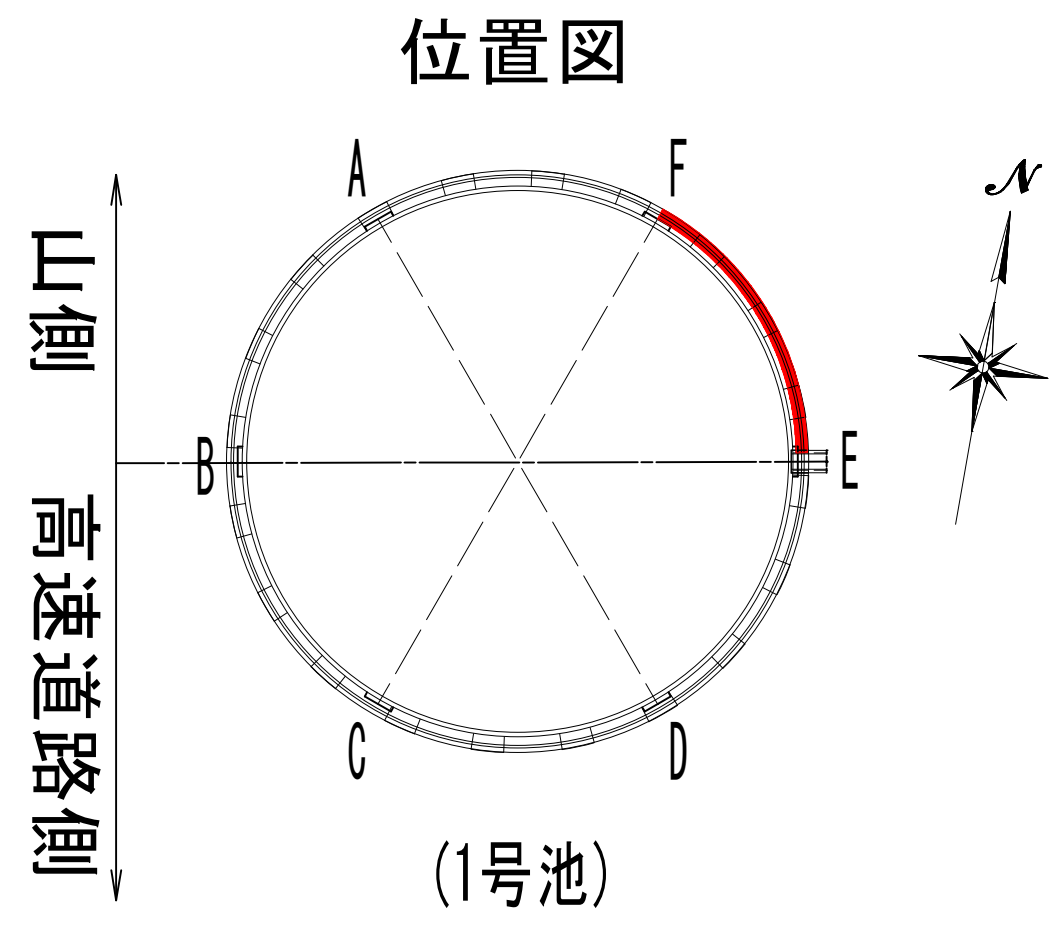
上裏
※損傷なし



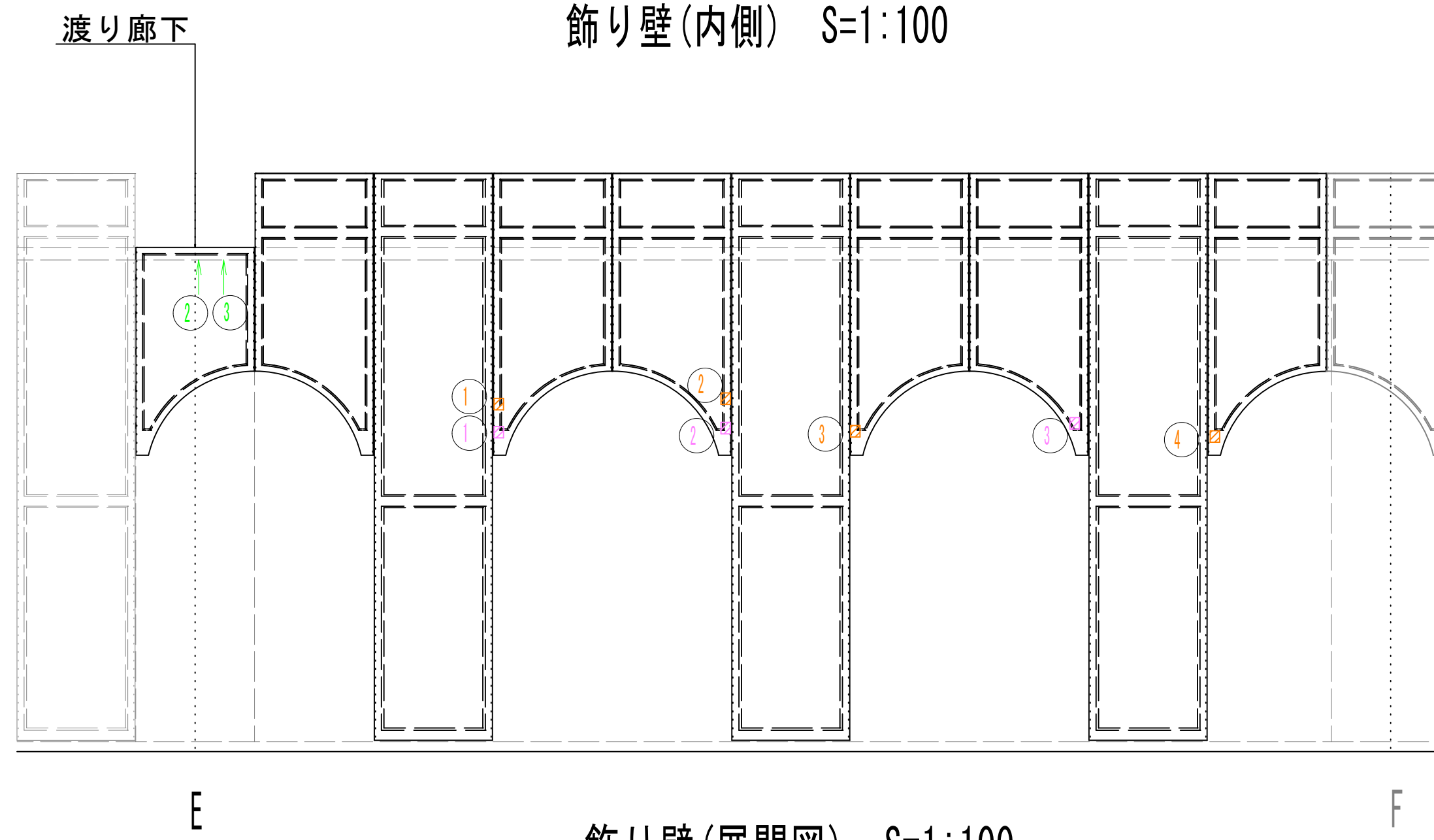
ピラスター側面 E



事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(13)				
縮尺	図示	図面番号	28 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当



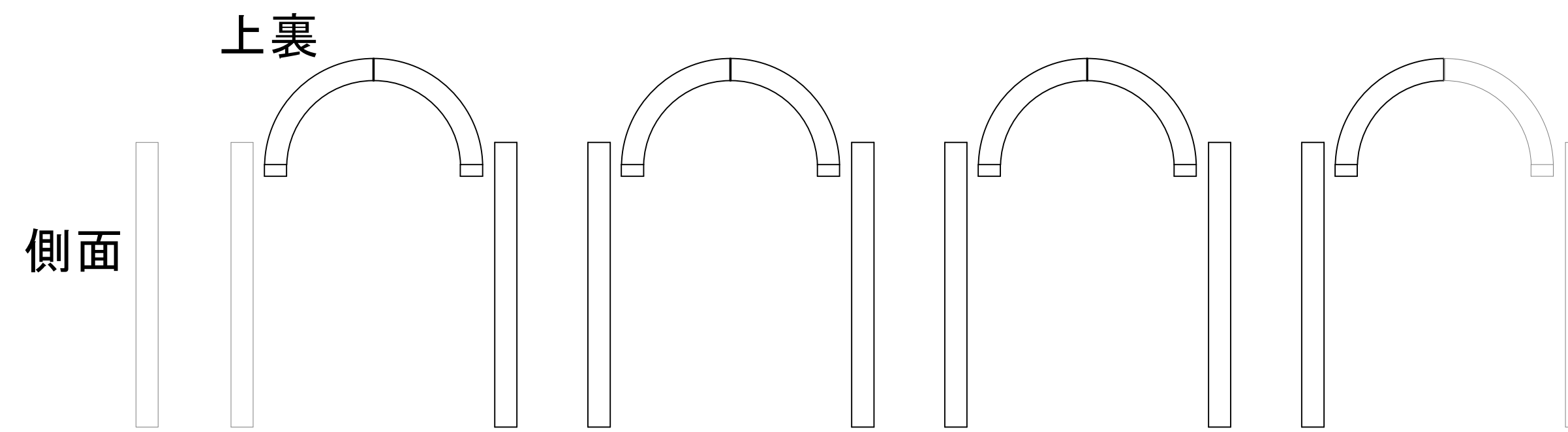
損傷図(14)
1号池PCタンク E-F間
飾り壁(内側) S=1:100



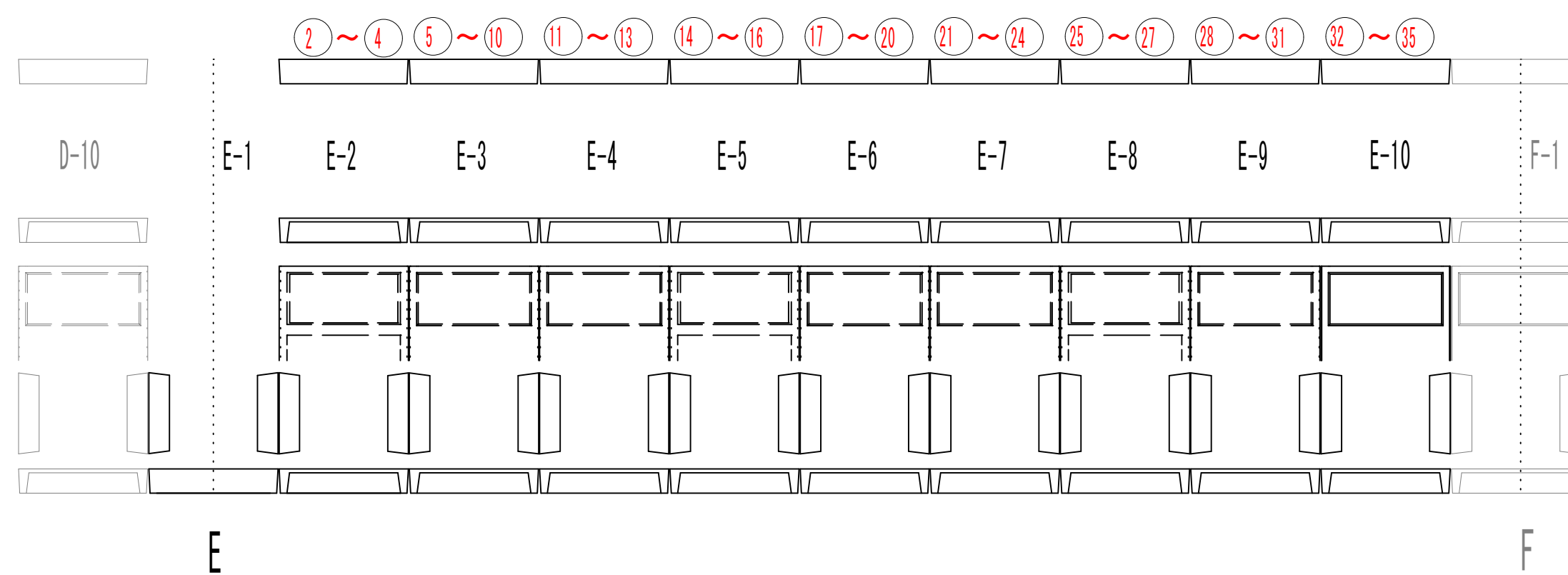
凡例

ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm<w<1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm<w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

飾り壁(展開図) S=1:100



屋上(飾り壁内側展開図) S=1:100



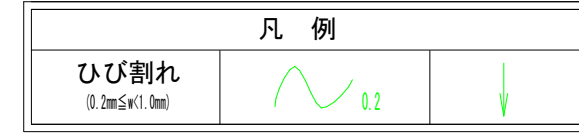
天端 ※②~③⑤の損傷はPC鋼より線を示す。

※飾り壁内側水切シーリング材全体に劣化がみられる。

写真No17

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(14)				
縮尺	図示	図面番号	29 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者

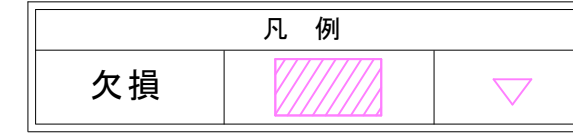
損傷図(15)
1号池PCタンク E-F間



劣化補修工法：ひび割れ注入工(低圧注入工法)

損傷名： ひび割れ(W=0.2mm~1.0mm未満) 損傷図(13)、(14)

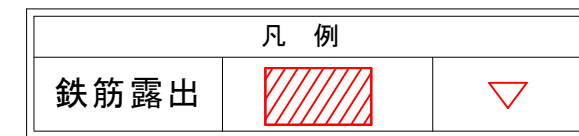
番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 延長(m)	備考
			W(mm)	L(m)	=		
1	コンクリート	飾り壁(外側)	0.40	0.60	=	0.60	
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.20	0.40	=	0.40	写真帳No9
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.20	0.40	=	0.40	写真帳No9
合計						1.40	



劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

損傷名： 欠損 損傷図(14)

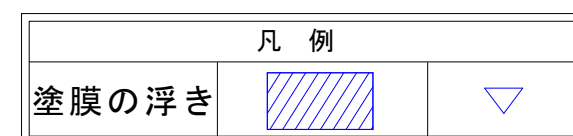
番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考
			H(m)	W(m)	=		
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	0.10	=	0.0100	
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.10	=	0.0050	
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	0.10	=	0.0100	
合計						0.0250	



劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

損傷名： 鉄筋露出 損傷図(13)、(14)

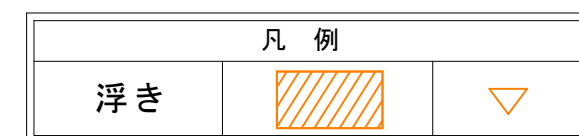
番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考
			H(m)	W(m)	=		
1	コンクリート	飾り壁(外側)	0.05	0.05	=	0.0025	
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	=	0.0025	PC網より線
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
5	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
6	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
7	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
8	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
9	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
10	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
11	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
12	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
13	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
14	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
15	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
16	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
17	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
18	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
19	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
20	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
21	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
22	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
23	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
24	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
25	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
26	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
27	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
28	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
29	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
30	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
31	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
32	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
33	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
34	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
35	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.06	=	0.0025	PC網より線
合計						0.8875	



劣化補修工法：集塵機付きディスクサンダーケレン工法

損傷名： 塗膜の浮き 損傷図(13)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考
			H(m)	W(m)	=		
1	塗装	飾り壁(外側)	0.10	0.70	=	0.0700	
2	塗装	飾り壁(外側)	2.60	0.10	=	0.2600	
3	塗装	飾り壁(外側)	3.20	0.10	=	0.3200	写真帳No8
4	塗装	飾り壁(外側)	2.90	0.10	=	0.2900	
5	塗装	飾り壁(外側)	0.70	0.10	=	0.0700	
6	塗装	飾り壁(外側)	2.00	0.10	=	0.2000	
7	塗装	飾り壁(外側)	0.50	0.20	=	0.1000	
8	塗装	飾り壁(外側)	0.60	0.10	=	0.0600	
9	塗装	飾り壁(外側)	1.30	0.70	=	0.9100	
合計						2.2800	

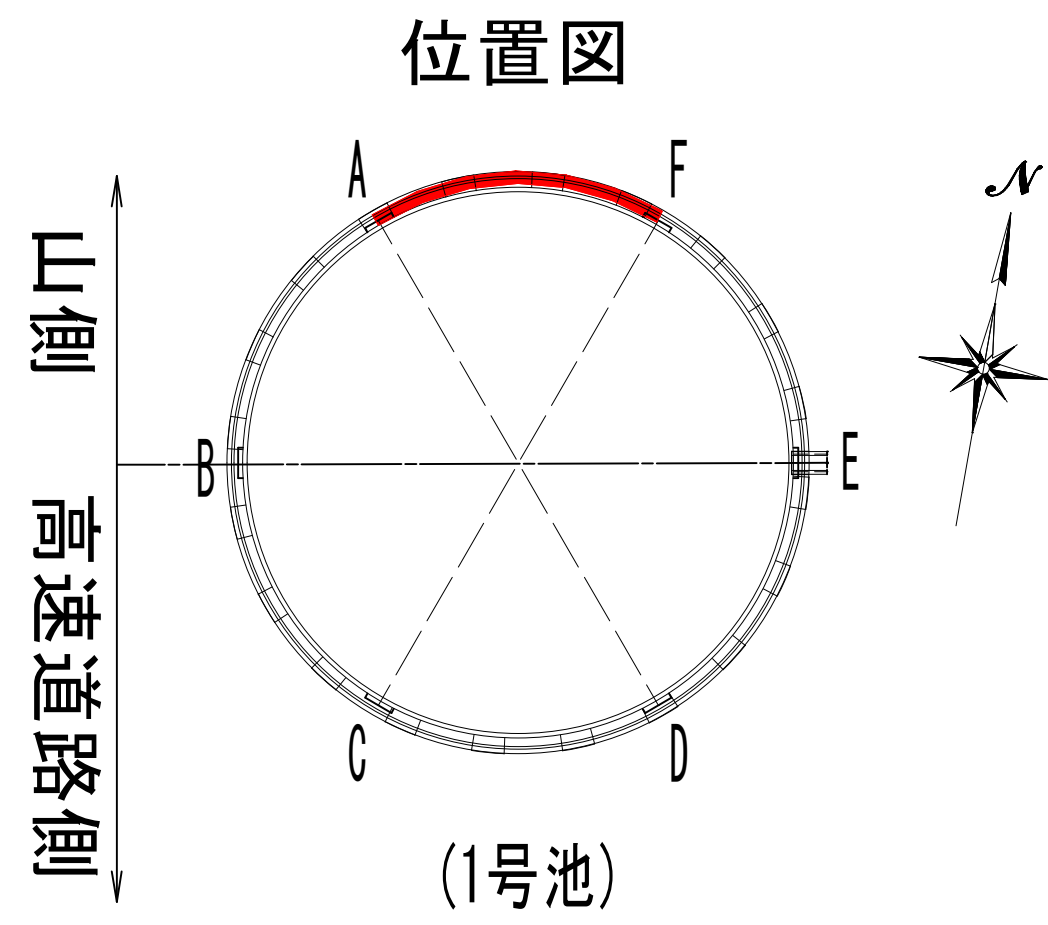


劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

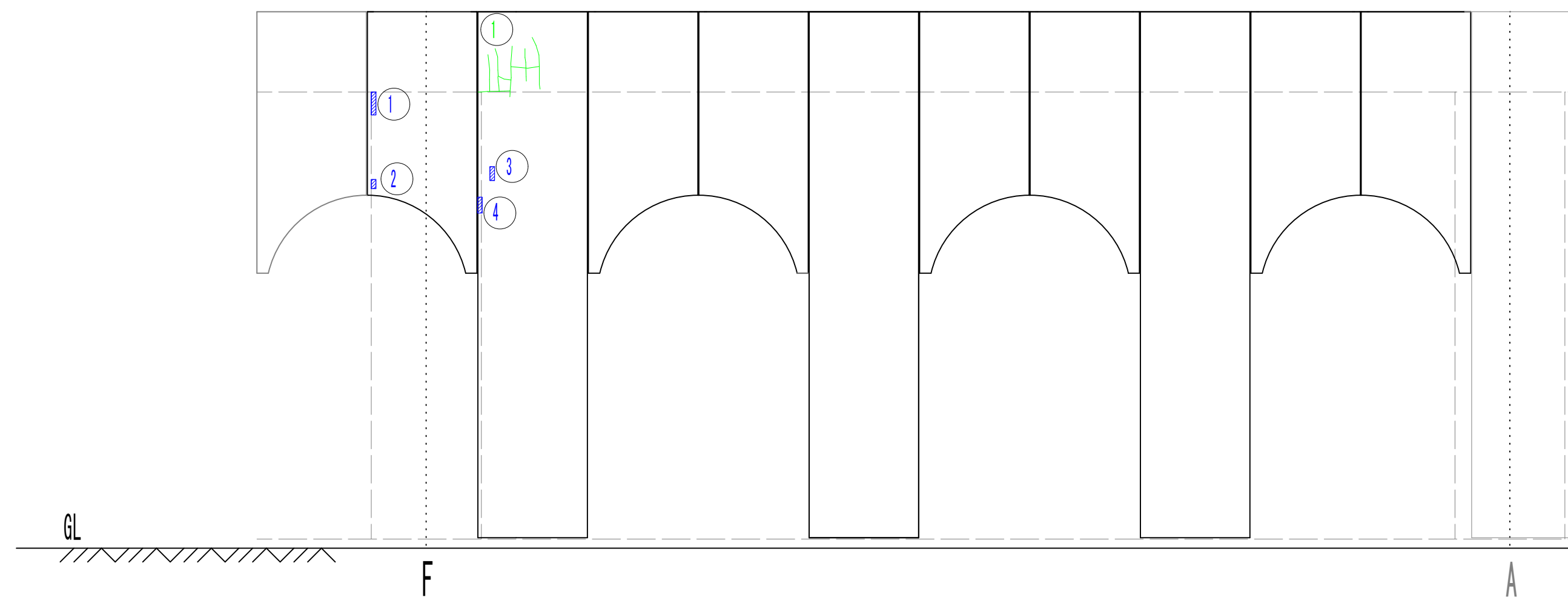
損傷名： 浮き 損傷図(14)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考
			H(m)	W(m)	=		
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	0.10	=	0.0100	
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	0.05	=	0.0050	
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	0.10	=	0.0100	
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.20	0.05	=	0.0100	
合計						0.0350	

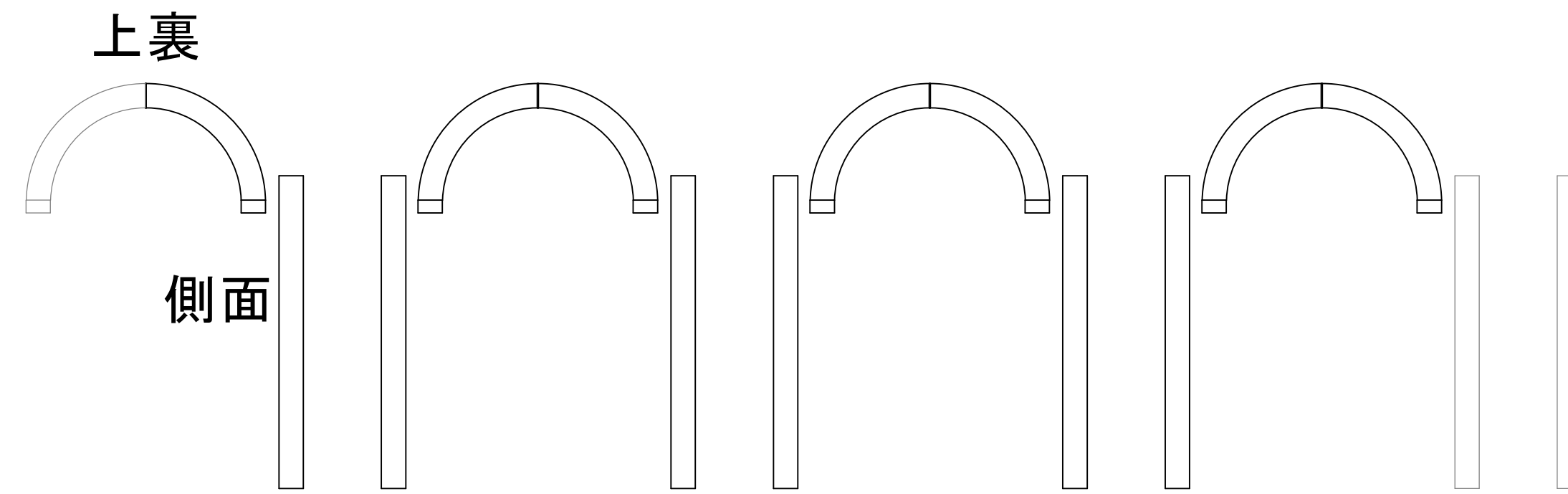
事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(15)				
縮尺	図示	図面番号	30 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者



損傷図(16)
1号池PCタンク F-A間
飾り壁(外側) S=1:100

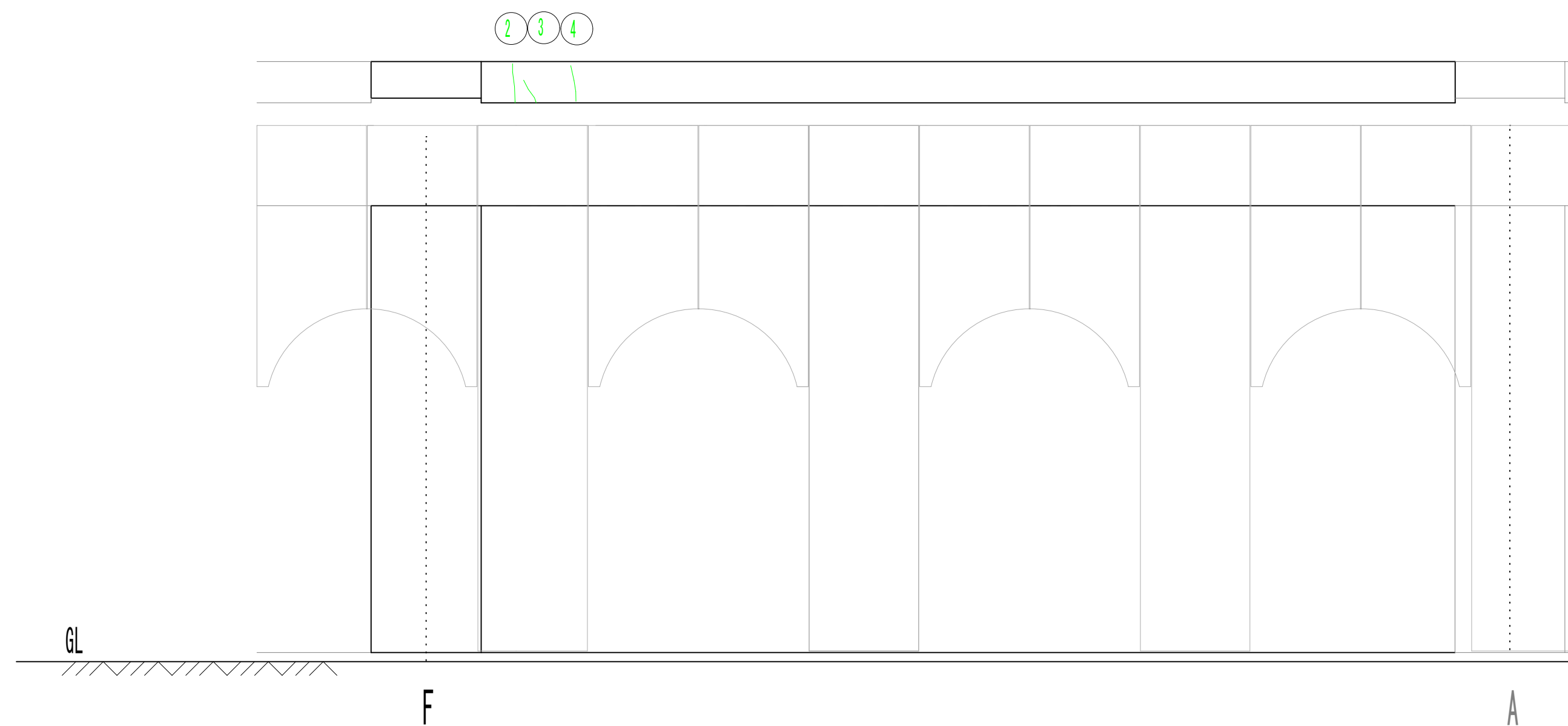


凡例		
ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm≤w<1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm≤w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

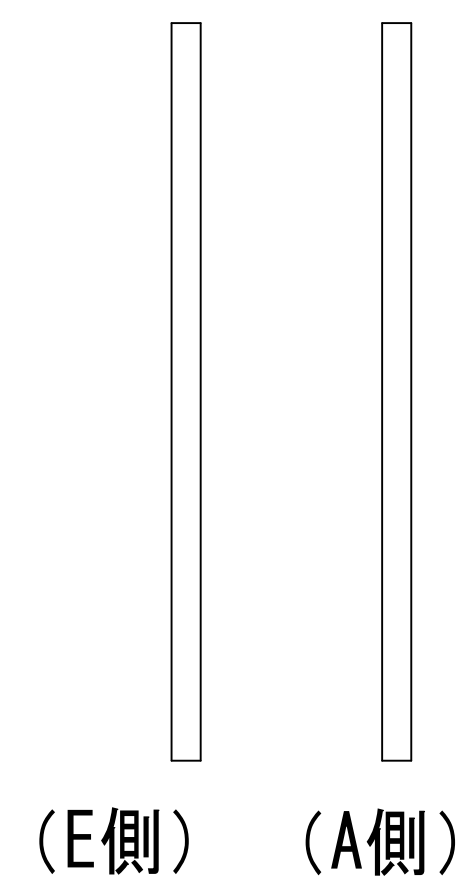


PCタンク外壁 S=1:100

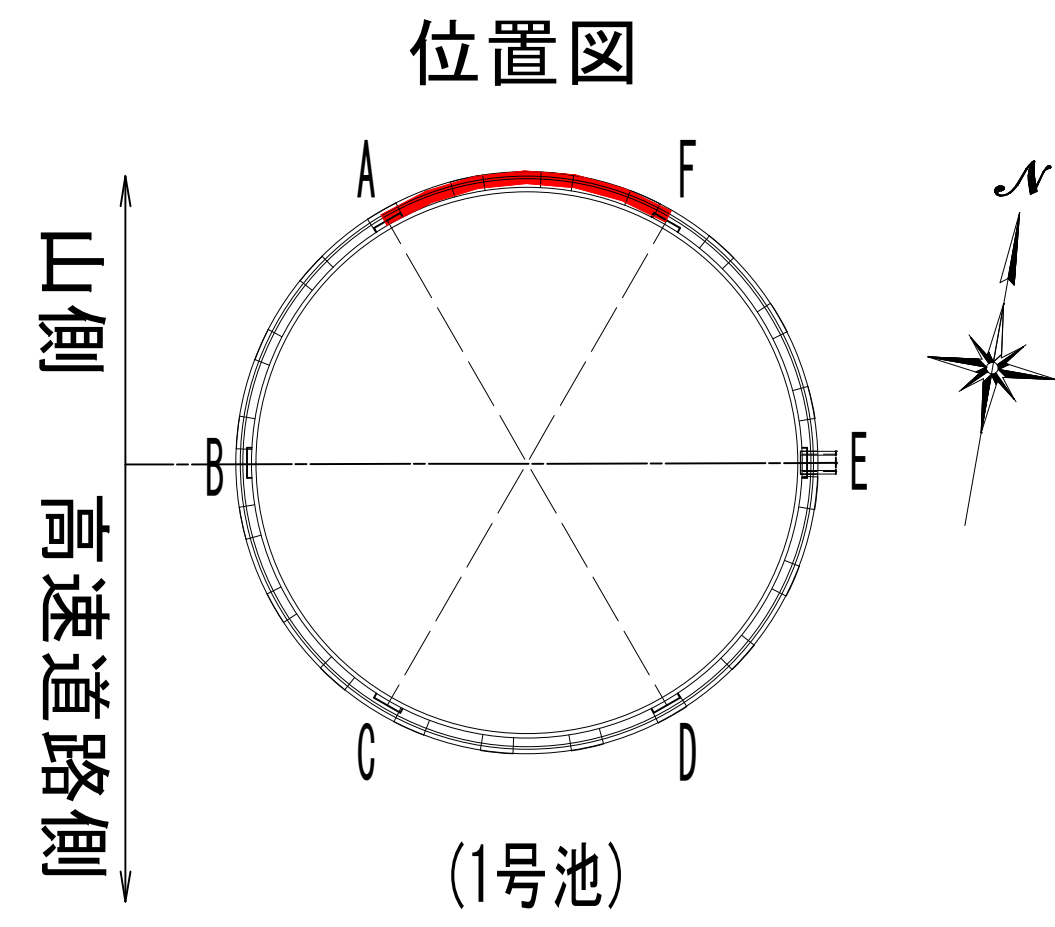
上裏



ピラスター側面 F

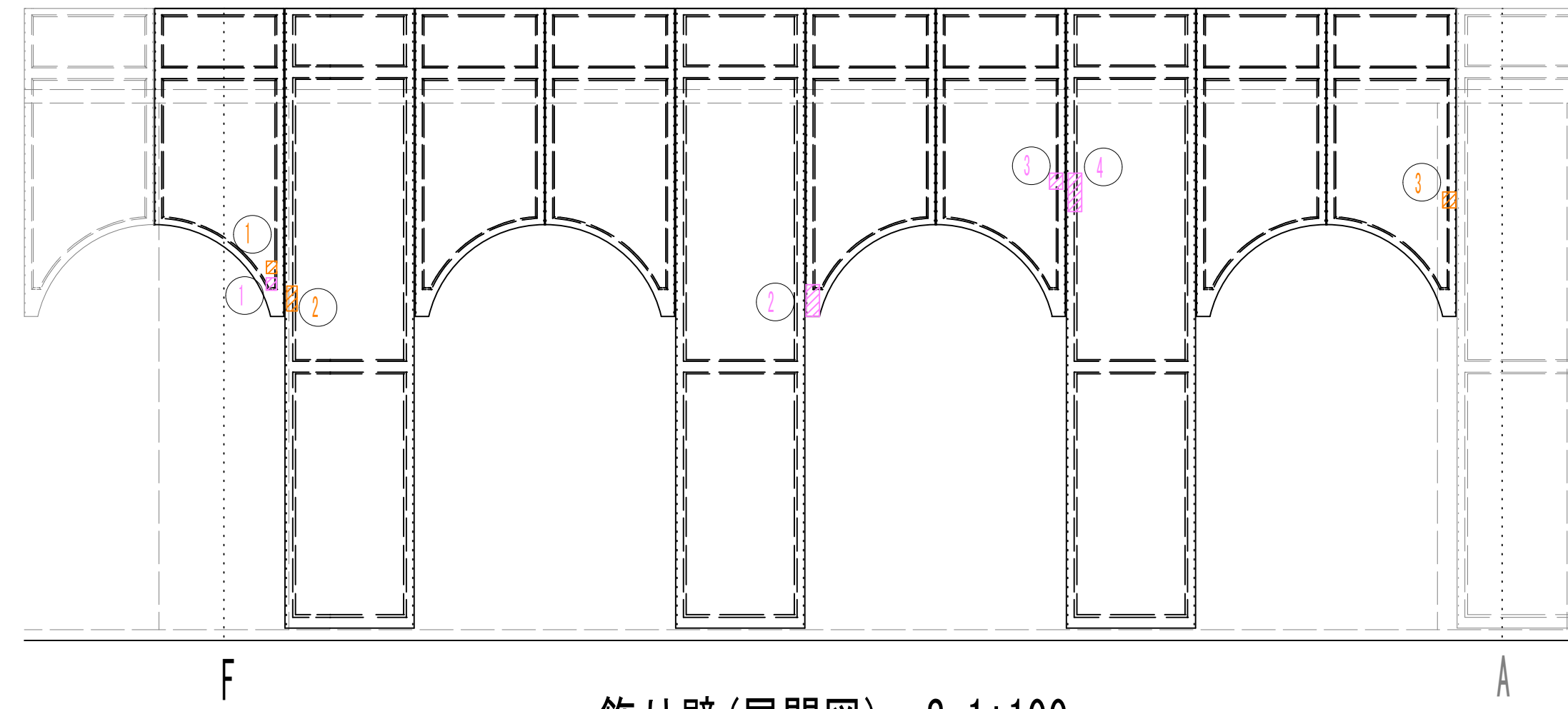


事業名	水道用水供給事業			
工事名	中原調整池1号池塗装工事			
図面名	損傷図(16)			
縮尺	図示	図面番号	31 / 44	
事業主	佐賀東部水道企業団			
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長 担当者

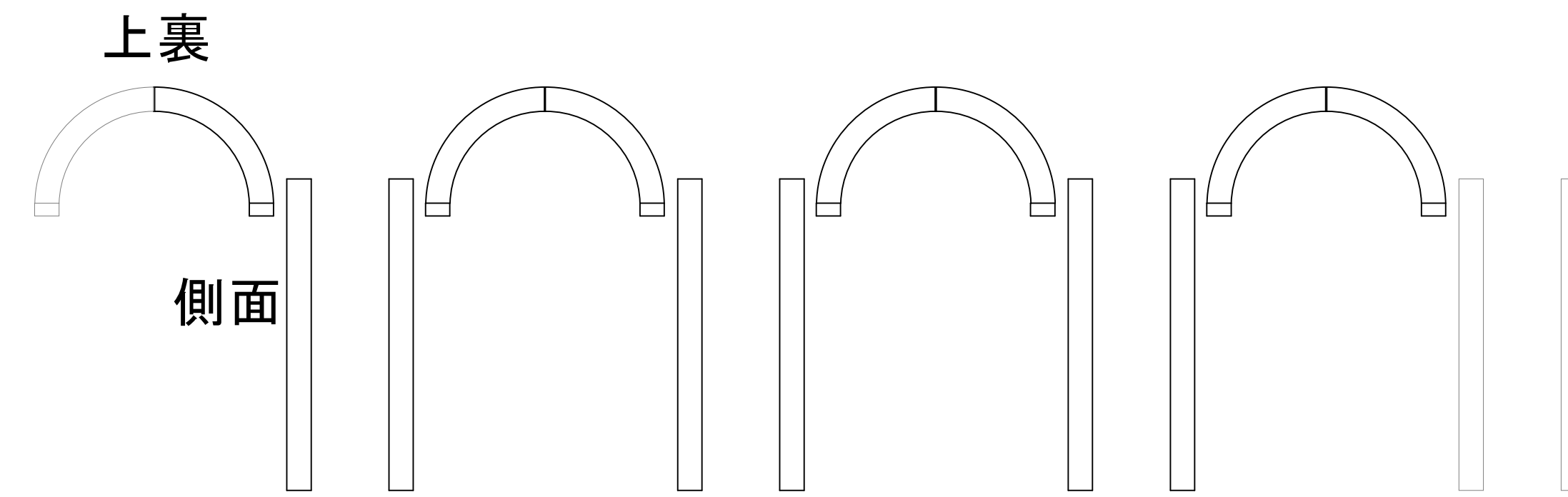


損傷図(17)
1号池PCタンク F-A間

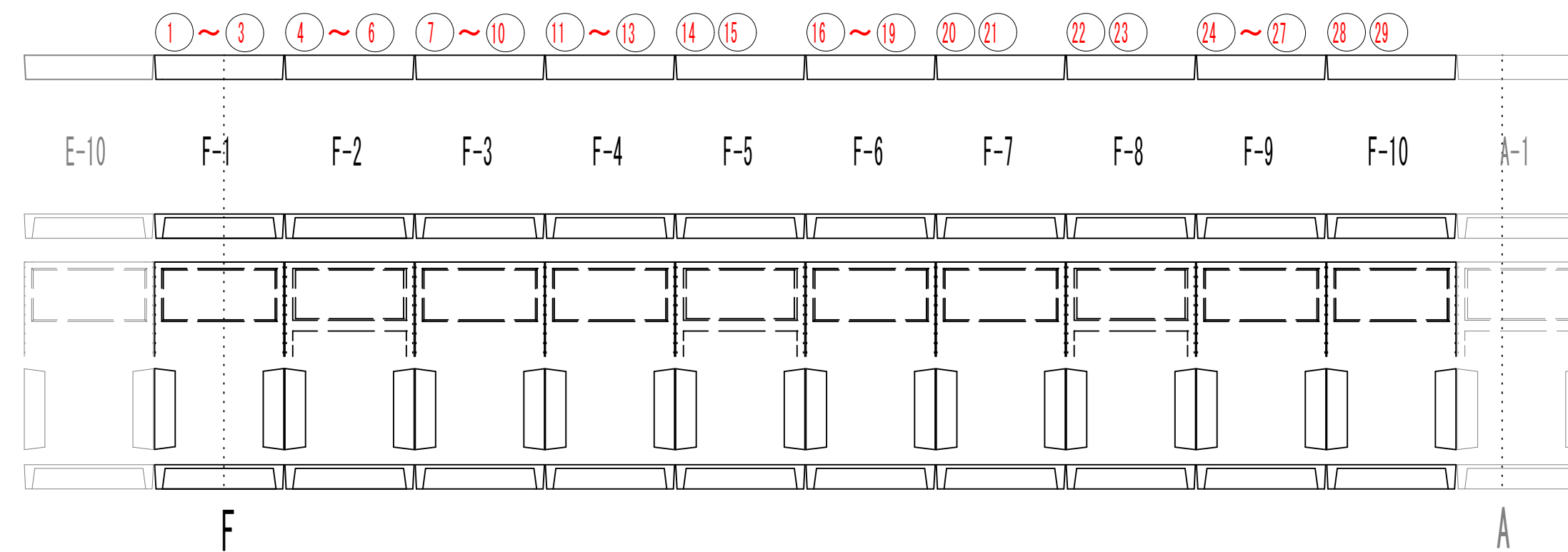
飾り壁(内側) S=1:100



飾り壁(展開図) S=1:100



屋上(飾り壁内側展開図) S=1:100



天端 ※①~⑲の損傷はPC鋼より線を示す。

※飾り壁内側水切シーリング材全体に劣化がみられる。

写真No17

凡例		
ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm≤w<1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm≤w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

事業名	水道用水供給事業			
工事名	中原調整池1号池塗装工事			
図面名	損傷図(17)			
縮尺	図示	図面番号	32 / 44	
事業主	佐賀東部水道企業団			
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長
				担当者

損傷図(18)
1号池PCタンク F-A間

凡例	
ひび割れ 0.2mm以上	

劣化補修工法：ひび割れ注入工(低圧注入工法)

損傷名：ひび割れ(W=0.2mm~1.0mm未満) 損傷図(16)

番号	仕上材 又は 下地	部位	数量計算			数量	備考
			W(mm)	L(m)	延長(m)		
1	コンクリート	飾り壁(外側)	0.40	1.50	0.60	写真帳No10	
2	コンクリート	PCタンク上裏	0.20	0.90	0.18	写真帳No11	
3	コンクリート	PCタンク上裏	0.20	0.60	0.12		
4	コンクリート	PCタンク上裏	0.30	0.90	0.27		
合計						7.90	

凡例	
欠損	

劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

損傷名：欠損 損傷図(17)

番号	仕上材 又は 下地	部位	数量計算			数量	備考
			H(m)	W(m)	A(m ²)		
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	0.10	0.0100		
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.30	0.10	0.0300		
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	0.10	0.0100		
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.30	0.10	0.0300	写真帳No12	
合計						0.0800	

凡例	
鉄筋露出	

劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

損傷名：鉄筋露出 損傷図(17)

番号	仕上材 又は 下地	部位	数量計算			数量	備考
			H(m)	W(m)	A(m ²)		
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
4	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
5	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
6	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
7	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
8	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
9	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
10	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
11	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
12	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
13	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
14	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
15	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
16	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
17	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
18	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
19	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
20	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
21	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
22	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
23	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
24	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
25	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
26	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
27	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
28	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
29	コンクリート	飾り壁(内側)	0.05	0.05	0.0025	PC鋼より線	
合計						0.0725	

凡例	
塗膜の浮き	

劣化補修工法：集塵機付きディスクサンダーケレン工法

損傷名：塗膜の浮き 損傷図(16)

番号	仕上材 又は 下地	部位	数量計算			数量	備考
			H(m)	W(m)	A(m ²)		
1	塗装	飾り壁(外側)	0.50	0.10	0.0500		
2	塗装	飾り壁(外側)	0.20	0.10	0.0200		
3	塗装	飾り壁(外側)	0.30	0.10	0.0300		
4	塗装	飾り壁(外側)	0.35	0.10	0.0350		
合計						0.1350	

凡例	
浮き	

劣化補修工法：断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

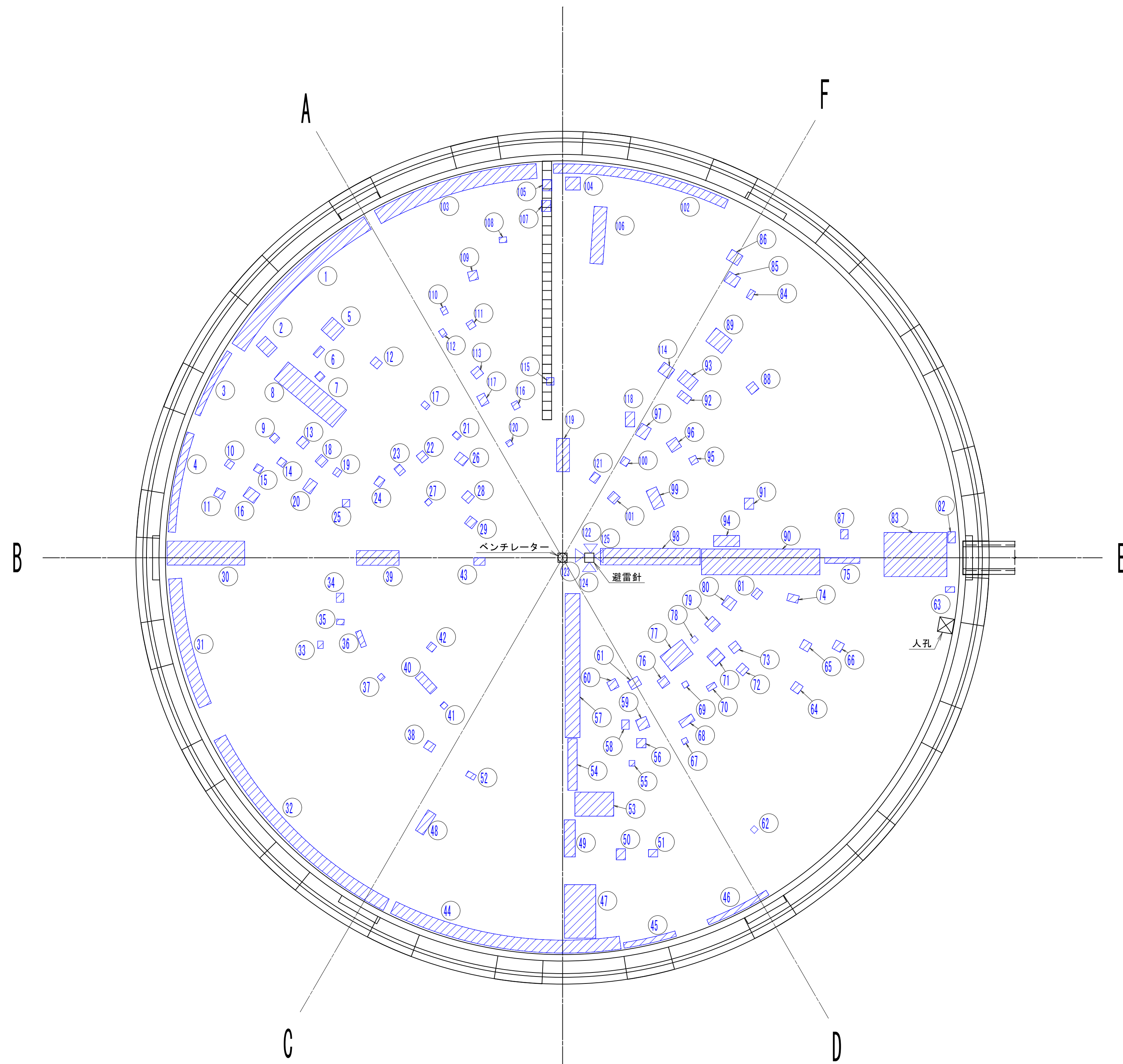
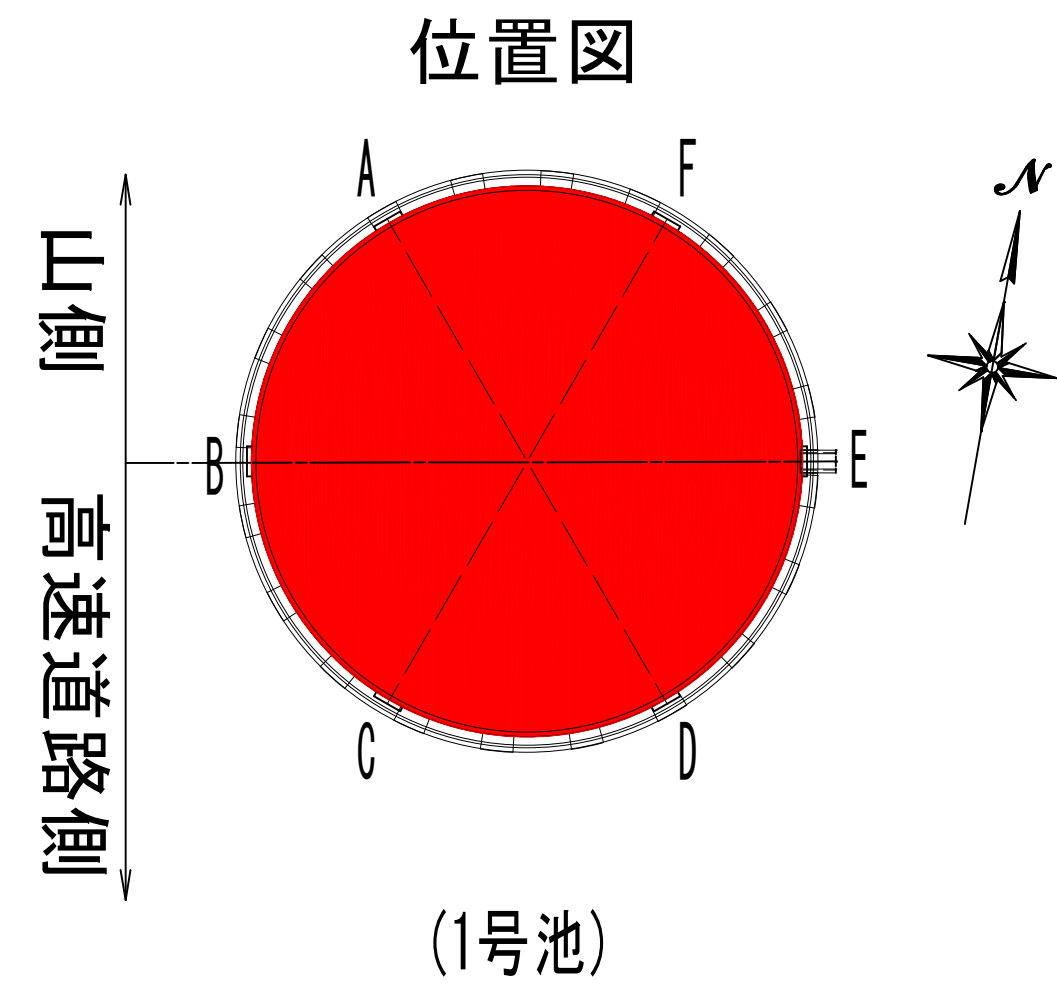
損傷名：浮き 損傷図(17)

番号	仕上材 又は 下地	部位	数量計算			数量	備考
			H(m)	W(m)	A(m ²)		
1	コンクリート	飾り壁(内側)	0.20	0.10	0.0200		
2	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	0.10	0.0100		
3	コンクリート	飾り壁(内側)	0.10	0.10	0.0100		
合計						0.0400	

事業名	水道用水供給事業			
工事名	中原調整池1号池塗装工事			
図面名	損傷図(18)			
縮尺	図示	図面番号	33 / 44	
事業主	佐賀東部水道企業団			
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長 担当者

損傷図(19)

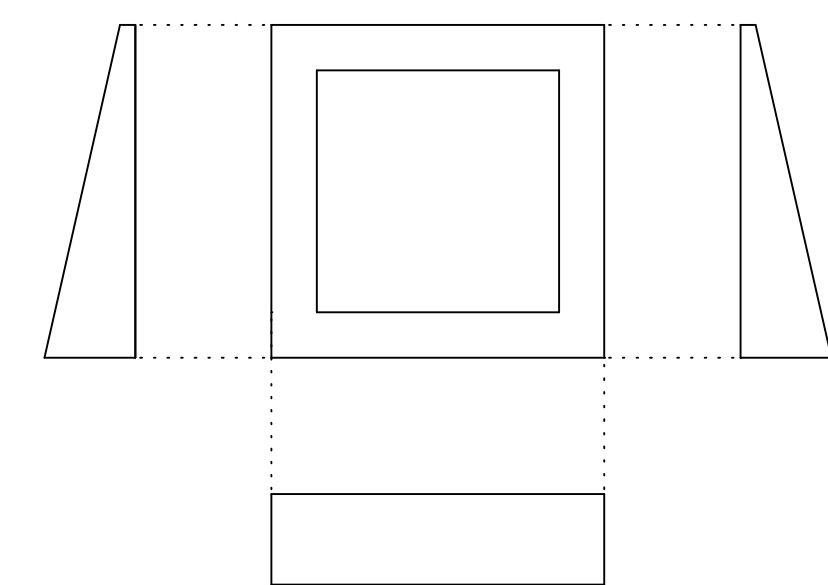
1号池 PCタンクドーム S=1:150



凡例

ひび割れ (w<0.2mm)		
ひび割れ (0.2mm ≤ w < 1.0mm)		
ひび割れ (1.0mm ≤ w)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

人孔 展開図 S=1:25



特記事項

- ※防水や塗装の施工に支障がある電気設備は、養生をおこない仮撤去が必要な場合は、盛替・復旧をおこなうこと。
- ※石綿繊維状粒子自動測定機を設置し作業を行うこと。
- ※アクリルゴム系塗膜防水は、JIS A 6021とすること。

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(19)				
縮尺	図示	図面番号	34 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主任係長	担当者

損傷図(20)

1号池 PCタンクドーム

凡例	
塗膜の浮き	

劣化補修工法：(石綿含有建材)IY0集塵工法 レベル3

損傷名：塗膜の浮き

損傷図(19)

番号	仕上材 又は 下地	部位	数量計算			数量	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	塗装	ドーム	0.80	×	6.70	=	5.3600	
2	塗装	ドーム	0.90	×	0.70	=	0.6300	
3	塗装	ドーム	0.30	×	3.00	=	0.9000	
4	塗装	ドーム	0.40	×	7.00	=	2.8000	
5	塗装	ドーム	0.90	×	0.90	=	0.8100	
6	塗装	ドーム	0.30	×	0.60	=	0.1800	
7	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	
8	塗装	ドーム	4.10	×	1.20	=	4.9200	
9	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	
10	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	
11	塗装	ドーム	0.45	×	0.50	=	0.2250	
12	塗装	ドーム	0.45	×	0.50	=	0.2250	
13	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
14	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	
15	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	
16	塗装	ドーム	0.60	×	0.70	=	0.4200	
17	塗装	ドーム	0.30	×	0.40	=	0.1200	
18	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
19	塗装	ドーム	0.35	×	0.40	=	0.1400	
20	塗装	ドーム	0.50	×	0.70	=	0.3500	
21	塗装	ドーム	0.30	×	0.40	=	0.1200	
22	塗装	ドーム	0.45	×	0.50	=	0.2250	
23	塗装	ドーム	0.40	×	0.50	=	0.2000	
24	塗装	ドーム	0.40	×	0.50	=	0.2000	
25	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	
26	塗装	ドーム	0.50	×	0.60	=	0.3000	
27	塗装	ドーム	0.30	×	0.30	=	0.0900	
28	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
29	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
30	塗装	ドーム	4.20	×	1.30	=	5.4600	
31	塗装	ドーム	0.70	×	9.00	=	6.3000	
32	塗装	ドーム	0.70	×	15.00	=	10.5000	
33	塗装	ドーム	0.30	×	0.40	=	0.1200	
34	塗装	ドーム	0.40	×	0.50	=	0.2000	
35	塗装	ドーム	0.30	×	0.40	=	0.1200	
36	塗装	ドーム	0.30	×	0.90	=	0.2700	
37	塗装	ドーム	0.30	×	0.30	=	0.0900	
38	塗装	ドーム	0.45	×	0.50	=	0.2250	
39	塗装	ドーム	2.30	×	0.80	=	1.8400	
40	塗装	ドーム	0.50	×	1.20	=	0.6000	
41	塗装	ドーム	0.30	×	0.30	=	0.0900	
42	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	
43	塗装	ドーム	0.60	×	0.40	=	0.2400	
44	塗装	ドーム	0.70	×	13.00	=	9.1000	
45	塗装	ドーム	0.30	×	2.20	=	0.6600	
46	塗装	ドーム	0.30	×	3.00	=	0.9000	
47	塗装	ドーム	2.90	×	1.70	=	4.9300	
48	塗装	ドーム	1.30	×	0.50	=	0.6500	
49	塗装	ドーム	2.00	×	0.60	=	1.2000	
50	塗装	ドーム	0.50	×	0.60	=	0.3000	
小計①						64.1300		

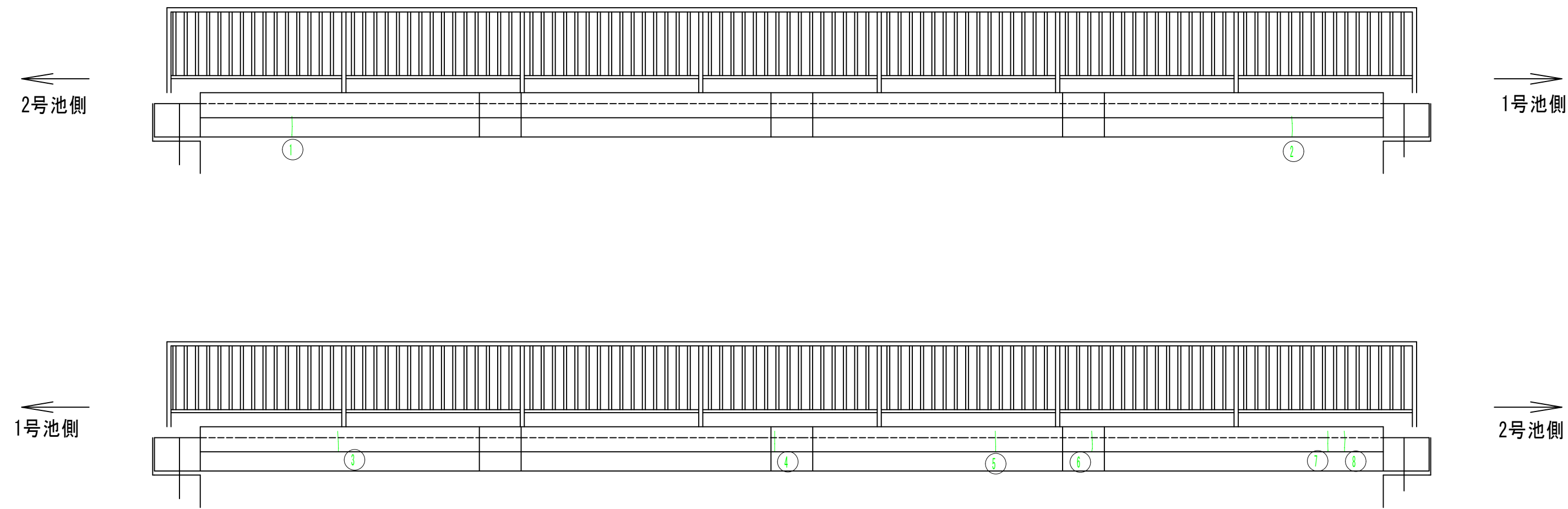
51	塗装	ドーム	0.50	×	0.40	=	0.2000	
52	塗装	ドーム	0.30	×	0.50	=	0.1500	
53	塗装	ドーム	1.30	×	2.10	=	2.7300	
54	塗装	ドーム	2.80	×	0.50	=	1.4000	
55	塗装	ドーム	0.30	×	0.30	=	0.0900	
56	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
57	塗装	ドーム	7.80	×	0.80	=	6.2400	
58	塗装	ドーム	0.40	×	0.50	=	0.2000	
59	塗装	ドーム	0.60	×	0.60	=	0.3600	
60	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
61	塗装	ドーム	0.60	×	0.50	=	0.3000	
62	塗装	ドーム	0.30	×	0.30	=	0.0900	
63	塗装	ドーム	0.50	×	0.30	=	0.1500	
64	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
65	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
66	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
67	塗装	ドーム	0.30	×	0.30	=	0.0900	
68	塗装	ドーム	0.40	×	0.80	=	0.3200	
69	塗装	ドーム	0.30	×	0.30	=	0.0900	
70	塗装	ドーム	0.30	×	0.50	=	0.1500	
71	塗装	ドーム	0.70	×	0.70	=	0.4900	
72	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
73	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
74	塗装	ドーム	0.40	×	0.60	=	0.2400	
75	塗装	ドーム	1.90	×	0.30	=	0.5700	
76	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
77	塗装	ドーム	1.00	×	1.50	=	1.5000	
78	塗装	ドーム	0.30	×	0.30	=	0.0900	
79	塗装	ドーム	0.60	×	0.60	=	0.3600	
80	塗装	ドーム	0.60	×	0.60	=	0.3600	
81	塗装	ドーム	0.40	×	0.50	=	0.2000	
82	塗装	ドーム	0.40	×	0.60	=	0.2400	
83	塗装	ドーム	3.40	×	2.40	=	8.1600	写真帳No13
84	塗装	ドーム	0.30	×	0.50	=	0.1500	
85	塗装	ドーム	0.70	×	0.60	=	0.4200	
86	塗装	ドーム	0.70	×	0.60	=	0.4200	
87	塗装	ドーム	0.40	×	0.50	=	0.2000	
88	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
89	塗装	ドーム	1.10	×	0.90	=	0.9900	
90	塗装	ドーム	6.40	×	1.40	=	8.9600	
91	塗装	ドーム	0.50	×	0.60	=	0.3000	
92	塗装	ドーム	0.40	×	0.70	=	0.2800	
93	塗装	ドーム	0.70	×	0.90	=	0.6300	
94	塗装	ドーム	1.40	×	0.60	=	0.8400	
95	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	
96	塗装	ドーム	0.60	×	0.60	=	0.3600	
97	塗装	ドーム	0.60	×	0.70	=	0.4200	
98	塗装	ドーム	5.40	×	0.90	=	4.8600	
99	塗装	ドーム	0.60	×	1.10	=	0.6600	
100	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	
小計②						46.8300		

101	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
102	塗装	ドーム	0.50	×	11.00	=	5.5000	
103	塗装	ドーム	0.80	×	8.00	=	6.4000	写真帳No14
104	塗装	ドーム	0.80	×	0.70	=	0.5600	
105	塗装	ドーム	0.50	×	0.60	=	0.3000	
106	塗装	ドーム	3.10	×	0.70	=	2.1700	
107	塗装	ドーム	0.50	×	0.60	=	0.3000	
108	塗装	ドーム	0.30	×	0.40	=	0.1200	
109	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
110	塗装	ドーム	0.30	×	0.40	=	0.1200	
111	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	写真帳No15
112	塗装	ドーム	0.30	×	0.40	=	0.1200	
113	塗装	ドーム	0.50	×	0.50	=	0.2500	
114	塗装	ドーム	0.70	×	0.60	=	0.4200	
115	塗装	ドーム	0.40	×	0.40	=	0.1600	
116	塗装	ドーム	0.35	×	0.40	=	0.1400	
117	塗装	ドーム	0.45	×	0.60	=	0.2700	
118	塗装	ドーム	0.50	×	0.80	=	0.4000	
119	塗装	ドーム	1.80	×	0.70	=	1.2600	
120	塗装	ドーム	0.30	×	0.30	=	0.0900	
121	塗装	ドーム	0.40	×	0.50	=	0.2000	
122	塗装	ドーム	0.20	×	0.20	=	0.0400	
123	塗装	ドーム	0.20	×	0.50	=	0.1000	
124	塗装	ドーム	0.60	×	0.50	=	0.3000	
125	塗装	ドーム	0.60	×	0.60	=	0.3600	
小計③						20.2400		
合計(小計①+②+③)						131.2000		

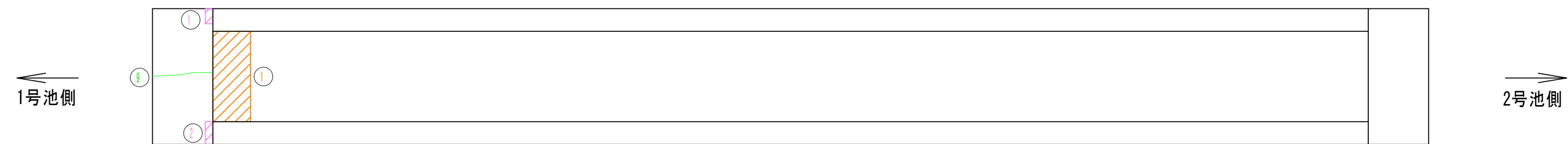
事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	損傷図(20)				
縮尺	図示	図面番号	35 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管理係長	担当者

損傷図(21)
渡り廊下

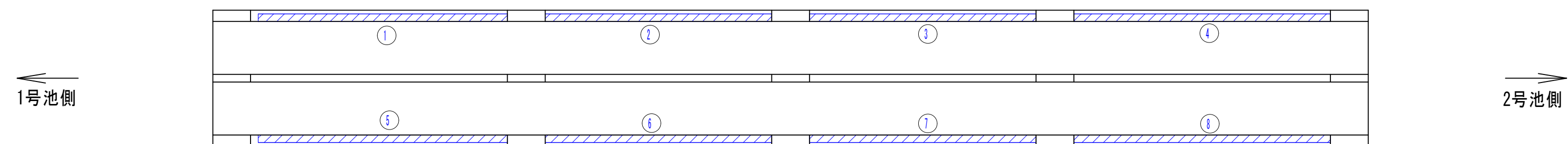
側面図 S=1 : 50



平面図 S=1 : 50



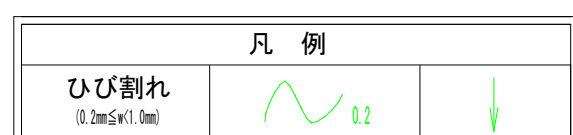
桁下図 S=1 : 50



凡例		
ひび割れ ($w < 0.2\text{mm}$)		
ひび割れ ($0.2\text{mm} \leq w < 1.0\text{mm}$)		
ひび割れ ($1.0\text{mm} \leq w$)		
鉄筋露出		
欠損		
浮き		
塗膜の浮き		
その他		

事業名	水道用水供給事業			
工事名	中原調整池1号池塗装工事			
図面名	損傷図(21)			
縮尺	図示	図面番号	36 / 44	
事業主	佐賀東部水道企業団			
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主任係長
				担当者

損傷図(22)
渡り廊下

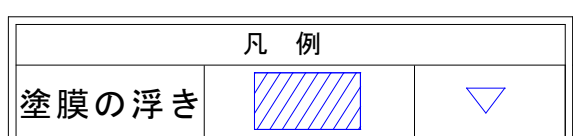


劣化補修工法：ひび割れ注入工(低圧注入工法)

損傷名： ひび割れ(W=0.2mm~1.0mm未満)

損傷図(21)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 延長(m)	備考	
			W(mm)	/	L(m)			=
1	コンクリート	側面図	0.20	/	0.30	=	0.30	
2	コンクリート	側面図	0.20	/	0.30	=	0.30	写真帳No1
3	コンクリート	側面図	0.20	/	0.30	=	0.30	
4	コンクリート	側面図	0.20	/	0.30	=	0.30	
5	コンクリート	側面図	0.20	/	0.30	=	0.30	
6	コンクリート	側面図	0.20	/	0.30	=	0.30	
7	コンクリート	側面図	0.20	/	0.30	=	0.30	
8	コンクリート	側面図	0.20	/	0.30	=	0.30	
9	コンクリート	平面図	0.20	/	0.80	=	0.80	
合計							3.20	

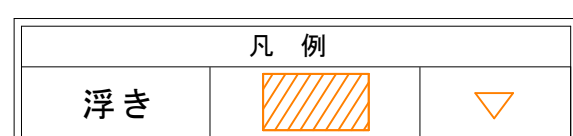


劣化補修工法：集塵機付きディスクサンダーケレン工法

損傷名： 塗膜の浮き

損傷図(21)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	塗装	桁下	3.30	×	0.10	=	0.3300	写真帳No2
2	塗装	桁下	3.00	×	0.10	=	0.3000	
3	塗装	桁下	3.00	×	0.10	=	0.3000	写真帳No3
4	塗装	桁下	3.40	×	0.10	=	0.3400	
5	塗装	桁下	3.30	×	0.10	=	0.3300	
6	塗装	桁下	3.00	×	0.10	=	0.3000	
7	塗装	桁下	3.00	×	0.10	=	0.3000	
8	塗装	桁下	3.40	×	0.10	=	0.3400	
合計							2.5400	

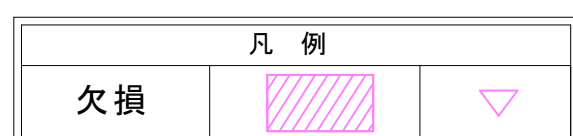


劣化補修工法：断面修復工（ポリマーセメントモルタル）

損傷名： 浮き

損傷図(21)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	コンクリート	平面図	0.50	×	1.20	=	0.6000	
合計							0.6000	



劣化補修工法：断面修復工（ポリマーセメントモルタル）

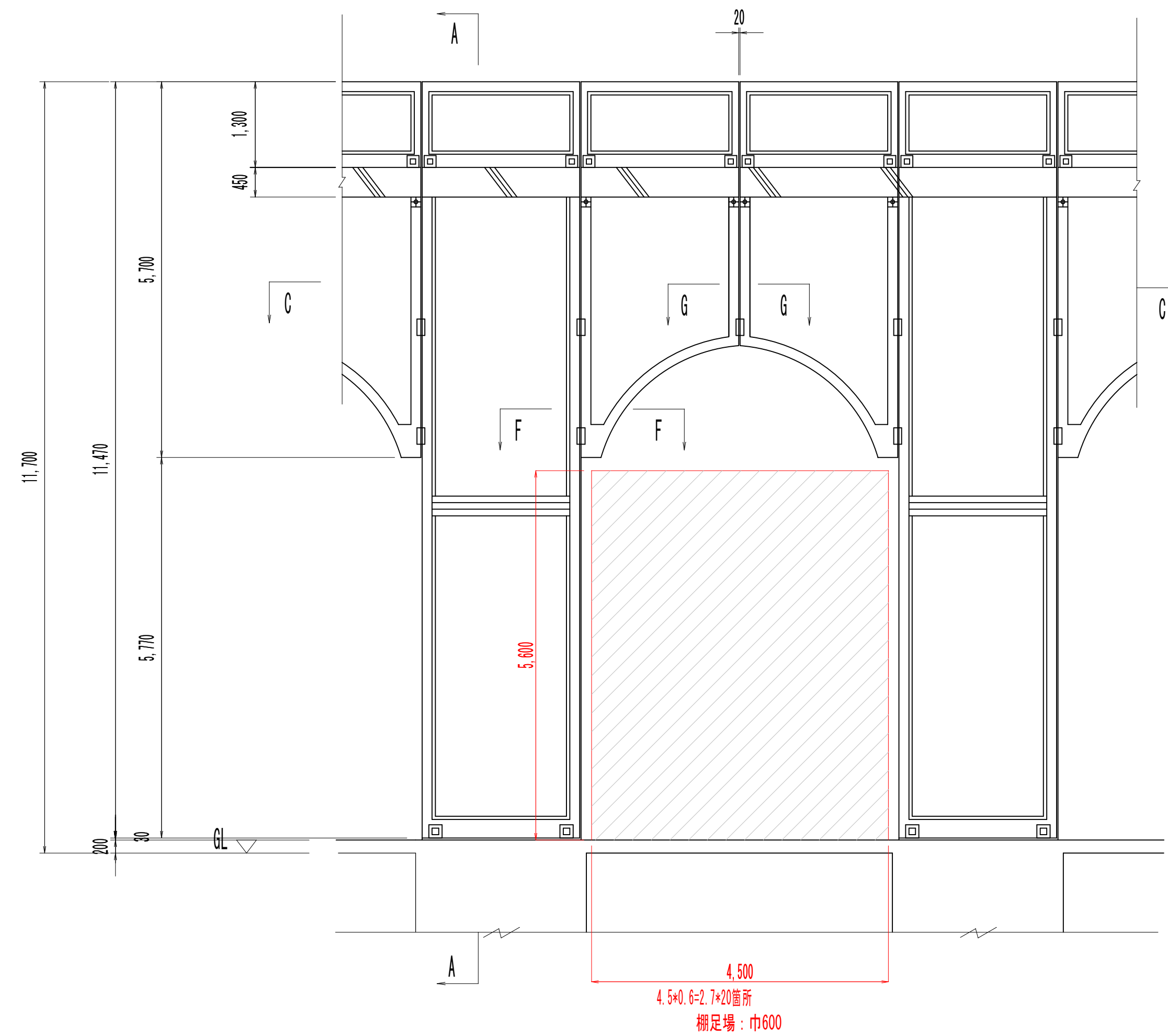
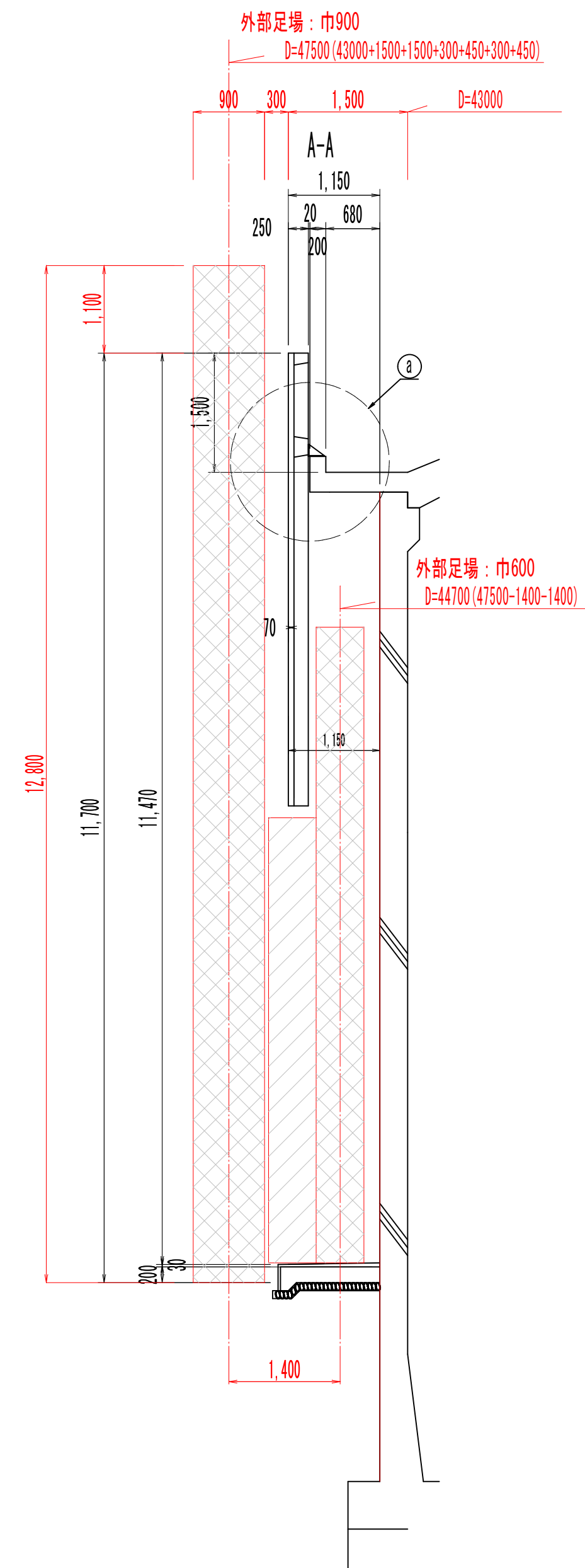
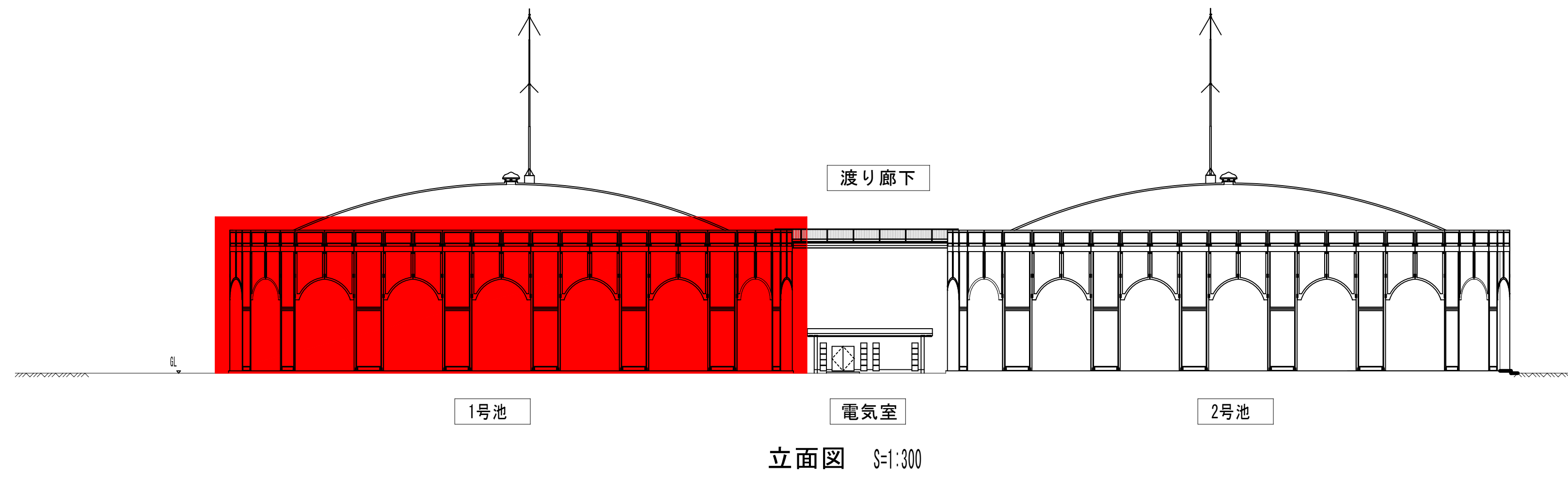
損傷名： 欠損

損傷図(21)

番号	仕上げ材 又は 下地	部位	数量計算			数量 A(m2)	備考	
			H(m)	×	W(m)			=
1	コンクリート	平面図	0.10	×	0.20	=	0.0200	
2	コンクリート	平面図	0.10	×	0.30	=	0.0300	
合計							0.0500	

事業名	水道用水供給事業		
工事名	中原調整池1号池塗装工事		
図面名	損傷図(22)		
縮尺	図示	図面番号	37 / 44
事業主	佐賀東部水道企業団		
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐
		主管係長	担当者

積算根拠図 (1号池：外部足場)

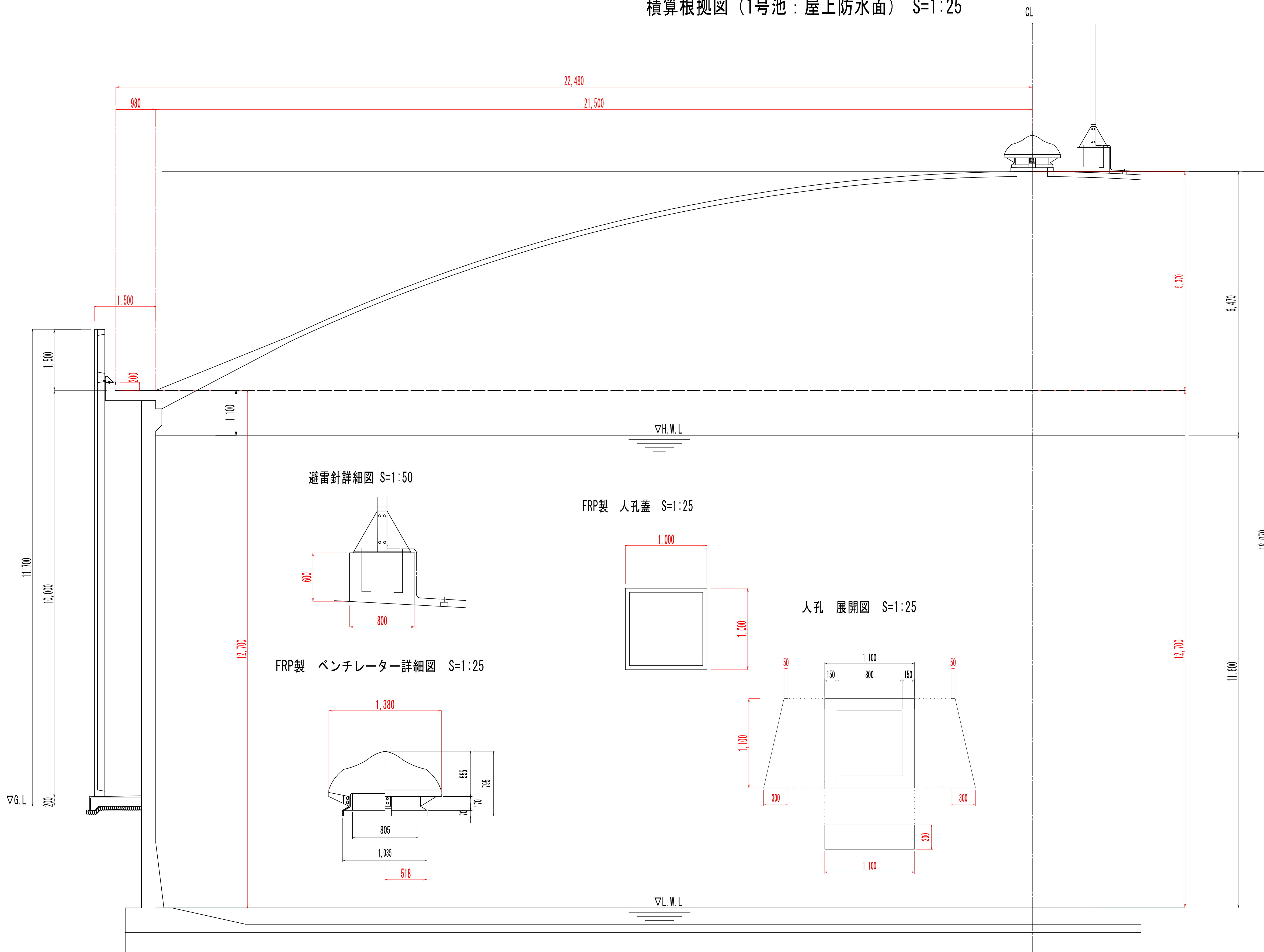


特記事項

※溶剤形の材料を使用する場合は、足場作業範囲の換気に留意すること。

事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	積算根拠図 (1号池：外部足場)				
縮尺	図示	図面番号	38 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者

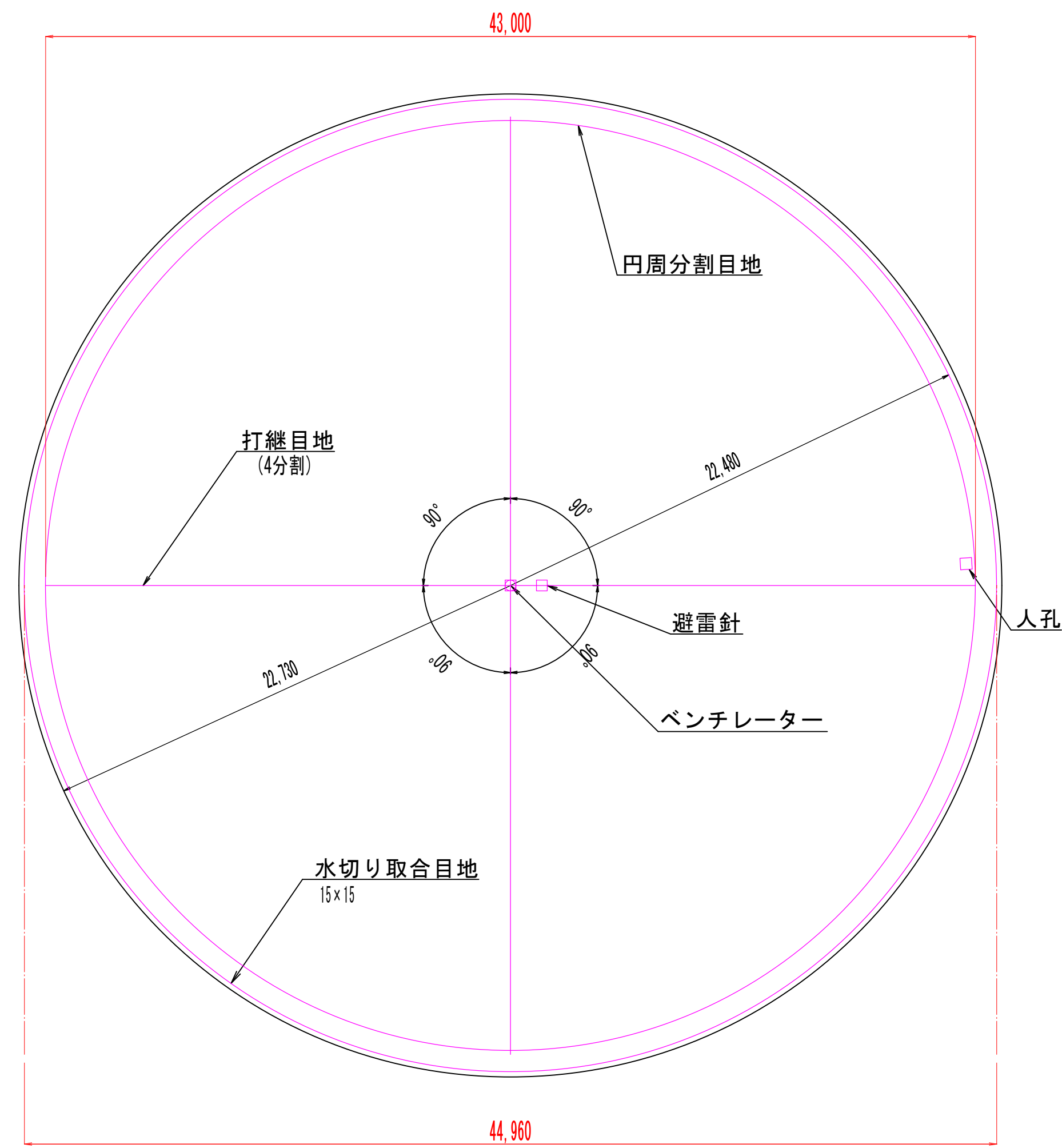
積算根拠図 (1号池：屋上防水面) S=1:25



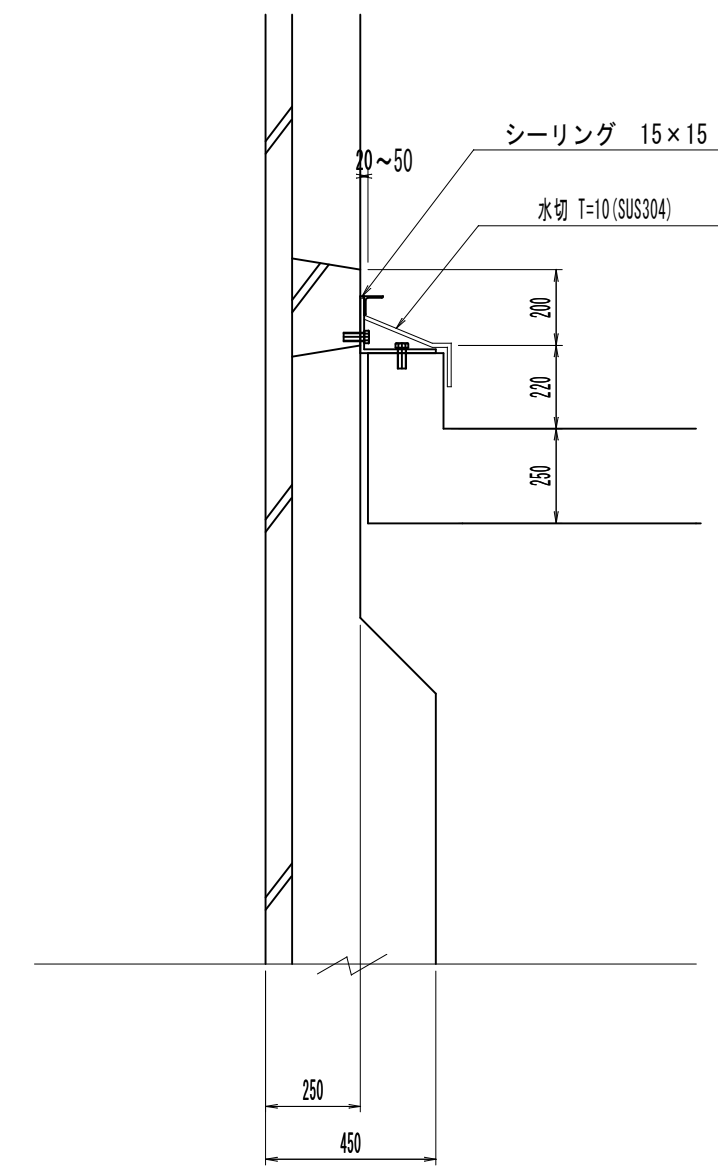
特記事項
 ※防水や塗装の施工に支障がある電気設備は、養生をおこない仮撤去が必要な場合は、盛替・復旧をおこなうこと。
 ※石綿繊維状粒子自動測定機を設置し作業を行うこと。
 ※アクリルゴム系塗膜防水は、JIS A 6021とすること。

事業名	水道用水供給事業		
工事名	中原調整池1号池塗装工事		
図面名	積算根拠図 (1号池：屋上防水面)		
縮尺	図示	図面番号	39 / 44
事業主	佐賀東部水道企業団		
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐
		主管係長	担当者

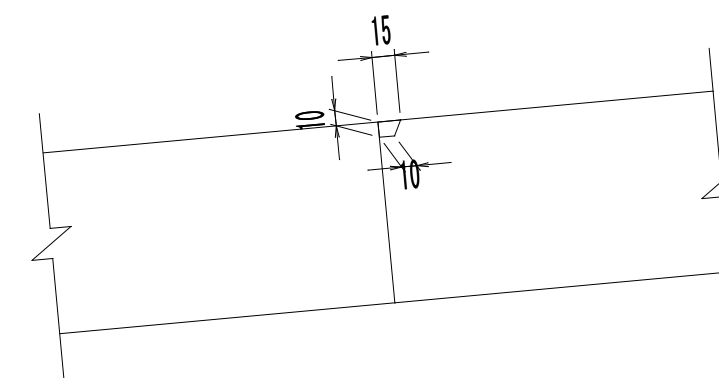
積算根拠図（1号池：屋上シーリング打替部） S=1:200



水切り取合目地 S=1:20



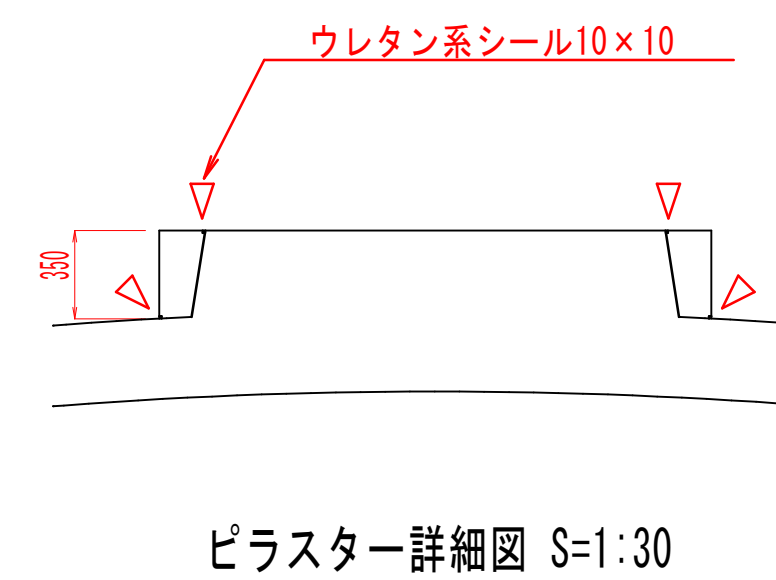
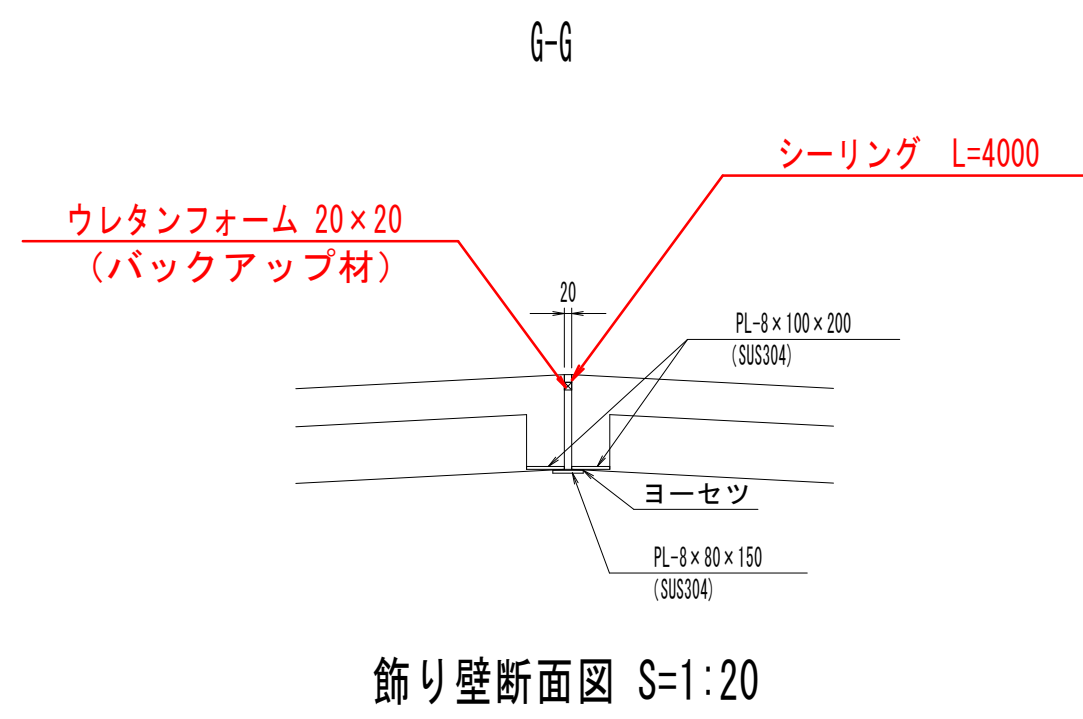
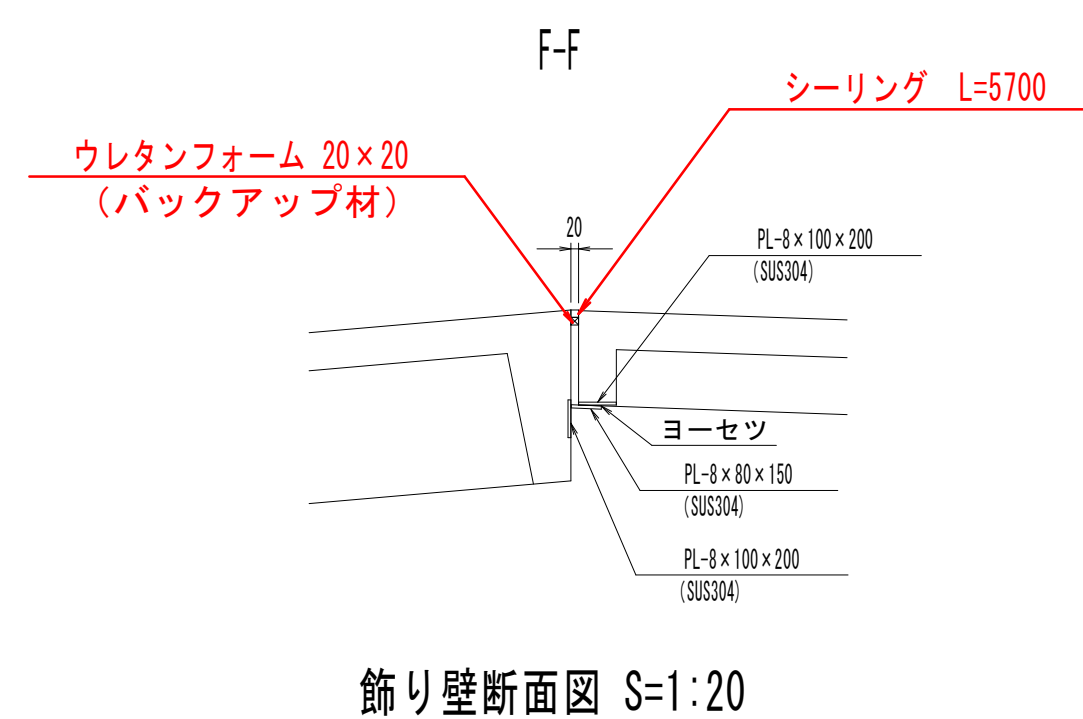
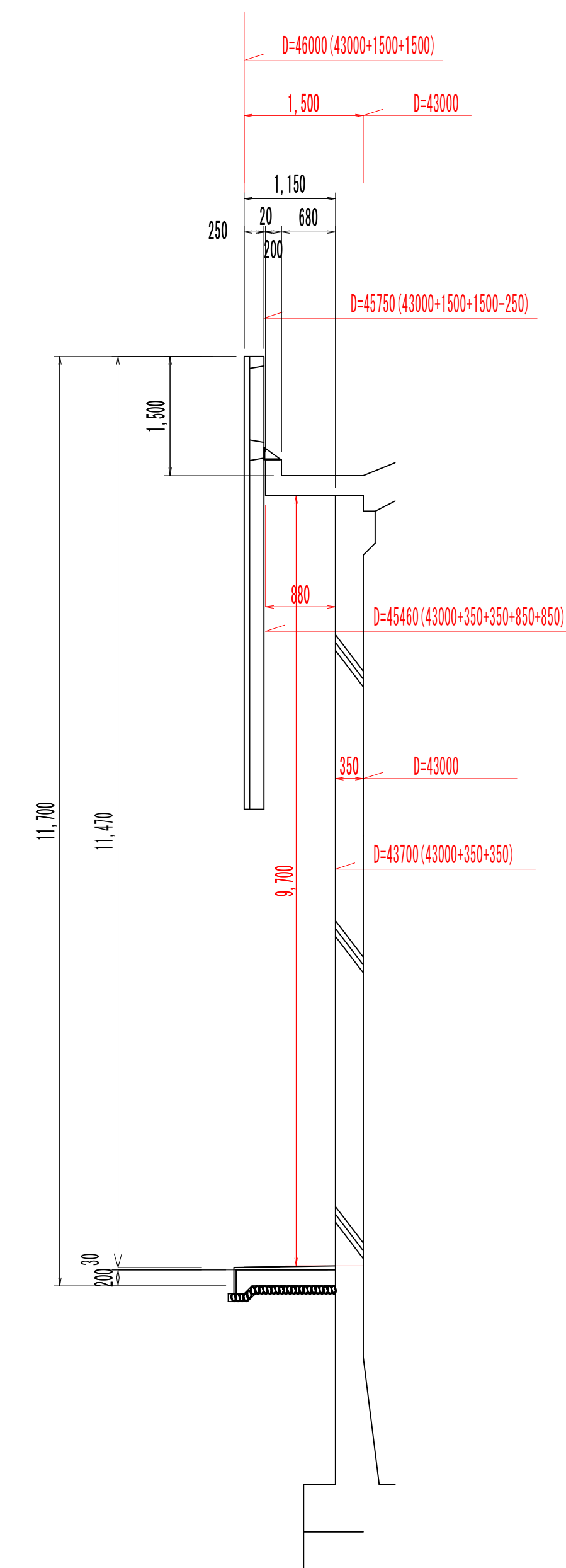
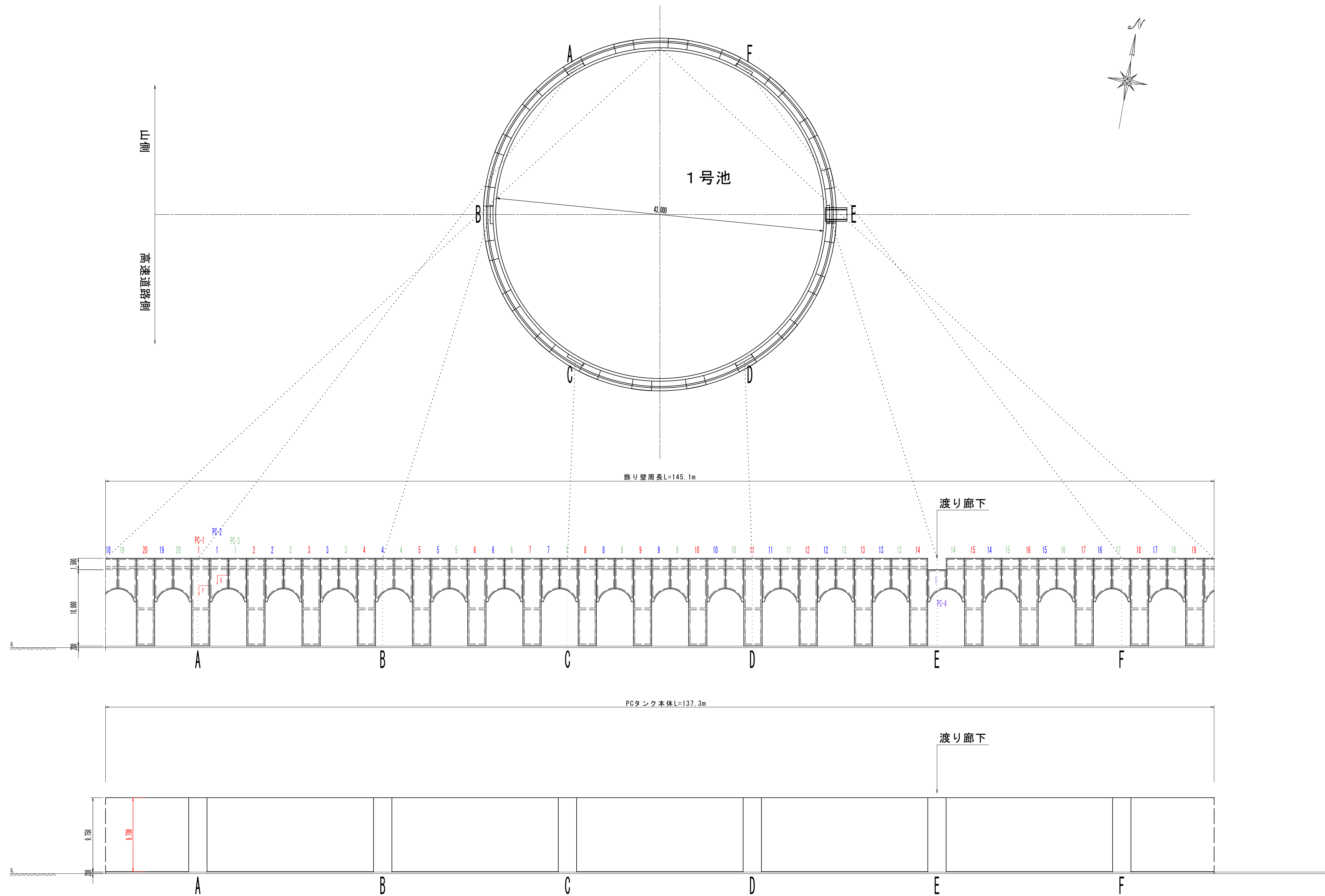
ドーム打ち継ぎ目地防水 S=1:5



事業名	水道用水供給事業			
工事名	中原調整池1号池塗装工事			
図面名	積算根拠図（1号池：屋上シーリング打替部）			
縮尺	図示	図面番号	40 / 44	
事業主	佐賀東部水道企業団			
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長 担当者

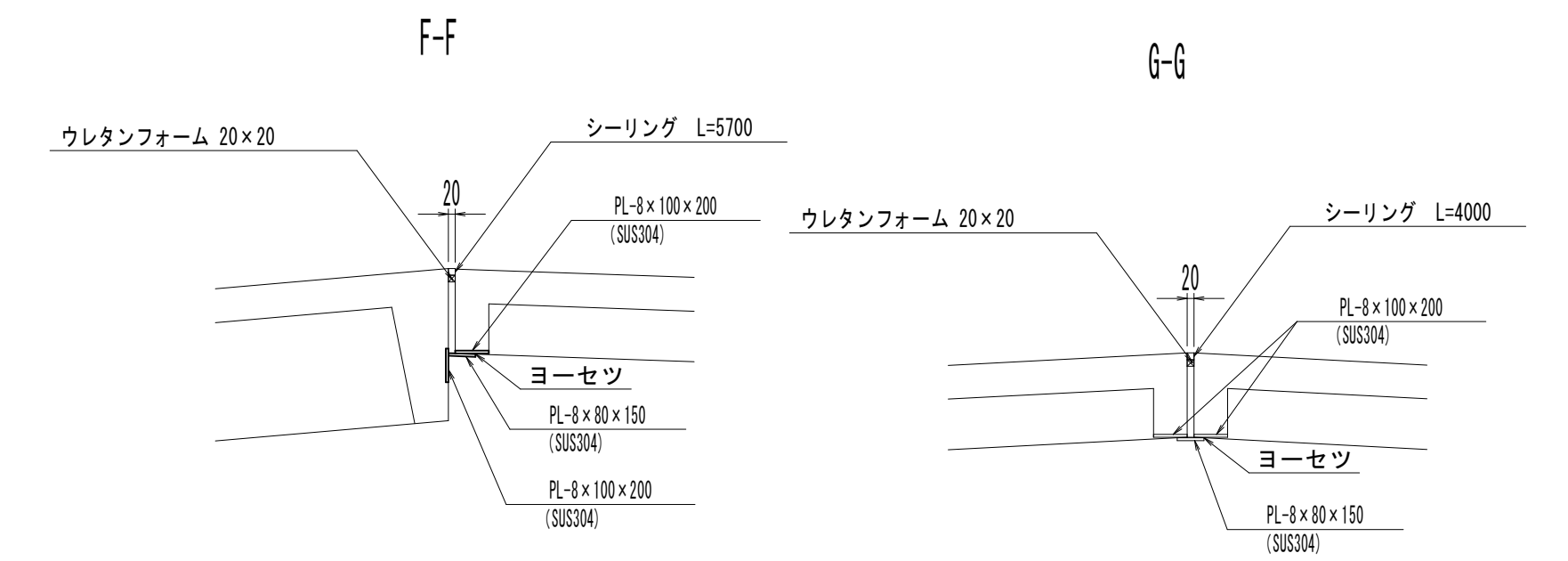
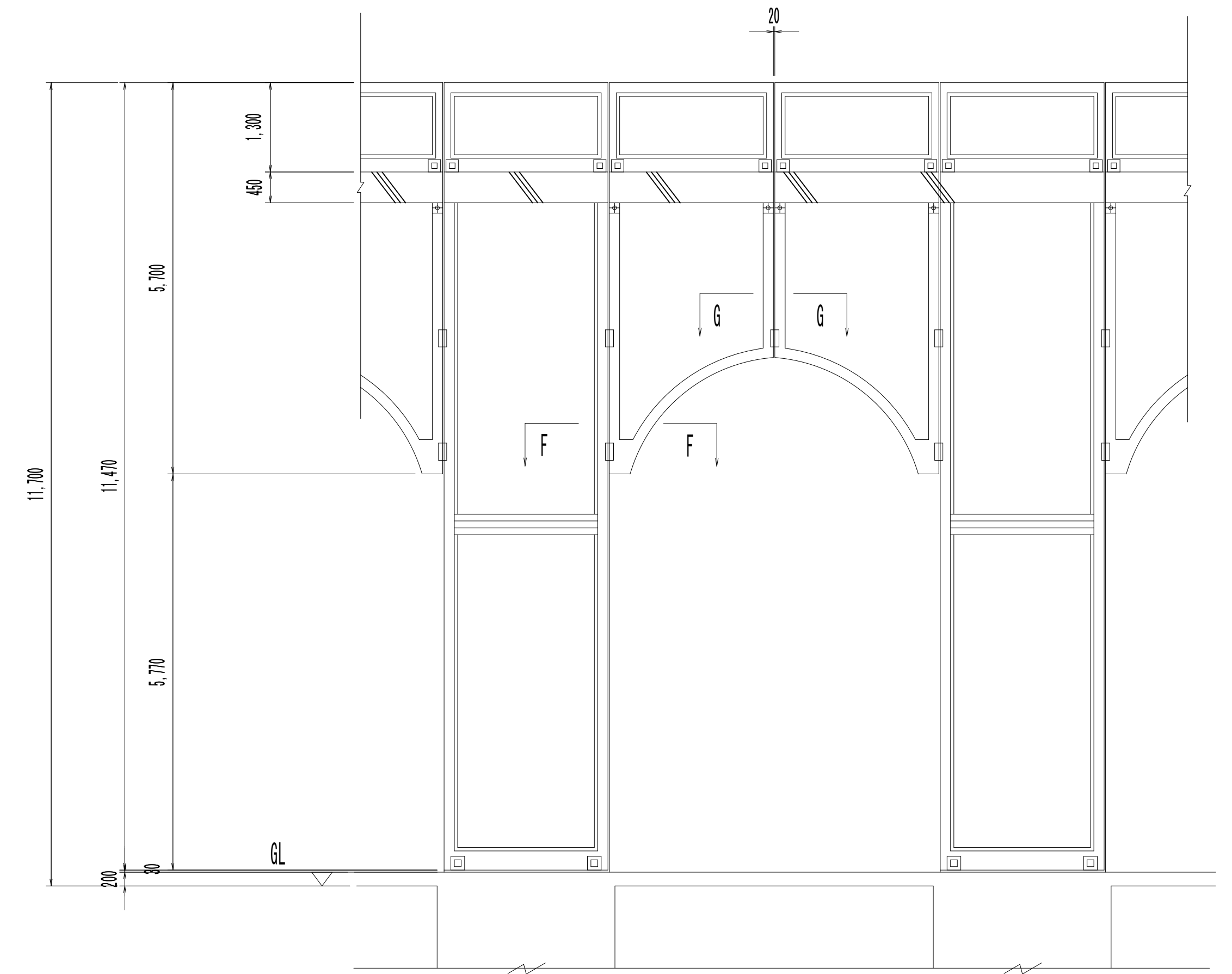
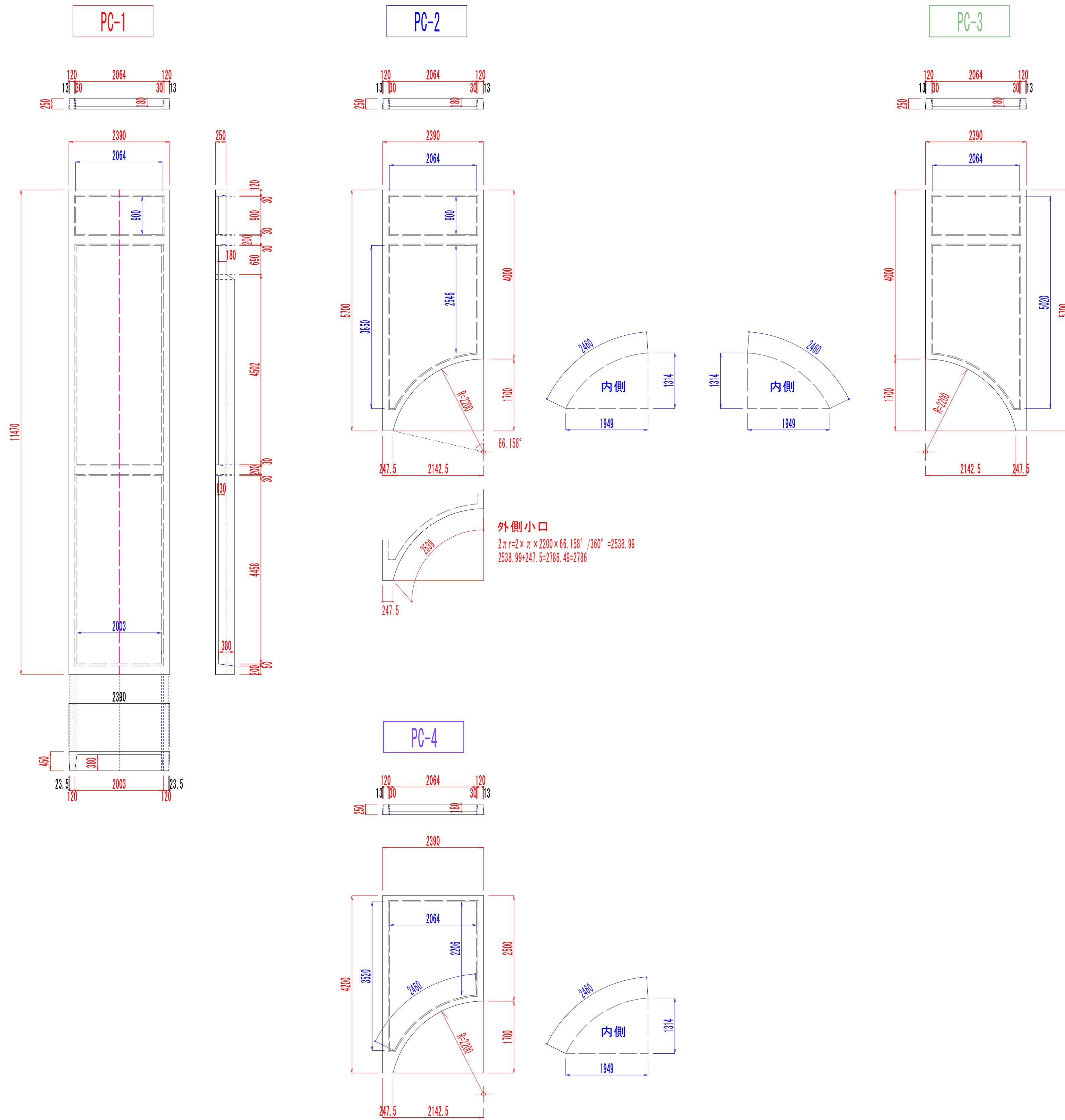
積算根拠図 (1号池：外壁塗装面・シーリング打替部) S=1:300

断面詳細図 S=1:60



事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	積算根拠図 (1号池：外壁塗装面・シーリング打替部)				
縮尺	図示	図面番号	41 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者

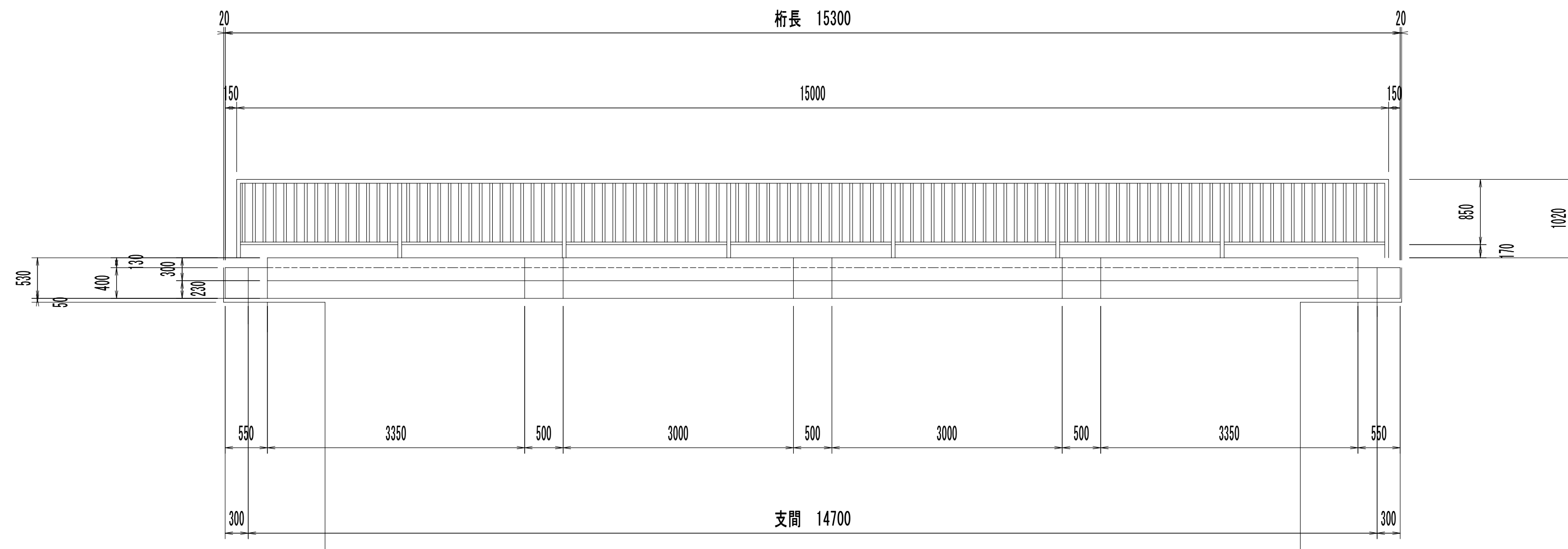
積算根拠図 (1号池：外壁PC版形状) S=1:60



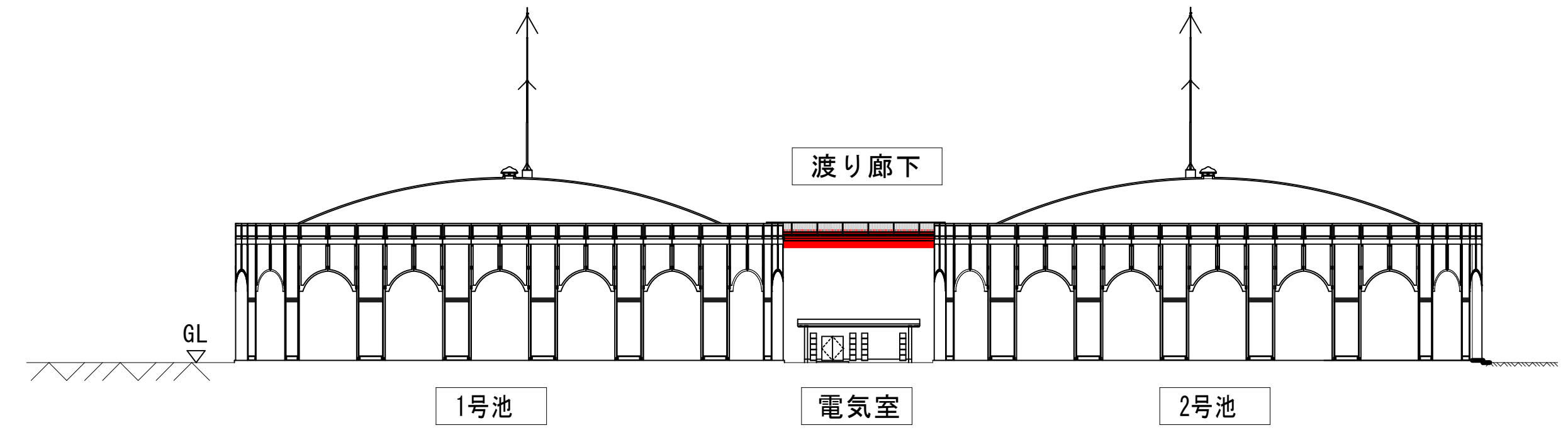
事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	積算根拠図 (1号池：外壁PC版形状)				
縮尺	図示	図面番号	42 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者

積算根拠図（渡り廊下：外部足場・外部塗装面・床防水面）

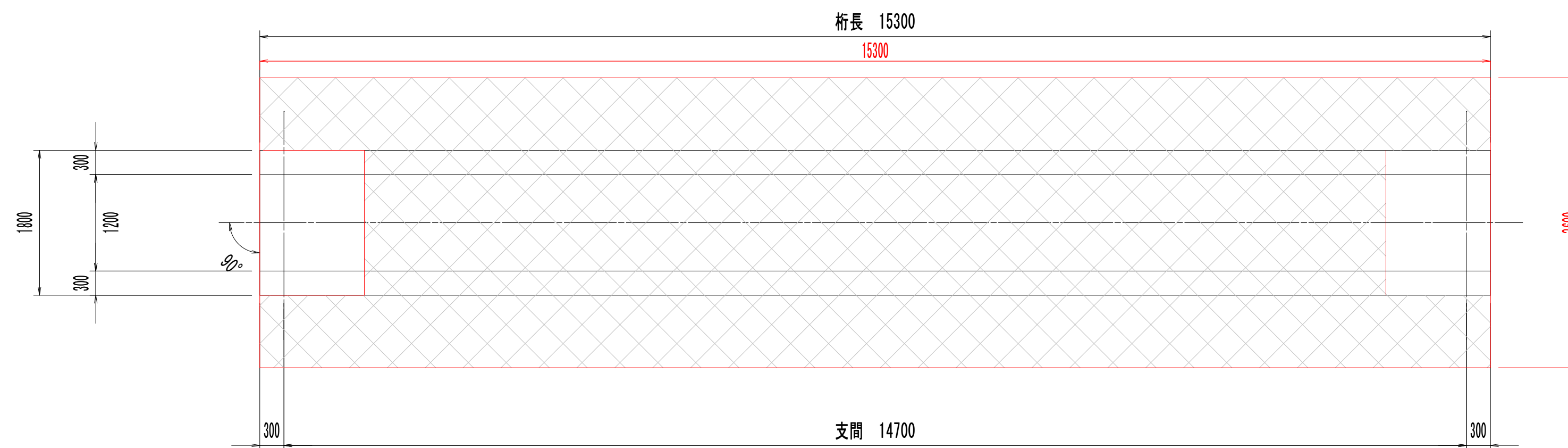
側面図 S=1:50



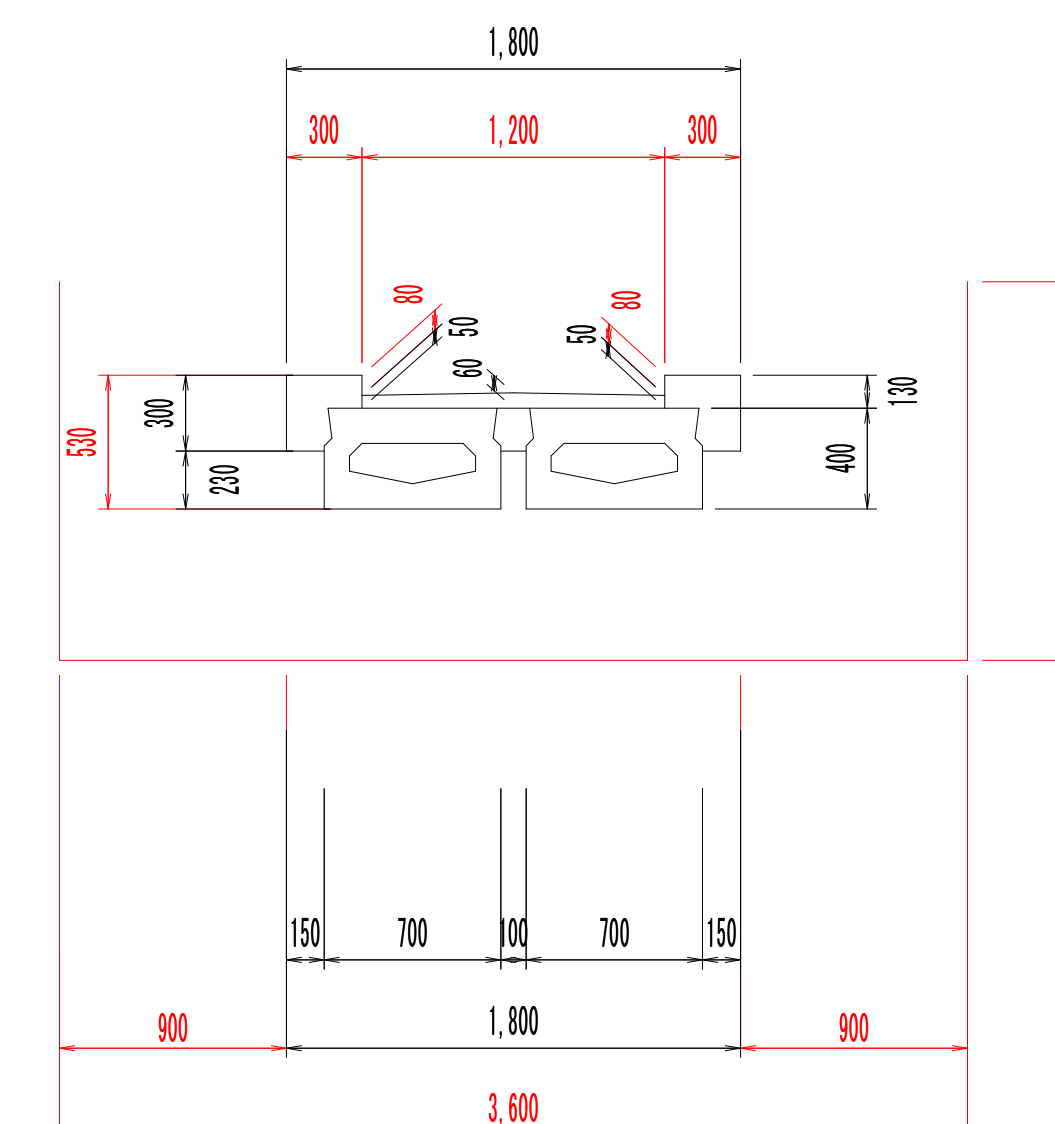
立面図 S=1:400



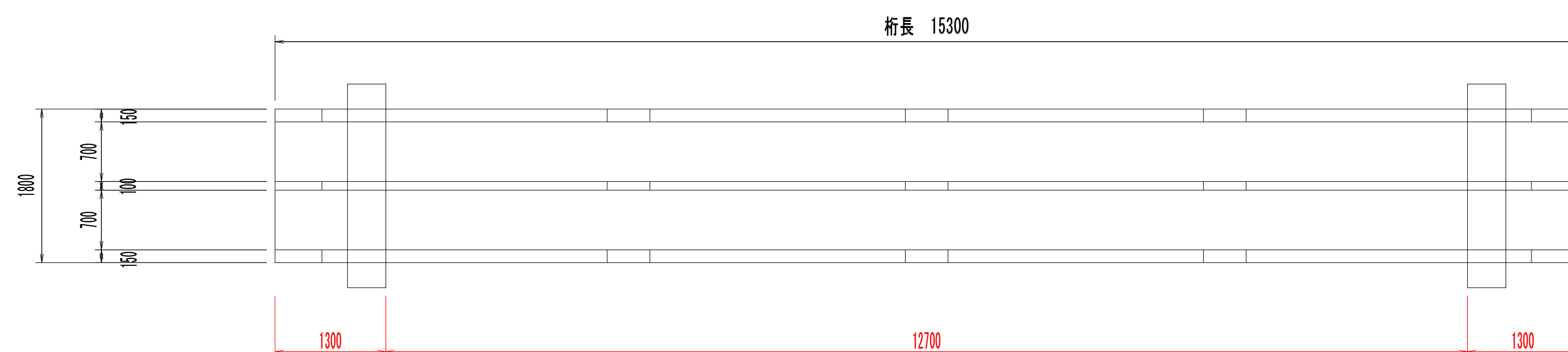
平面図 S=1:50



横断面図 S=1:30



桁下図 S=1:50



事業名	水道用水供給事業				
工事名	中原調整池1号池塗装工事				
図面名	積算根拠図 (渡り廊下：外部足場・外部塗装面・床防水面)				
縮尺	図示	図面番号	43 / 44		
事業主	佐賀東部水道企業団				
施工年度	令和8年度	課長	課長補佐	主管係長	担当者

